（１３）幼稚園・保育所

１）施設概要

①　施設一覧

■　幼稚園

本市では、幼稚園を５施設保有しています。入園率では、新狭山幼稚園の 67%から入間川幼稚園の 86%となっています。狭山台幼稚園、新狭山幼稚園、柏原幼稚園は平成 27 年３月をもって廃止のため、５歳児のみが入園しています。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	年齢別園児数(人) H26.5.1現在		定員（人）	入園率	土地所有
						4歳	5歳			
入間川	1 入間川幼稚園	入間川 2-7-41	969.00	昭和48	鉄筋コンクリート	59	44	120	86%	市
狭山台	2 狭山台幼稚園	狭山台 4-26	866.00	昭和53	鉄筋コンクリート	0	21	30	70%	市
新狭山	3 新狭山幼稚園	新狭山 2-17-1	1,193.85	昭和49	鉄筋コンクリート	0	20	30	67%	市
柏原	4 柏原幼稚園	柏原 117-5	824.00	昭和52	鉄筋コンクリート	0	21	30	70%	市
水富	5 水富幼稚園	根岸 2-22-2	588.42	昭和46	鉄筋コンクリート	43	38	120	68%	市
合計			4,441.27			102	144	330		

※　　：築 30 年以上施設

（出典）統計さやま（平成 26 年度）

■　保育所

本市では、保育所を９施設保有しています。そのうち、祇園保育所は公設民営の施設となっています。公立保育所の入所定員は 810 人で、入所率は 92%となっています。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年	構造（主たる建物）	入所児童数（人） H27.3.1現在						定員（人）	入所率	土地所有	備考
						0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳				
柏原	1 柏原保育所	柏原 1141	629.53	昭和45	鉄筋コンクリート	6	13	20	22	26	24	120	93%	市	
入間川	2 祇園保育所	祇園 13-39	1,153.38	平成26	鉄筋コンクリート	9	15	18	24	25	26	120	98%	市	
新狭山	3 新狭山保育所	東三ツ木 300-1	520.34	昭和48	鉄筋コンクリート	3	9	12	15	12	18	75	92%	一部	
入曽	4 水野保育所	水野 632-41	923.64	昭和49	鉄筋コンクリート	10	15	11	19	22	24	120	84%	市	
水富	5 笹井保育所	笹井 2-17-1	958.42	昭和53	鉄筋コンクリート	4	9	18	17	19	25	120	77%	市	
狭山台	6 狭山台南保育所	狭山台 4-18	928.69	昭和53	鉄筋コンクリート	5	14	20	22	28	29	120	98%	借地	
入曽	7 山王保育所	南入曽 30-1	514.42	昭和54	鉄筋コンクリート	5	9	8	15	11	12	60	100%	市	
水富	8 広瀬保育所	広瀬 2-22-13	586.68	昭和57	鉄筋コンクリート	3	8	16	15	20	17	75	105%	借地	
水富	9 広瀬保育所分園	根岸 2-22-2	101.00	昭和49	鉄筋コンクリート									市	水富幼稚園と複合
合計			6,316.10			45	92	123	149	163	175	810	92%		

※　　：築 30 年以上施設

（出典）統計さやま（平成 26 年度）

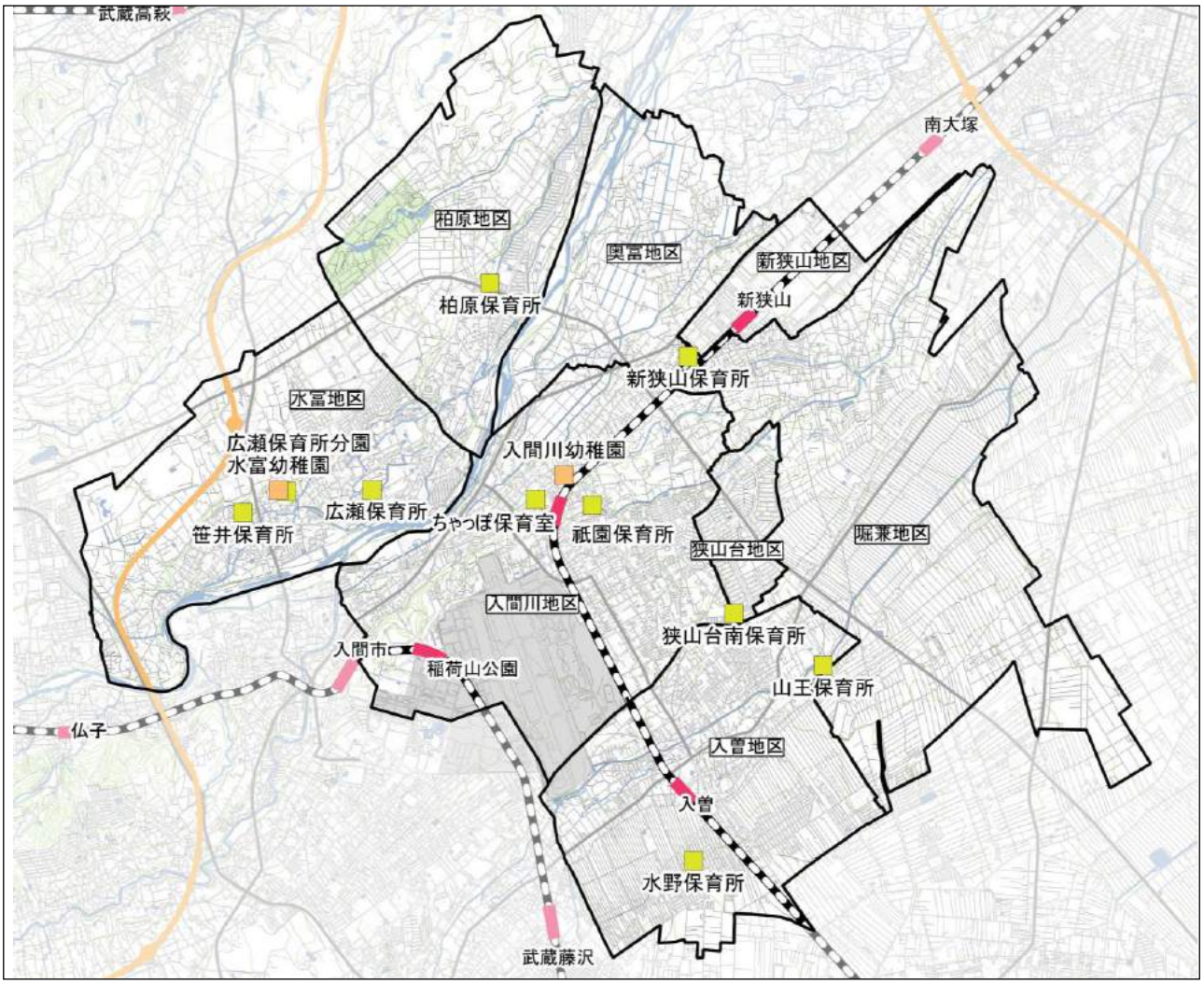
■　ちゃっぽ保育室

一時預かり保育室として、ちゃっぽ保育室が設置されています。

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年	構造（主たる建物）	土地所有	備考
入間川	ちゃっぽ保育室	入間川 1-3-1	132.19	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート	市	市民交流センター

②　配置状況

図表　幼稚園・保育所位置図

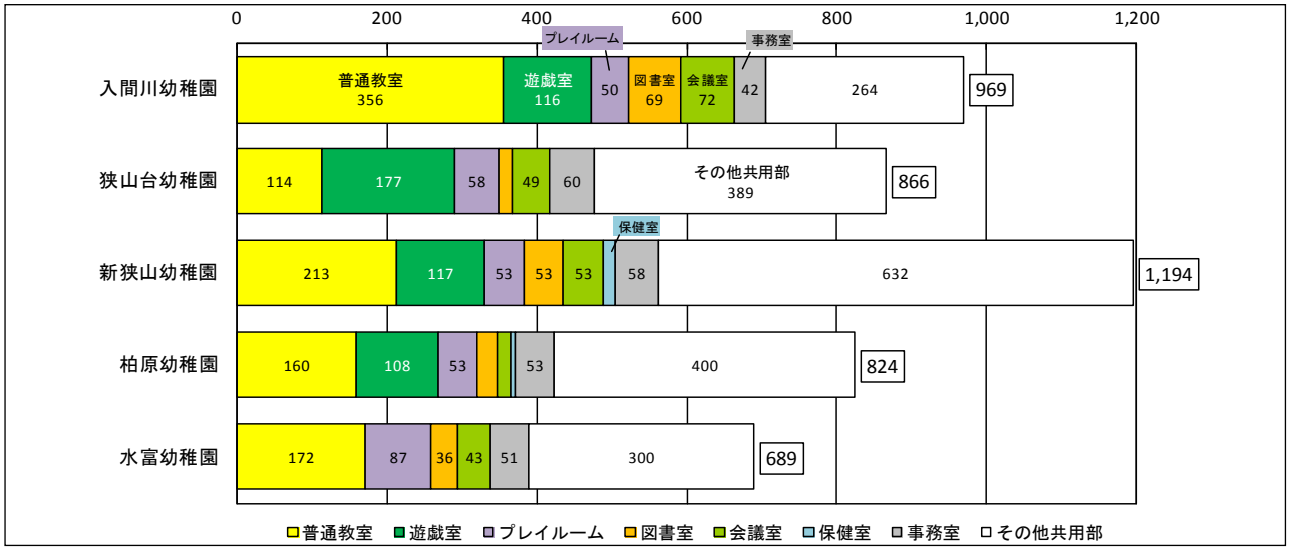


③　スペース構成

■　幼稚園

幼稚園の規模は、水富幼稚園の 689 ㎡から新狭山幼稚園の 1,194 ㎡となっています。

図表　幼稚園　スペース構成　（㎡）

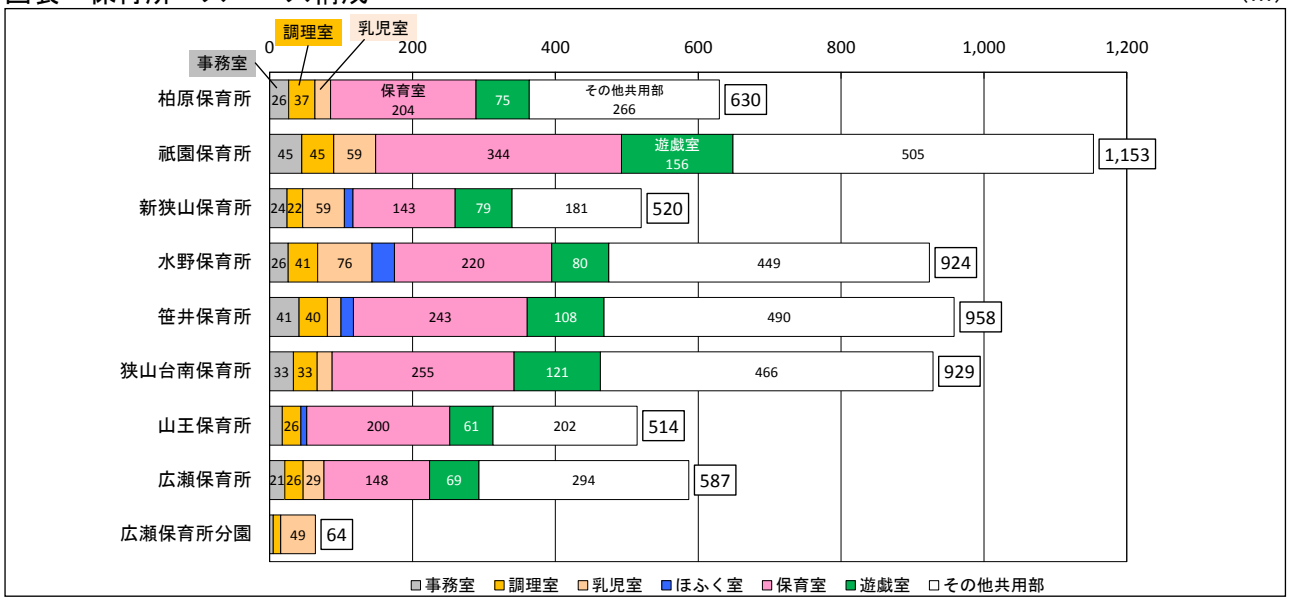


（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

■　保育所

保育所の規模は、広瀬保育所分園の 64 ㎡から祇園保育所の 1,153 ㎡となっています。

図表　保育所　スペース構成　（㎡）

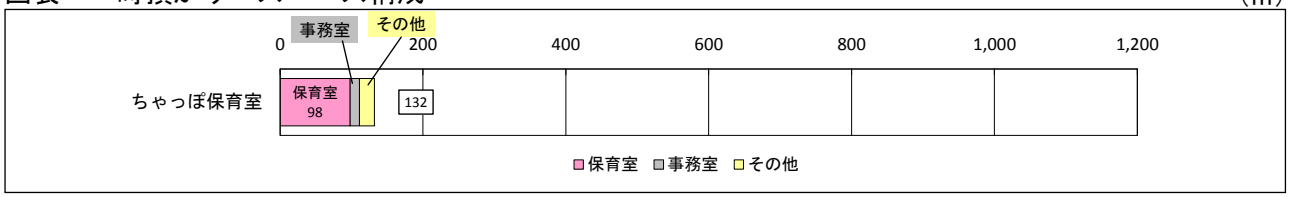


（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

■　ちゃっぽ保育室

ちゃっぽ保育室の規模は 132 ㎡となっています。

図表　一時預かり　スペース構成　（㎡）



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　建物状況

■　幼稚園の建物総合評価結果

幼稚園５施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応							⑤環境対応			⑥維持管理 維持管理費（千円）			⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	入間川幼稚園	昭和48	969	○	42		42	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	985	1,828	94	1,017	1,886	97
2	狭山台幼稚園	昭和53	866	－	37		37	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×	985	694	94	1,138	801	109
3	新狭山幼稚園	昭和49	1,194	－	41		41	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×	985	694	94	825	581	79
4	柏原幼稚園	昭和52	824	－	38		38	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×	985	694	94	1,196	842	114
5	水富幼稚園	昭和46	588	○	44		44	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	985	1,882	94	1,675	3,198	160
	合計・平均		4,441															4,927	5,791	470	1,109	1,304	106

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

:床面積当たり(円/㎡)の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

:平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例

○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例

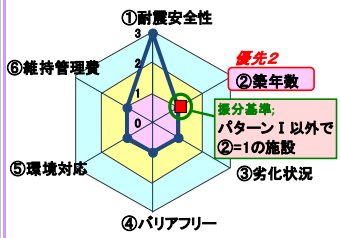
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

幼稚園５施設は築30年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

評価

パターンⅡ　老朽化

・老朽化が進行している
⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設



該当施設

該当施設	建築年度
入間川幼稚園	昭和48
狭山台幼稚園	昭和53
新狭山幼稚園	昭和49
柏原幼稚園	昭和52
水富幼稚園	昭和46

＜５施設＞

コメント

・入間川・水富幼稚園の耐震安全性については問題ありませんが、全ての施設が築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

■ 保育所等の建物総合評価結果

保育所等 10 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理 維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	柏原保育所	昭和45	630	○	45		45	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2,786	641	327	4,426	1,018	519
2	祇園保育所	平成26	1,153	－	1		1	○	○	○	○	○	○	○	○	－	×	48	0	0	41	0	0
3	新狭山保育所	昭和48	520	○	42		42	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2,270	812	973	4,363	1,560	1,870
4	水野保育所	昭和49	924	－	41		41	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	5,263	652	1,225	5,698	706	1,327
5	笹井保育所	昭和53	958	○	37		37	×	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3,548	2,261	3,184	3,702	2,359	3,322
6	狭山台南保育所	昭和53	929	○	37		37	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	3,954	8,097	748	4,258	8,718	806
7	山王保育所	昭和54	514	○	36		36	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2,074	911	517	4,032	1,770	1,006
8	広瀬保育所	昭和57	587	－	33		33	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	2,845	652	635	4,849	1,111	1,082
9	広瀬保育所分園	昭和49	101	○	41		41	○	○	×	×	×	×	×	×	×	×	350	641	36	3,461	6,344	352
10	ちゃっぽ保育室	平成24	132	－	3		3	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
	合計・平均		6,448															23,139	14,665	7,645	3,663	2,322	1,210

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

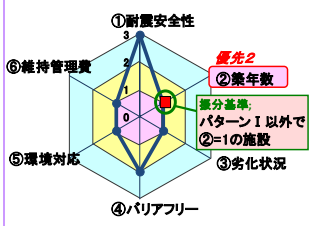
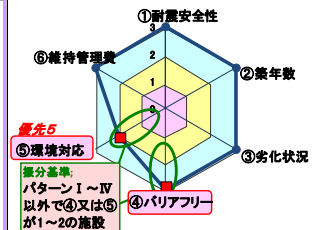
:床面積当たり(円/㎡)の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

:平均値の1.4倍以上

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
— ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

柏原保育所等の８施設は築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。祇園保育所、ちゃっぽ保育室は環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

	パターンⅡ 老朽化	パターンⅤ 環境対応
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
		
該当施設	該当施設 / 建築年度 柏原保育所 昭和45 新狭山保育所 昭和48 水野保育所 昭和49 笹井保育所 昭和53 狭山台南保育所 昭和53 山王保育所 昭和54 広瀬保育所 昭和57 広瀬保育所分園 昭和49 ＜ 8 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 祇園保育所 平成26 ちゃっぽ保育室 平成24 ＜ 2 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新しい施設ですが、環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

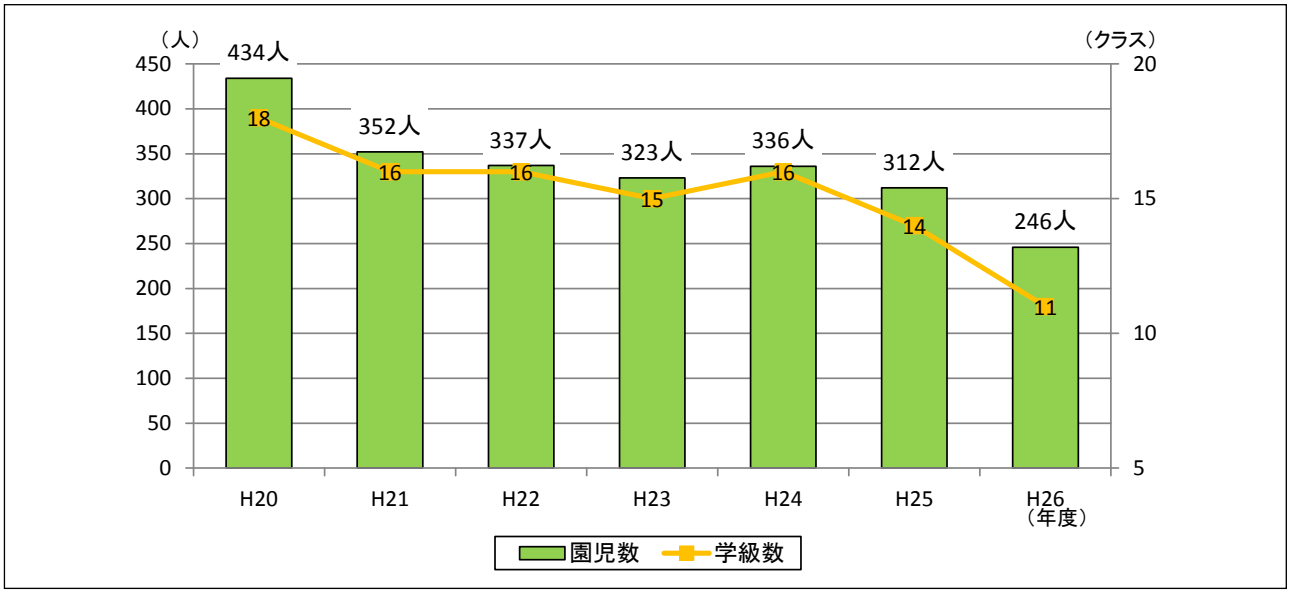
② 利用状況

■ 園児数の推移

＜幼稚園＞

幼稚園の園児数の推移をみると、平成 20 年度の 434 人から平成 26 年度の 246 人と減少傾向となっています。学級数の推移も、平成 20 年度の 18 クラスから平成 26 年度の 11 クラスと減少傾向となっています。

図表　幼稚園の園児数・学級数の推移（各年 5 月 1 日現在）



（出典）統計さやま（平成 22 年度、平成 24 年度、平成 26 年度）

■　入所児童数の推移

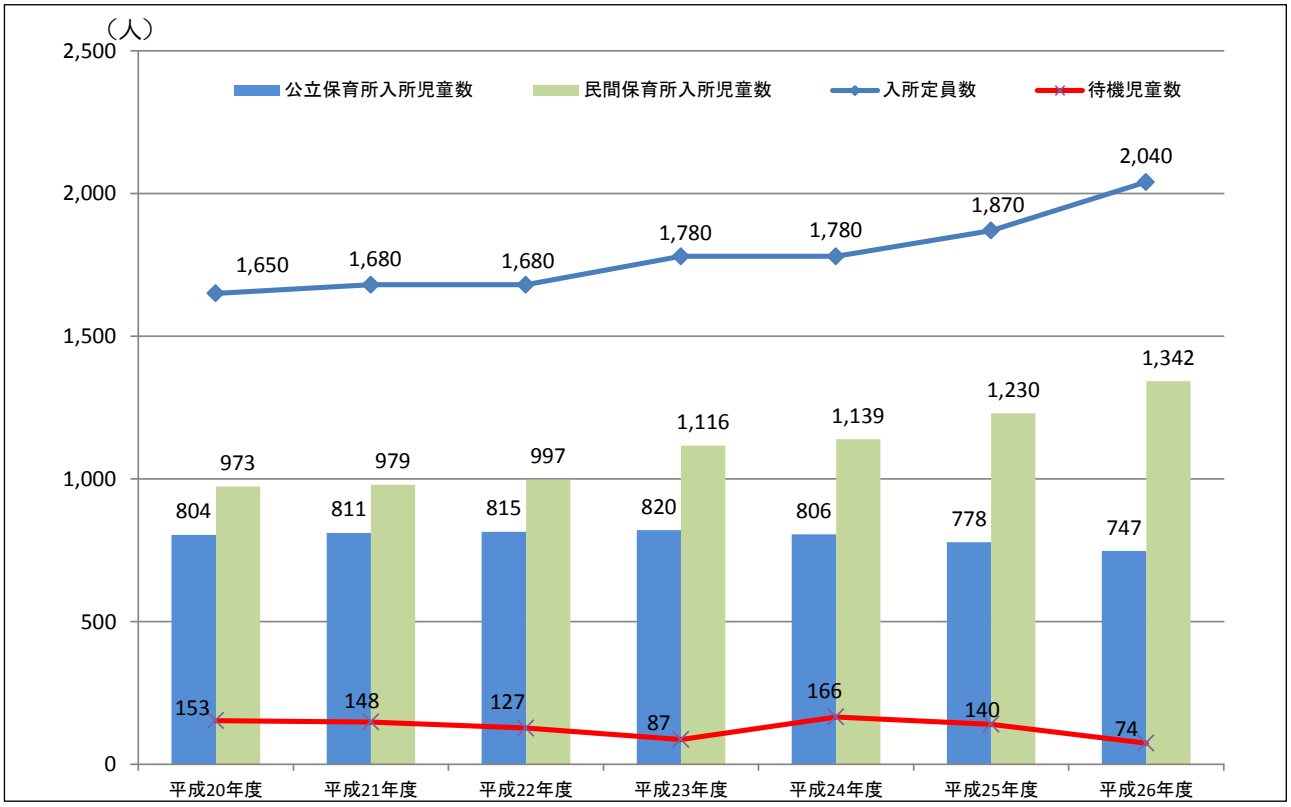
＜保育所＞

保育所の入所児童数の推移をみると、平成 20 年度の 804 人から平成 23 年度の 820 人まで微増しました。その後減少傾向に転じ、平成 26 年度の 747 人まで減少しています。

保育所の待機児童数をみると、平成 20 年度の 153 人から平成 23 年度の 87 人まで減少傾向にありました。その後、平成 24 年度に 166 人と増加し、平成 26 年度 74 人へと減少に転じています。

民間保育所を合わせた入所児童数の推移をみると、平成 20 年度の 1,777 人から平成 26 年度の 2,089 人まで一貫して増加しています。

図表　保育所の入所児童数と待機児童数の推移（各年度 3 月 1 日現在）



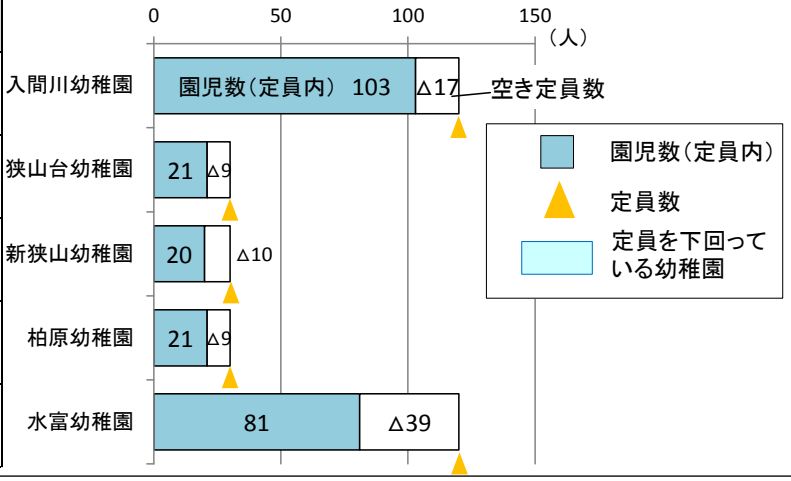
■　施設別の入園状況

＜幼稚園＞

幼稚園の定員数と園児数は、幼稚園５施設全てが定員を下回り、入園率は新狭山幼稚園の67%から入間川幼稚園の86%となっています。

図表　幼稚園の園児数（平成 26 年 5 月 1 日現在）

定員	園児数	入園率	園児一人当たり面積
120人	103人	86%	9㎡/人
30人	21人	70%	41㎡/人
30人	20人	67%	90㎡/人
30人	21人	70%	39㎡/人
120人	81人	68%	9㎡/人



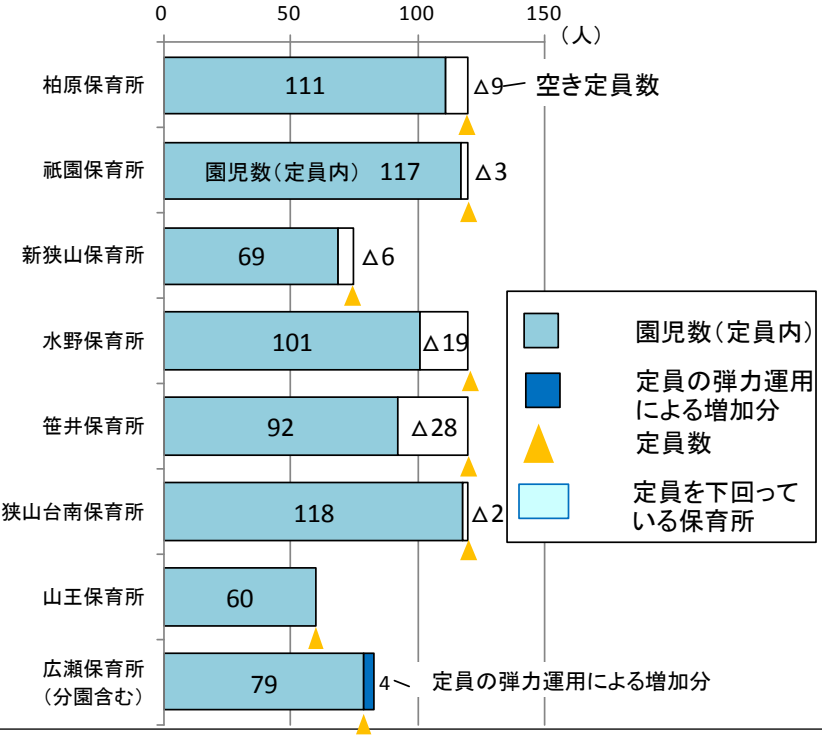
（出典）統計さやま（平成 26 年度）

＜保育所＞

保育所の施設別の定員数及び園児数は、８施設中６施設で定員を下回っています。一方、定員を超えている１施設は、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表　保育所の定員数及び園児数（平成 27 年 3 月 1 日現在）

定員	園児数	入所率	園児一人当たり面積
120人	111人	93%	6㎡/人
120人	117人	98%	10㎡/人
75人	69人	92%	8㎡/人
120人	101人	84%	9㎡/人
120人	92人	77%	10㎡/人
120人	118人	98%	8㎡/人
60人	60人	100%	9㎡/人
75人	79人	105%	9㎡/人



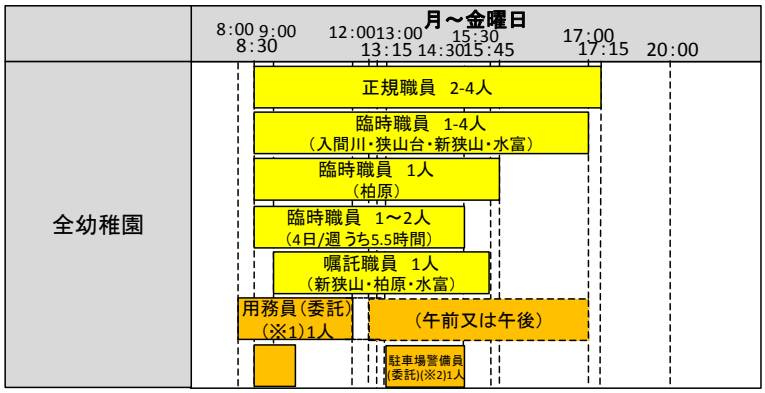
（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

③ 運営状況

＜幼稚園＞

幼稚園は、全て市の直営による運営となっており、園児の在園時間である 10 時から 14 時を中心に、職員の人員配置をしています。

図表　運営体制



※1　施設、曜日により午前又は午後
※2　入間川・水富

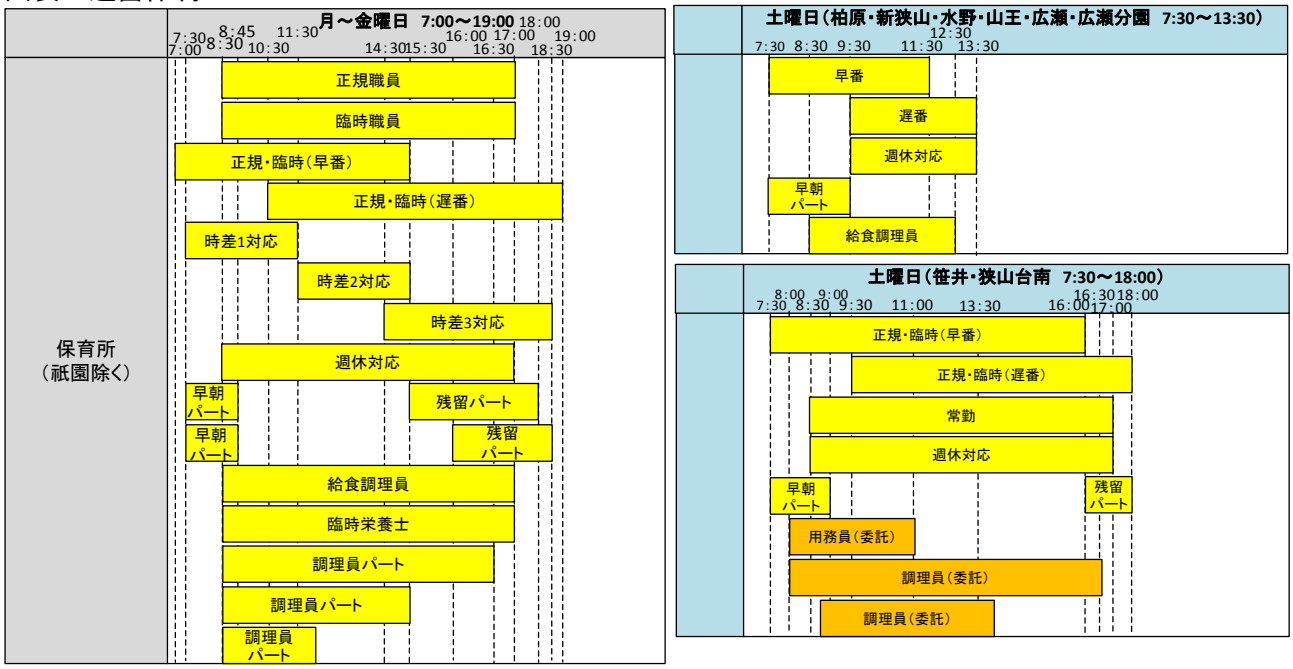
＜保育所＞

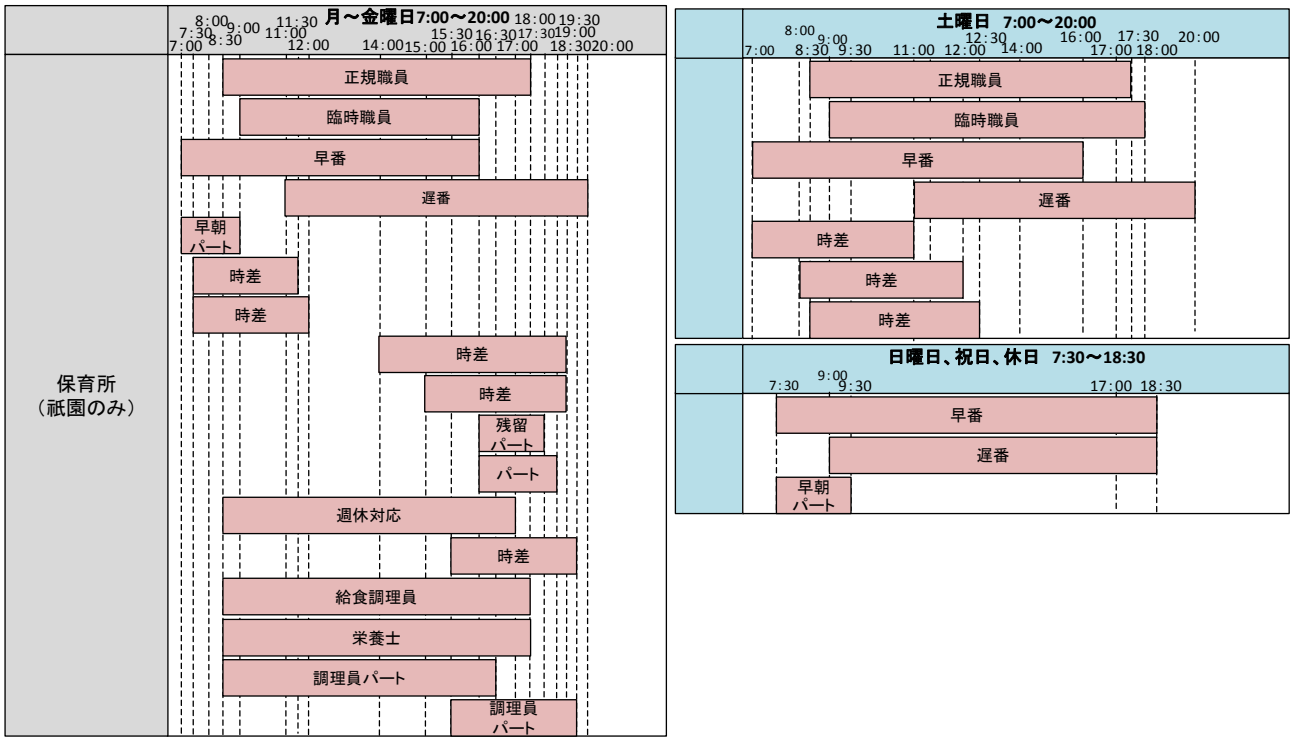
祇園保育所以外の保育所は、市が直接運営しており、平日は図表のシフトを基本に、保育所の定員、時間外保育の利用状況等に応じ、職員を配置し、運営体制は各保育所により異なります。

土曜日は、開所時間に応じ、運営体制が異なります。

祇園保育所は、指定管理者による運営となっており、開所時間が他の保育所よりも長く、休日保育も実施していることから、独自の人員配置をしています。

図表　運営体制

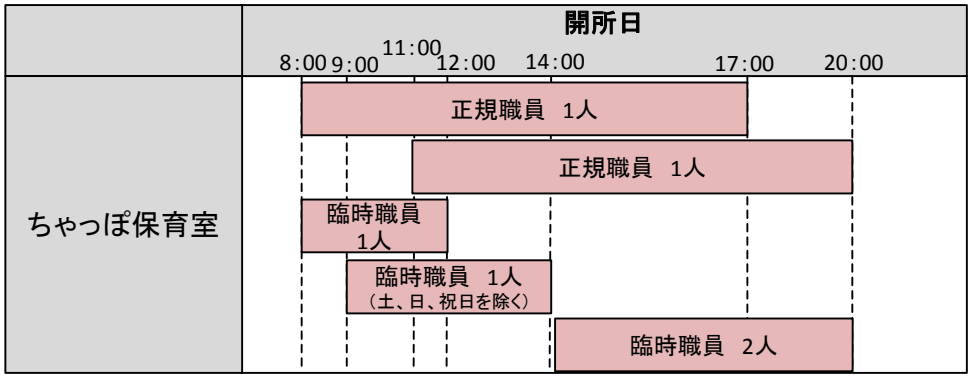




＜ちゃっぽ保育室＞

ちゃっぽ保育室（一時預かり事業）は指定管理者による運営となっており、開所時間中、常時２人以上の保育士を配置しています。

図表　運営体制



④ コスト状況

■ 幼稚園のトータルコスト

幼稚園の５施設の年間トータルコストは、３億 4,930 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は１億 7,575 万円（約 50%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は１億 6,712 万円（約 48%）、減価償却相当額は 644 万円（約 2%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

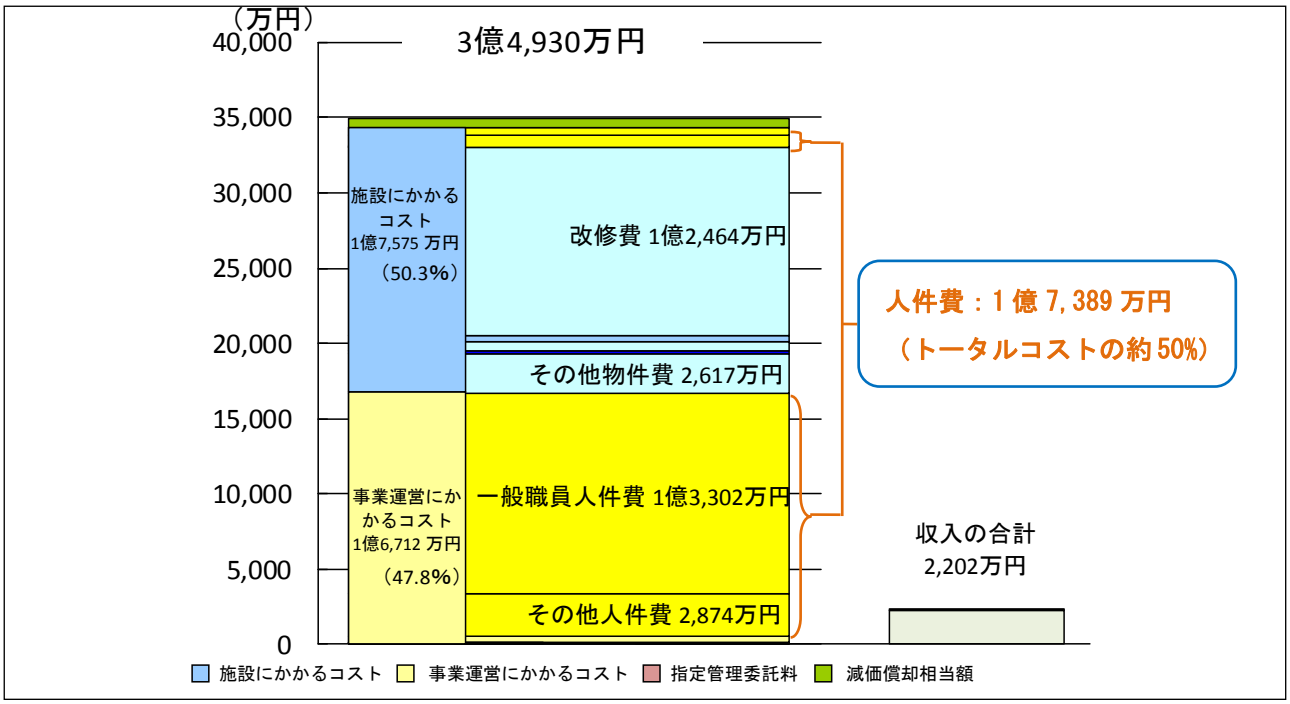
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		入間川	狭山台	新狭山	柏原	水富	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	886,788	886,788	886,788	886,788	886,788	4,433,940
	嘱託職員人件費	0	0	2,566,000	2,566,000	2,566,000	7,698,000
	修繕費	94,085	94,085	94,085	94,085	94,085	470,424
	改修費	59,940,461	0	0	0	64,703,261	124,643,722
	光熱水費	985,475	985,475	985,475	985,475	985,475	4,927,375
	委託費	1,827,882	693,882	693,882	693,882	1,881,882	5,791,412
	使用料及び賃借料	322,508	322,508	322,508	322,508	322,508	1,612,540
	その他物件費	5,233,606	5,233,606	5,233,606	5,233,606	5,233,606	26,168,030
	施設にかかるコスト	69,290,805	8,216,344	10,782,344	10,782,344	76,673,605	175,745,443
事業運営にかかるコスト	事業運営 一般職員人件費	35,471,520	26,603,640	17,735,760	17,735,760	35,471,520	133,018,200
	事業運営 その他人件費	10,778,766	3,592,922	3,592,922	3,592,922	7,185,844	28,743,377
	事業運営 委託費	889,812	889,812	889,812	889,812	889,812	4,449,060
	事業運営 負担金補助及び交付金	41,162	41,162	41,162	41,162	41,162	205,810
	事業運営 その他物件費	104,330	104,330	104,330	104,330	104,330	521,652
	事業運営	47,285,591	31,231,867	22,363,987	22,363,987	43,692,669	166,938,099
	事務・庶務 その他物件費	35,548	35,548	35,548	35,548	35,548	177,738
	事務・庶務	35,548	35,548	35,548	35,548	35,548	177,738
	事業運営にかかるコスト	47,321,138	31,267,414	22,399,534	22,399,534	43,728,216	167,115,837
現金収支を伴うコスト　計		116,611,944	39,483,758	33,181,878	33,181,878	120,401,821	342,861,280
【収入の部】							
収入	使用料収入	4,404,060	4,404,060	4,404,060	4,404,060	4,404,060	22,020,300
	諸収入	20	20	20	20	20	100
収入の合計		4,404,080	4,404,080	4,404,080	4,404,080	4,404,080	22,020,400
Ⅱ.現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	959,574	1,744,681	1,496,979	1,558,037	683,573	6,442,844
Ⅲ.総括							
コストの部合計（トータルコスト）		117,571,518	41,228,439	34,678,857	34,739,915	121,085,394	349,304,124
収支差額（ネットコスト）		113,167,438	36,824,359	30,274,777	30,335,835	116,681,314	327,283,724

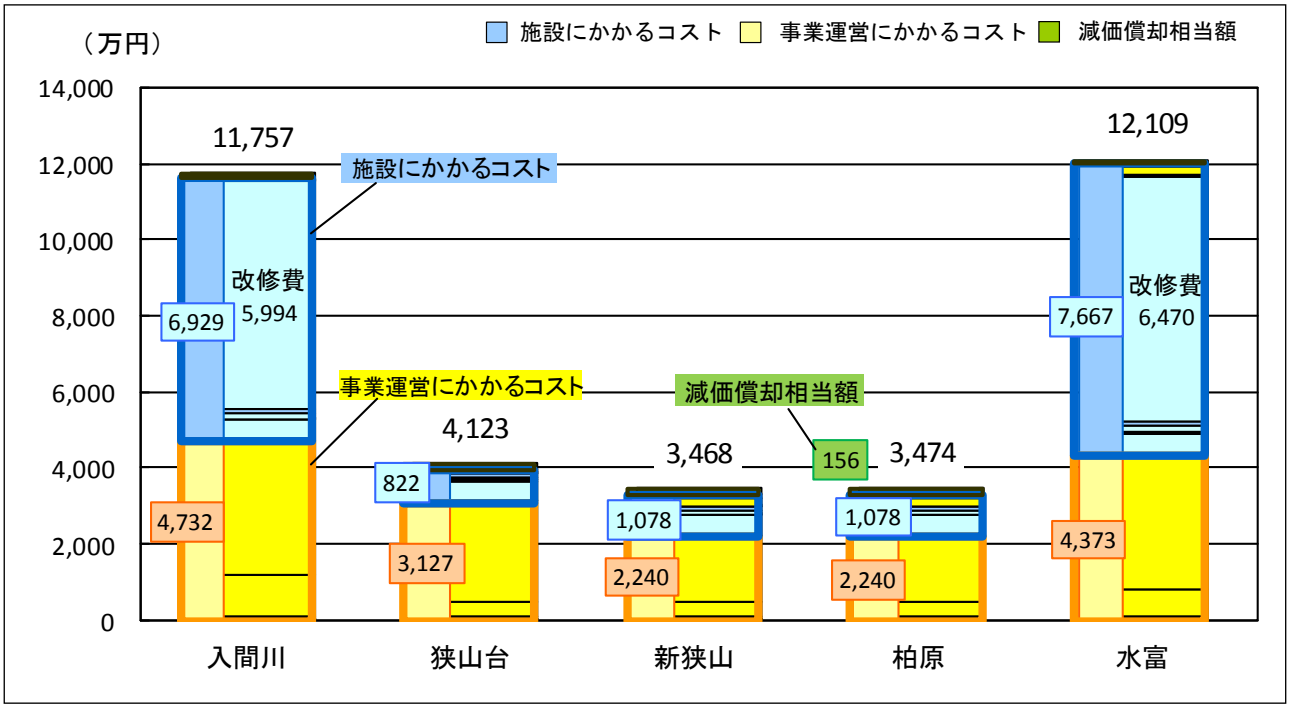
人件費（一般職員・その他）は合計１億 7,389 万円で、トータルコストの約 50%を占めています。

施設別トータルコストでは、新狭山幼稚園の 3,468 万円から水富幼稚園の１億 2,109 万円で、５施設の平均は、6,986 万円となっています。

図表　幼稚園　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　幼稚園　施設別トータルコスト（平成 26 年度）



■ 保育所のトータルコスト

保育所の９施設の年間トータルコストは、16 億 4,609 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 1 億 7,396 万円（約 11%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 12 億 7,150 万円（約 77%）、指定管理委託料は 1 億 7,795 万円（約 11%）、減価償却相当額は 2,268 万円（約 1%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

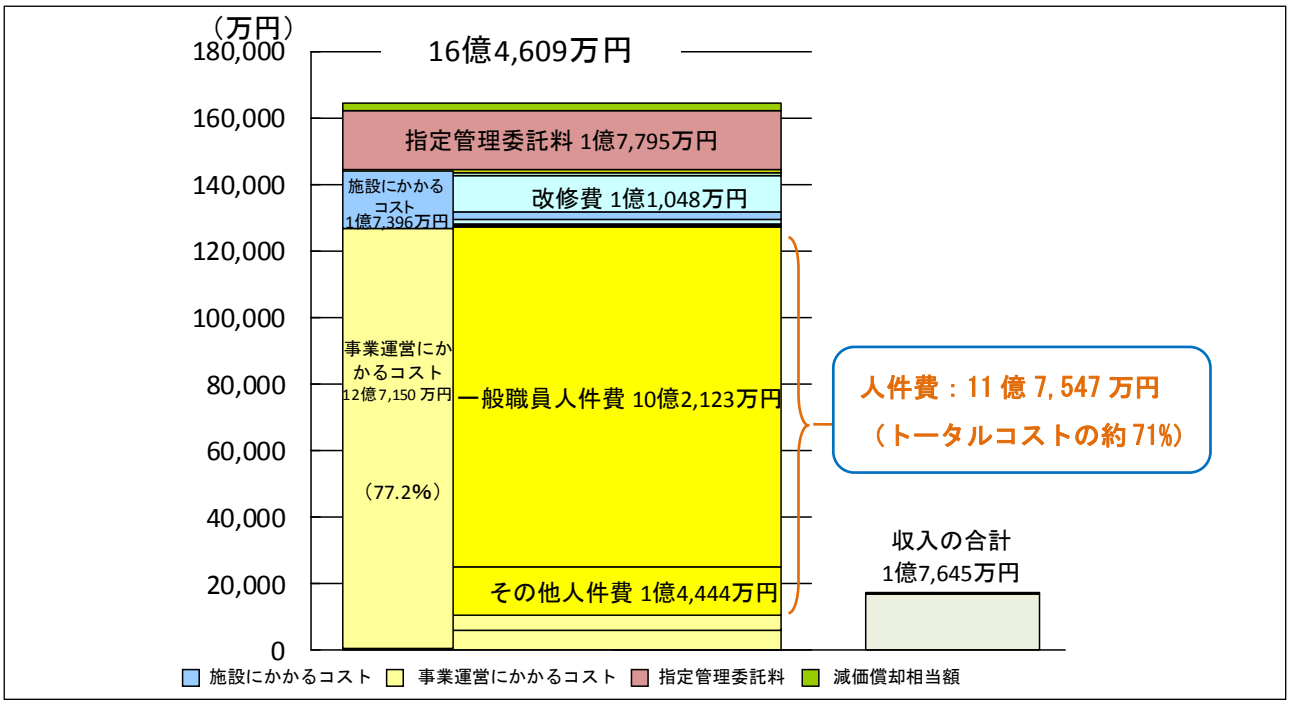
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの【コストの部】		柏原保育所	祇園保育所	新狭山保育所	水野保育所	笹井保育所	狭山台南保育所	山王保育所	広瀬保育所	広瀬保育所分園	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	886,788	0	886,788	886,788	886,788	886,788	886,788	886,788	886,788	7,094,304
	嘱託職員人件費	0	0	0	0	0	0	0	2,718,126	0	2,718,126
	修繕費	326,943	0	972,873	1,225,431	3,184,028	748,071	517,295	634,887	35,505	7,645,033
	改修費	615,600	0	1,256,040	1,099,936	101,424,875	182,520	5,504,760	0	399,600	110,483,331
	光熱水費	2,786,032	47,522	2,270,279	5,263,126	3,548,400	3,954,269	2,074,262	2,845,099	349,547	23,138,536
	委託費	640,743	0	811,904	651,848	2,260,743	8,096,504	910,743	651,848	640,743	14,665,072
	使用料及び賃借料	487,843	0	1,507,843	487,843	487,843	487,843	487,843	487,843	45,370	4,480,270
	その他物件費	466,943	0	466,943	466,943	466,943	466,943	466,943	466,943	466,943	3,735,541
	施設にかかるコスト	6,210,891	47,522	8,172,669	10,081,914	112,259,619	14,822,937	10,848,633	8,691,533	2,824,495	173,960,213
事業運営にかかるコスト	一般職員人件費	153,148,288	0	117,676,768	179,751,928	153,148,288	153,148,288	108,808,888	108,808,888	46,733,728	1,021,225,064
	その他人件費	21,801,542	0	16,351,157	28,614,524	14,988,560	21,801,542	17,713,753	23,164,139	0	144,435,218
	委託費	1,314,361	0	1,314,361	1,314,361	18,307,081	17,229,241	1,314,361	1,314,361	1,417,041	43,525,166
	負担金補助及び交付金	63,894	0	63,894	63,894	63,894	63,894	63,894	63,894	63,894	511,150
	その他物件費	9,221,719	0	7,337,528	9,859,489	8,228,813	10,202,977	6,377,782	8,198,812	2,372,989	61,800,107
	事業運営にかかるコスト	185,549,804	0	142,743,707	219,604,196	194,736,636	202,445,942	134,278,677	141,550,093	50,587,651	1,271,496,705
指定管理委託料		0	177,953,600	0	0	0	0	0	0	0	177,953,600
現金収支を伴うコスト　計		191,760,695	178,001,122	150,916,376	229,686,110	306,996,255	217,268,879	145,127,310	150,241,626	53,412,146	1,623,410,518
【収入の部】											
収入	保護者負担金	21,068,163	21,068,163	21,068,163	21,068,163	21,068,163	21,068,163	21,068,163	21,068,159	0	168,545,300
	諸収入	1,129,653	0	1,129,653	1,129,653	1,129,653	1,129,653	1,129,653	1,129,655	0	7,907,573
収入の合計		22,197,816	21,068,163	22,197,816	22,197,816	22,197,816	22,197,816	22,197,816	22,197,814	0	176,452,873
Ⅱ.現金収支を伴わないもの											
コスト	減価償却相当額	973,405	6,773,191	561,064	5,079,170	2,661,106	2,549,447	1,717,979	2,241,066	124,938	22,681,366
Ⅲ.総括											
コストの部合計（トータルコスト）		192,734,100	184,774,313	151,477,440	234,765,280	309,657,361	219,818,326	146,845,289	152,482,692	53,537,084	1,646,091,884
収支差額（ネットコスト）		170,536,284	163,706,150	129,279,624	212,567,464	287,459,545	197,620,510	124,647,473	130,284,878	53,537,084	1,469,639,011

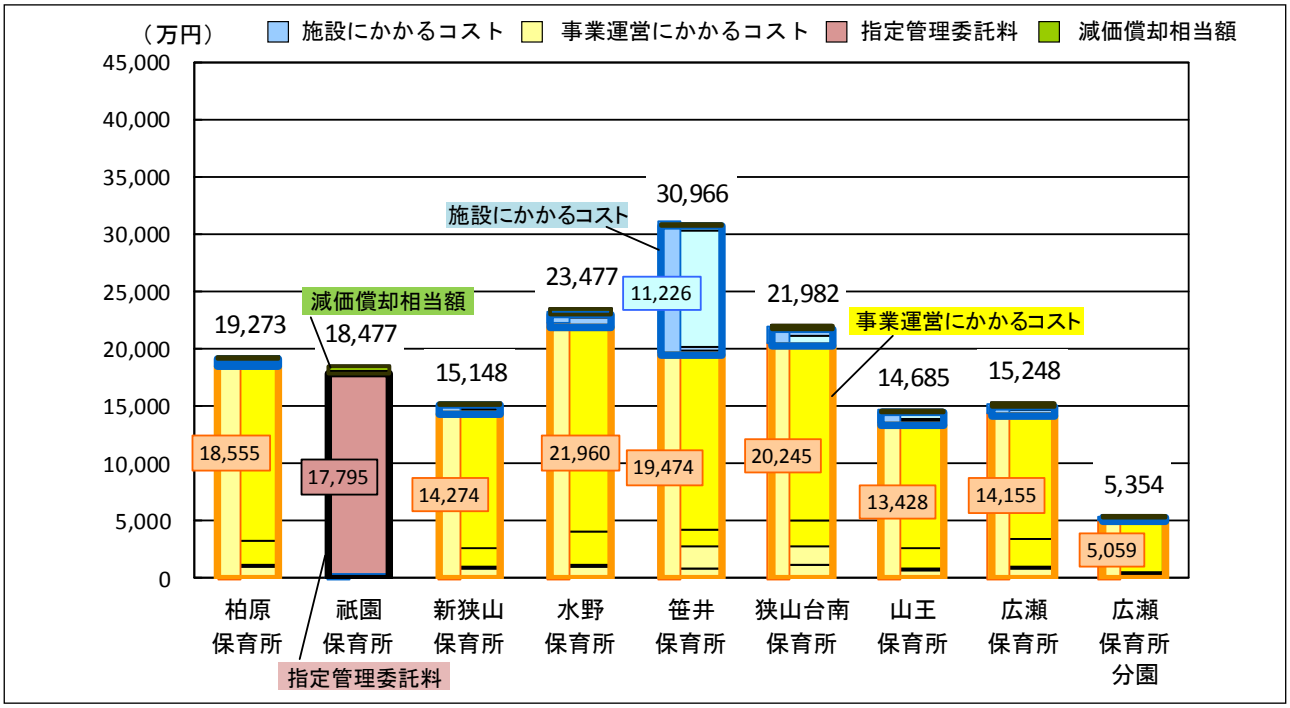
人件費（一般職員・その他）は合計 11 億 7,547 万円で、トータルコストの約 71%を占めています。

施設別トータルコストでは、広瀬保育所分園の 5,354 万円から笹井保育所は 3 億 966 万円で、9 施設の平均は、1 億 8,290 万円となっています。

図表　保育所　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　保育所　施設別トータルコスト（平成 26 年度）



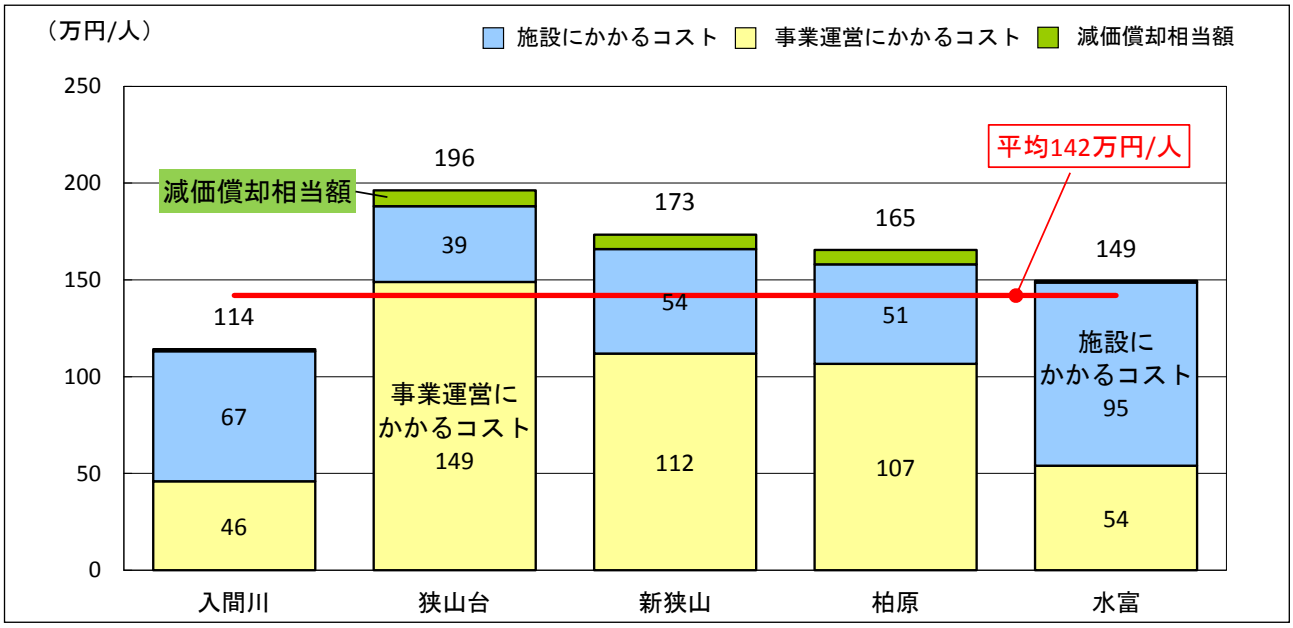
３）評価・分析

■　園児１人当たりのコスト

＜幼稚園＞

園児数とトータルコストから、園児１人当たりにかかるコストを算出すると、入間川幼稚園の114 万円/人から狭山台の 196 万円/人となっています。なお、幼稚園の平均は 142 万円/人です。

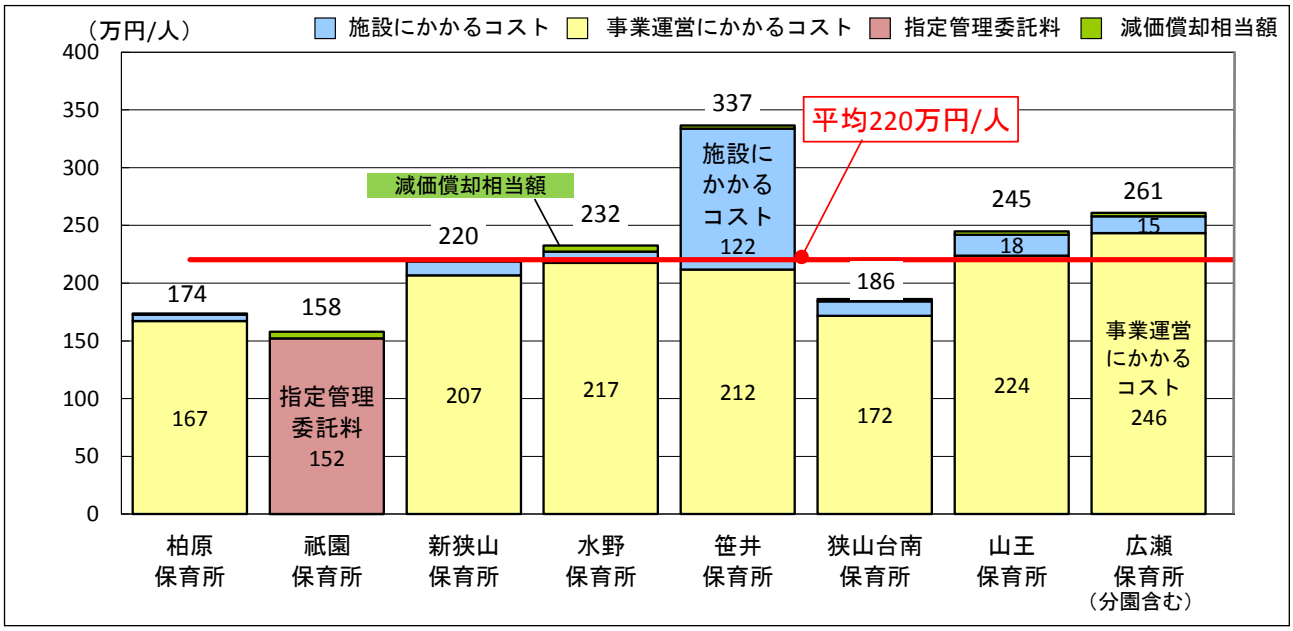
図表　園児１人当たりコスト



＜保育所＞

園児数とトータルコストから、園児１人当たりにかかるコストを算出すると、祇園保育所の158 万円/人から笹井保育所の 337 万円/人となっています。なお、保育所の平均は 220 万円/人です。

図表　園児１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■ 建物面

・ 幼稚園は全５施設、保育所は９施設中８施設が築 30 年以上経過しており、老朽化対策が必要となっています。

・ 保育所については、今後も安心・安全な保育環境を維持・向上させるため、改修や建替え工事などによる施設の環境整備が必要です。

■ 利用・運営面

・ 保育所は、全体の入所児童数が増加し、待機児童が存在する状況であっても入所率が100%に満たない施設があり、保育ニーズへの適切な対応が必要です。

（１４）総合子育て支援センター（一時預かり保育室を除く。）

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、総合子育て支援センターを１施設保有しています。

総合子育て支援センターは、市民センター、入間川地区センター、中央公民館、男女共同参画センターとの複合施設となっています。

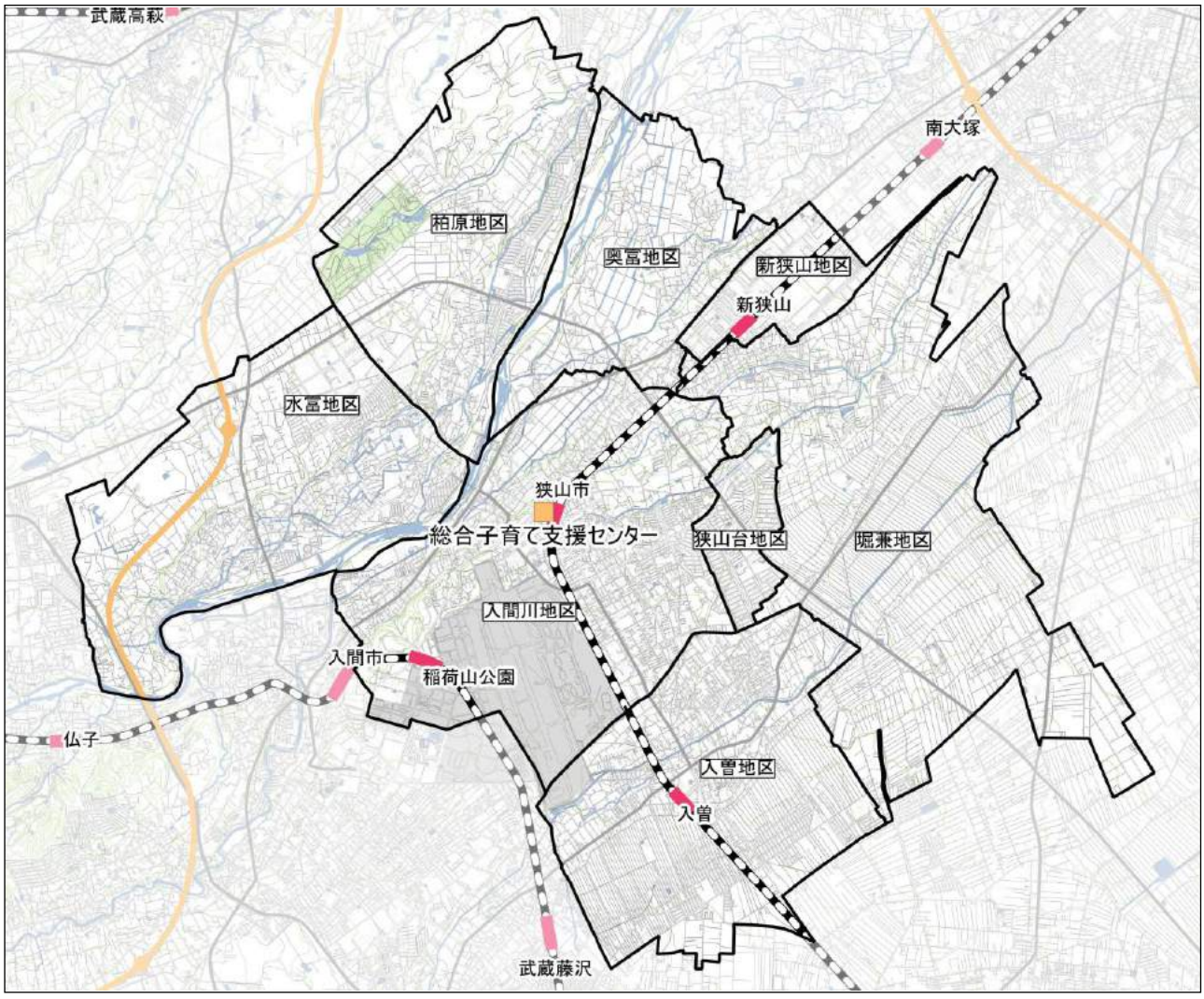
設置目的：乳幼児（小学校就学の始期に達するまでの者）及びその保護者に対し、子育てに係る総合的な支援を推進し、乳幼児及びその家庭の福祉の向上を図るため。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設	土地所有
入間川	1 総合子育て支援センター	入間川 1-3-1	219.20	平成24	鉄骨鉄筋コンクリート	市民交流センター	市

②　配置状況

図表　総合子育て支援センター位置図



③　開館日・開館時間

施設名	休館日	開館時間
総合子育て支援センター	年末年始（12 月 29 日～1 月３日）	午前９時～午後６時 （赤ちゃんの駅、情報閲覧は、午前 8 時～午後８時）

④　事業内容

総合子育て支援センター内の交流スペースにおいて、0 歳から就学前の子どもとその保護者を対象に、子育てに関するさまざまな情報の提供や、相談・支援を行っています。

- 親子の交流の機会及び場所の提供
- 子育てに係る情報の提供
- 子育てに係る相談
- 子育てに係る講座の実施
- 子育ての支援に取り組む個人及び団体の育成及び活動の支援

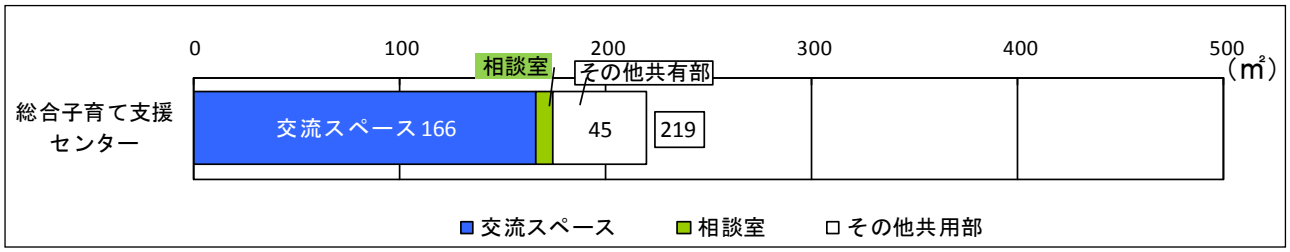
⑤　予約方法・使用料金等

0 歳から就学前の子どもとその保護者であれば誰でも利用可。（市外の方も利用可。）
利用料金無料。予約不要。

⑥　スペース構成

総合子育て支援センターの構成は、219 ㎡のうち交流スペースが 166 ㎡あり、その他は相談室等が 53 ㎡あります。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　建物状況

■ 総合子育て支援センターの建物総合評価結果

総合子育て支援センターの建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

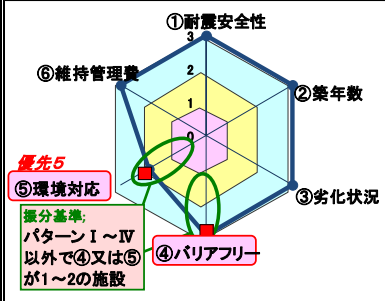
		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	総合子育て支援センター	平成24	219	－	3		3	○	○	○	○	○	○	○	×	×	○	61	0	110	280	0	501

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

総合子育て支援センターは、複合施設としてバリアフリー対応等がなされている新しい施設です。

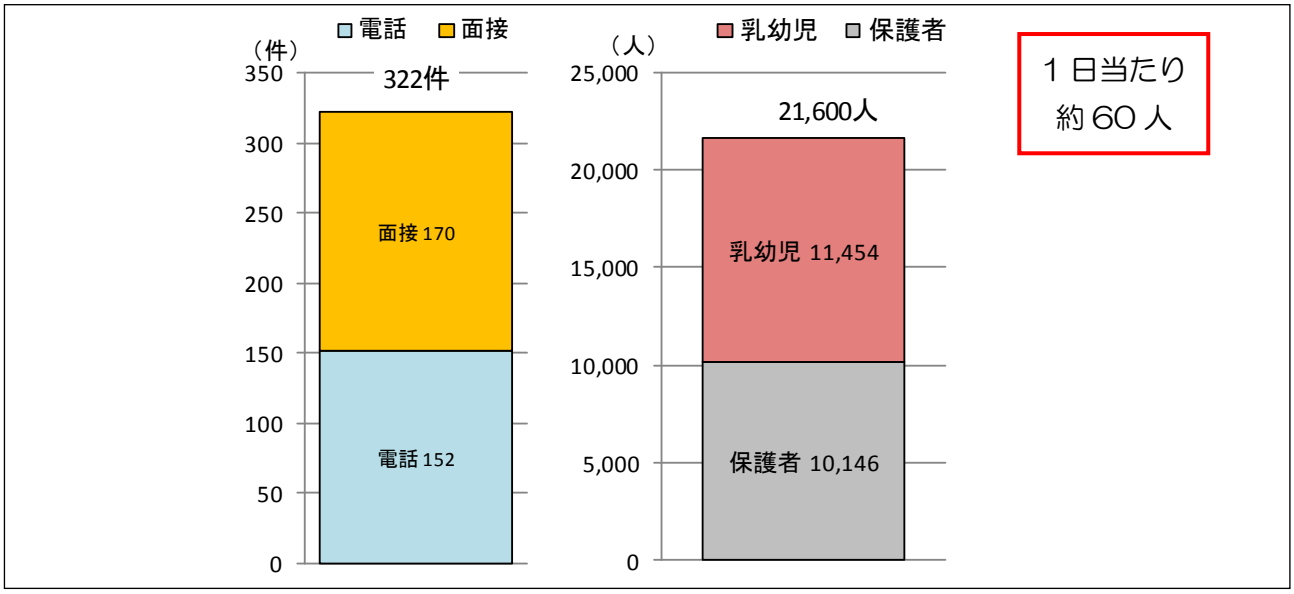
評価	パターンⅤ 環境対応 ・環境対応が未完了 ⇒今後、環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設 
該当施設	該当施設：総合子育て支援センター＜１施設＞　建築年度：平成24
コメント	・比較的新しい施設ですが、環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② 利用状況

■ 利用状況

平成 26 年度の総合子育て支援センターの子育て相談利用件数は 322 件、利用者数は２万 1,600 人です。子育て相談の利用件数の内訳をみると、電話が 152 件（約 47%）、面接が 170 件（約 53%）となっています。利用者数の内訳をみると、保護者が１万 146 人（約 47%）、乳幼児が１万 1,454 人（約 53%）となっています。

図表　年間利用件数・利用者数（平成 26 年度）

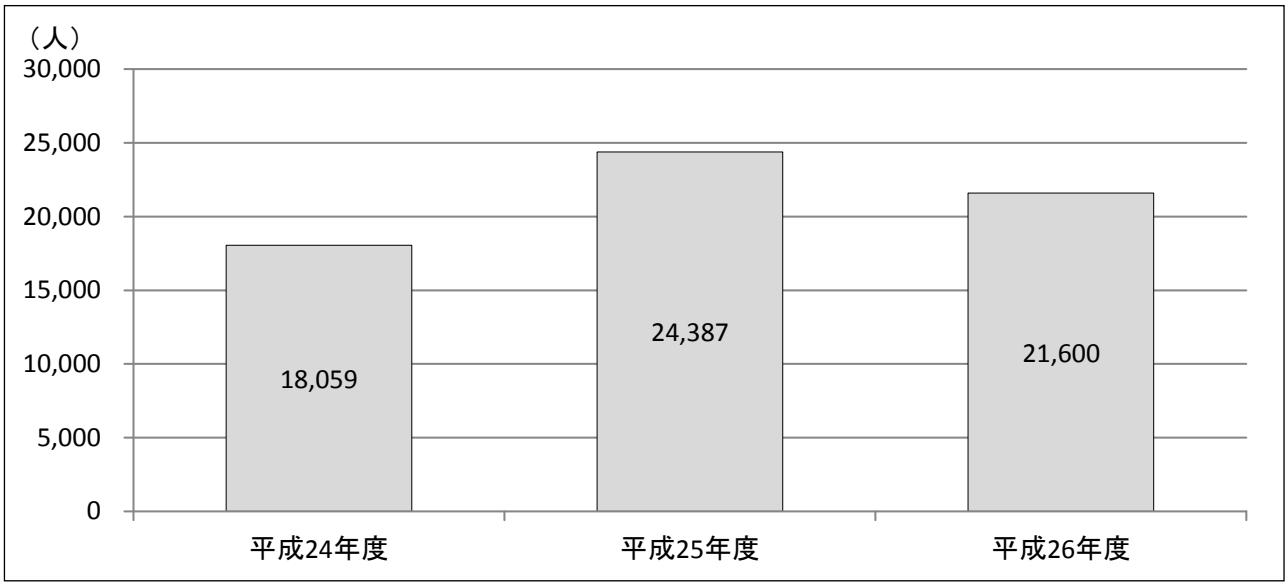


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 25 年度は２万 4,387 人でしたが平成 26 年度では２万 1,600 人と減少しています。

図表　利用者数の推移



（出典）行政報告書（平成 24 年度～26 年度）

■ 子育て講座等

平成 26 年度の子育てに係る講座の実施状況をみると、子育て講座等で『子育て応援プログラム「みんなで話そう自分に合った子育て」』の全６回２講座等を実施しています。このほか、地域の公園などに保育士を派遣して親子同士や子育てボランティアと交流するワイワイ広場（7 箇所全 49 回）、子育て支援団体へ保育士を派遣しています。

図表　子育て講座等

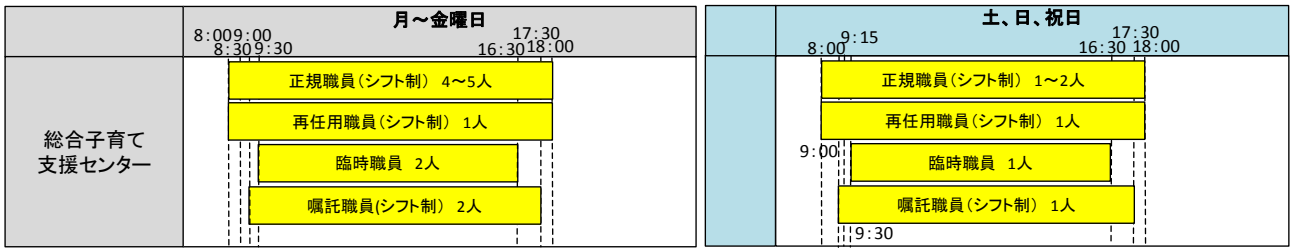
講座等	実施回数
第２子出産前後ママ向け講座	全２回
子育て応援プログラム「みんなで話そう自分に合った子育て」	全６回２講座
双子向け講座	１回
パパ向け講座	全４回
保護者と支援者のためのスキルアップ講座	全３回
保健師・栄養士さんがやってくる	４回
ワイワイ広場	７箇所全 49 回

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

③ 運営状況

総合子育て支援センターは、市の直営となっており、月から金曜日と土、日、祝日で正規職員、臨時職員、嘱託職員の人数や時間帯が異なり、土、日、祝日の人員が少なくなっています。

図表　運営体制



④ コスト状況

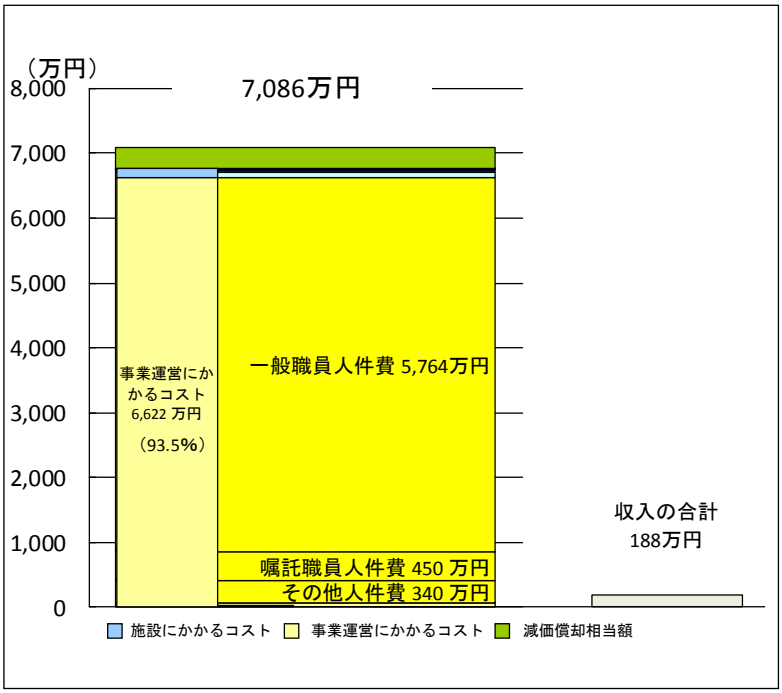
総合子育て支援センターの年間トータルコストは、7,086 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 140 万円（約 2%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 6,622 万円（約 93%）、減価償却相当額は 323 万円（約 5%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		総合子育て支援センター
施設にかかるコスト	修繕費	109,843
	光熱水費	61,423
	使用料及び賃借料	388,944
	その他物件費	844,058
	施設にかかるコスト	1,404,268
事業運営にかかるコスト 事業運営	一般職員人件費	57,641,220
	嘱託職員人件費	4,504,344
	その他人件費	3,399,122
	負担金補助及び交付金	86,000
	その他物件費	586,852
	事業運営	66,217,538
事務・庶務	その他物件費	6,600
	事務・庶務	6,600
	事業運営にかかるコスト	66,224,138
現金収支を伴うコスト　計		67,628,406
【収入の部】		
収入	使用料収入	1,877,400
収入の合計		1,877,400
Ⅱ.現金収支を伴わないもの		
コスト	減価償却相当額	3,232,957
Ⅲ.総括		
コストの部合計（トータルコスト）		70,861,363
収支差額（ネットコスト）		68,983,963

図表 総合子育て支援センタートータルコスト（平成 26 年度）

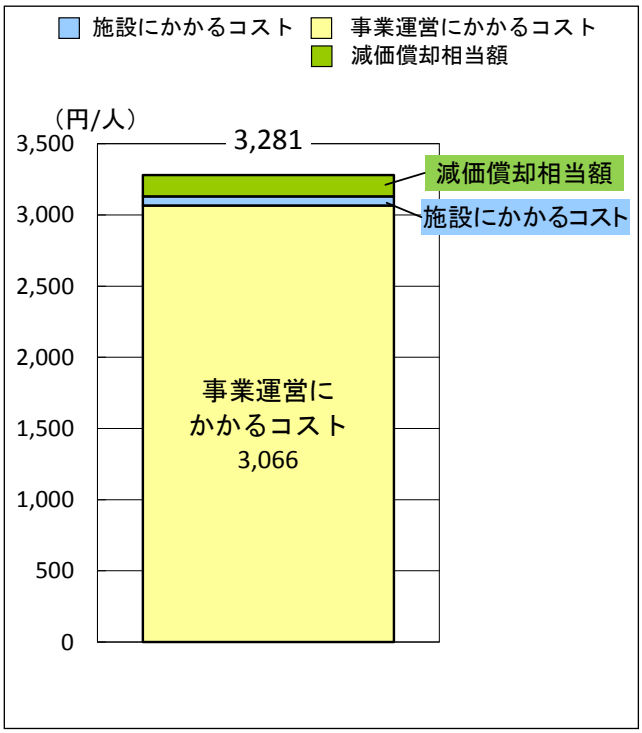


３）評価・分析

■　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、3,281円/人となっています。

図表　利用者１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　総合子育て支援センターは、市民センター、中央公民館、男女共同参画センター等との新しい複合施設ですが、事務室が狭く、個人情報等の電話内容が利用者に聞こえるおそれがあるため、部屋数を確保する必要があるなどの課題があります。

■　利用・運営面

・　子育て関連施設は、地域へ分散しているため、総合子育て支援センターの利用者数は減少していますが、駅に近いため利便性が高く、親子が気軽に相談できる場としては、必要と考えられます。

（１５）児童館

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、児童館を４施設保有しています。

中央児童館、広瀬児童館は子育てプレイスとの複合となっています。水野児童館は子育てプレイス水野と水野公民館との複合となっています。狭山台児童館は単独施設となっています。

設置目的：児童の健康増進及び情操を豊かにするため。また、親子の交流と子育てに関する相談や情報提供を行うため、児童福祉法に基づき設置。

図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設		土地所有	備考
						子育てプレイス	その他		
入間川	1 中央児童館	入間川 4-14-8	1,292.12	昭和46	鉄筋コンクリート	●	プラネタリウム	市	子育てプレイス稲荷山（88.2㎡）
狭山台	2 狭山台児童館	中央 3-3-31	483.01	昭和56	鉄筋コンクリート			市	
水富	3 広瀬児童館	広瀬 2-2-17	487.47	昭和58	鉄筋コンクリート	●	水富学童保育室※2	市	子育てプレイス広瀬（73.5㎡）
入曽	4 水野児童館	水野 891-4	408.46	昭和63	鉄筋コンクリート	●	水野公民館	市	子育てプレイス水野（145.03㎡）
合計			2,671.06						

※　　：築 30 年以上施設

※　延床面積は、子育てプレイスを含む

※2　平成 27 年度より水富小学校内へ移転

本市では、主に乳幼児を持つ子育て中の保護者を中心に、親子が気軽に集い交流できる場を整備し、子育て相談に応じるとともに関連情報の提供や講習会等、地域における子育て支援をする施設として、子育てプレイスを 5 施設保有しています。このうち 2 施設は児童館とは別の施設にあります。

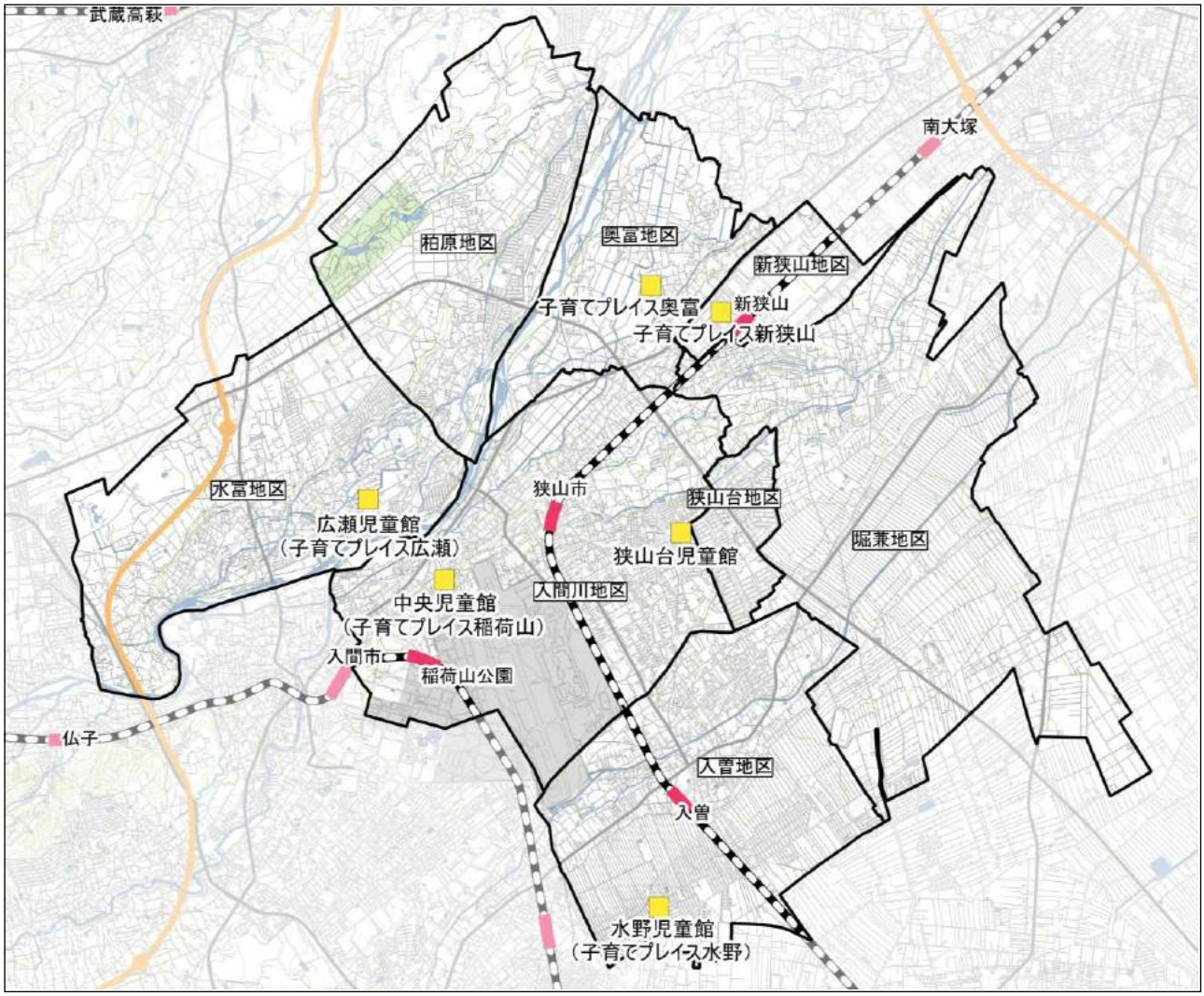
図表　施設一覧

	名称	設置状況
1	子育てプレイス稲荷山	中央児童館内
2	子育てプレイス広瀬	広瀬児童館内
3	子育てプレイス水野	水野公民館内
4	子育てプレイス新狭山	単独（民間施設借用）
5	子育てプレイス奥富	奥富ふれあい館内

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　児童館及び子育てプレイス位置図



③　開館日・開館時間

施設名	休館日	開館時間
中央児童館 （子育てプレイス稲荷山）	■児童館 毎月第３火曜日、年末年始 ■子育てプレイス 毎月第 3 火曜日、毎週土曜日、年末年始	■児童館 午前９時～午後５時 ■子育てプレイス 午前９時～午後４時 30 分 ※未就学児は保護者同伴の場合のみ利用可能
狭山台児童館	臨時休館年３回、年末年始	午前９時～午後５時 ※未就学児は保護者同伴の場合のみ利用可能
広瀬児童館 （子育てプレイス広瀬）	■児童館 臨時休館年３回、年末年始 ■子育てプレイス 毎週日曜日、年末年始	■児童館 午前９時～午後５時 ■子育てプレイス 午前９時 30 分～午後４時 30 分 ※未就学児は保護者同伴の場合のみ利用可能
水野児童館 （子育てプレイス水野）	■児童館 毎月第１月曜日、年末年始 ■子育てプレイス 毎月第 1 月曜日、毎週日曜日、年末年始	■児童館 午前９時～午後５時 ■子育てプレイス 午前９時 30 分～午後４時 30 分 ※未就学児は保護者同伴の場合のみ利用可能
子育てプレイス新狭山	毎週水曜日、日曜日、祝祭日、年末年始	午前 10 時～午後４時
子育てプレイス奥富	毎週火曜日、土曜日、祝祭日、年末年始	午前 10 時～午後４時 30 分

④　事業内容

- 児童館の施設、遊具、図書の提供及び遊びの個別的・集団的な指導を行うとともに、地域の関係団体との連携・協力により、児童の健全育成のための環境づくりを行います。
- 乳幼児を持つ親とその子どもが気軽に交流できる場並びに育児に関する相談及び情報の提供が受けられる場を身近な地域に設置することで、安心して子育て、子育ちのできる地域環境の整備に寄与します。

⑤　利用方法・使用料金等

各施設とも予約不要。使用料金は無料。（プラネタリウムをのぞく）

■　プラネタリウム

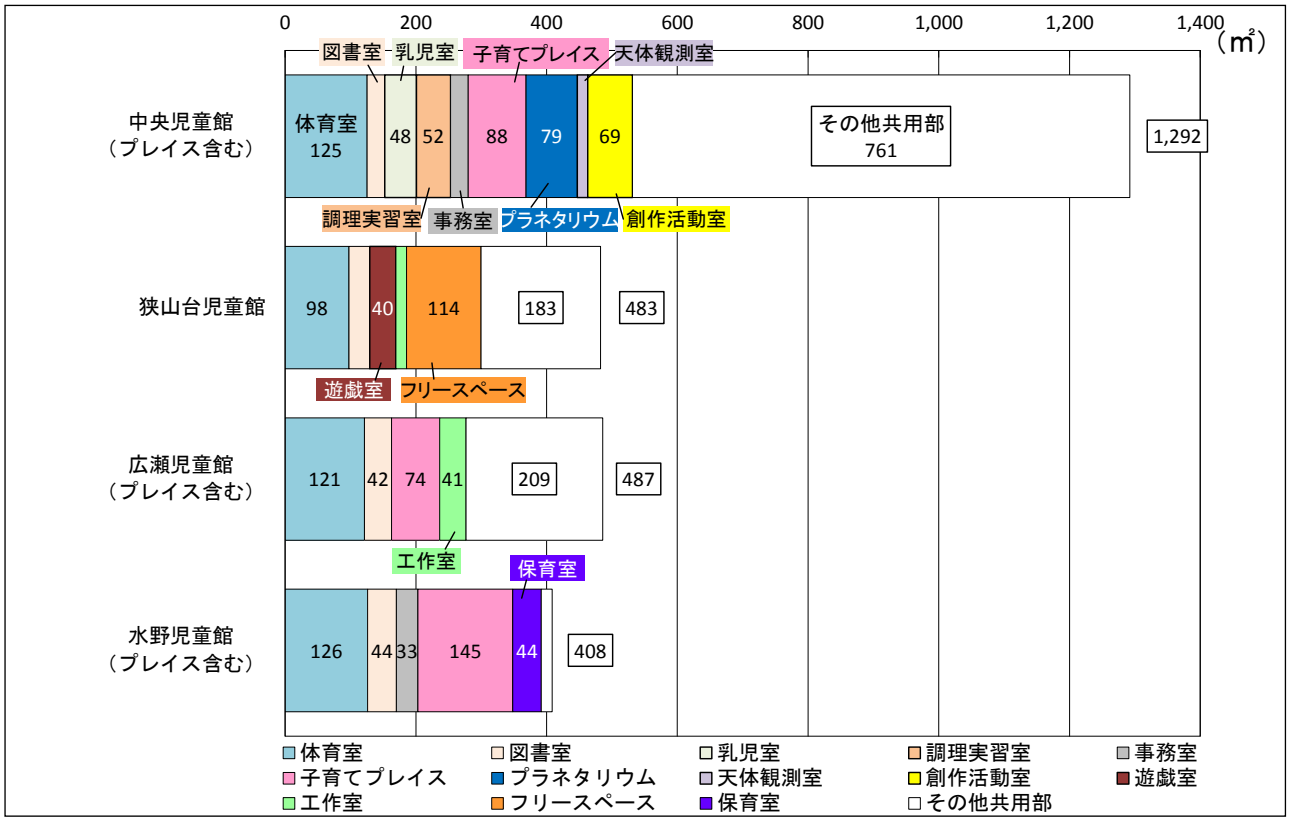
中央児童館では、全 92 席のプラネタリウムを併設しています。

	投映日時	観覧料金
一般投映（個人向け）	毎週土曜日・毎週日曜日・祝祭日の午前 11 時と午後３時（休館日を除く）	小学生以上ひとり 100 円（保護者同伴の幼児は無料）
ちびっこ映画会	毎週日曜日午後２時から開始	無料
プラネタリウム映画会	毎月第３土曜日午後１時 30 分から	無料
団体投映（予約制）	午前 10 時と午前 11 時 午後１時 30 分と午後３時 ※一般投映の時間と重なる場合はご相談下さい	有料　※市内及び、所沢市、飯能市、入間市の利用者で児童等により構成される団体（保育所、小学校、学童、子供会等）は無料です。

⑥　スペース構成（児童館）

児童館の規模は、水野児童館の 408 ㎡から中央児童館の 1,292 ㎡となっています。中央児童館、広瀬児童館、水野児童館は子育てプレイスと複合施設となっています。また、中央児童館はプラネタリウムを保有しています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　　建物状況

■　児童館の建物総合評価結果

児童館４施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

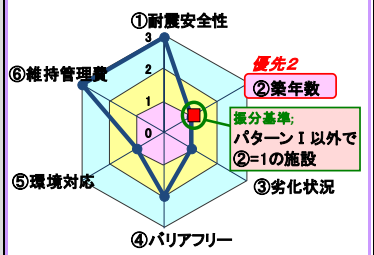
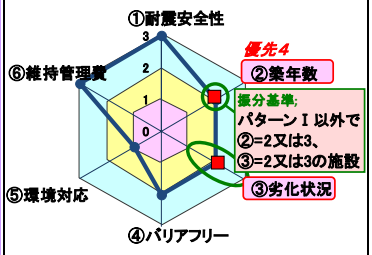
No.	施設名	基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応							⑤環境対応			⑥維持管理					
																			維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
		建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	中央児童館	昭和46	1,292	○	44		44	×	×	×	×	○	○	○	×	×	×	指定管理委託料に含まれているので対象外とする					
2	狭山台児童館	昭和56	483	－	34		34	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×						
3	広瀬児童館	昭和58	487	－	32		32	×	×	×	×	○	×	○	×	×	×						
4	水野児童館	昭和63	408	－	27		27	△	○	×	○	○	○	○	×	×	×						
	合計・平均		2,671																				

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例	
○	実施済み
△	対策中
×	未実施
―	不要

③の凡例	
○	劣化がみられないもの
△	一部に劣化がみられるもの・不明
×	屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

中央児童館、狭山台児童館、広瀬児童館は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。水野児童館は築 20 年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

	パターンⅡ　老朽化	パターンⅣ　今後　老朽化
評価	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・今後、老朽化が進行する ⇒今後老朽化対策の検討が必要になる施設
		
該当施設	該当施設　建築年度 中央児童館　昭和46 狭山台児童館　昭和56 広瀬児童館　昭和58 ＜ 3 施設 ＞	該当施設　建築年度 水野児童館　昭和63 ＜ 1 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・新耐震基準の建物ですが、築20年を超えており、計画的な老朽化対策の検討が必要になっています。

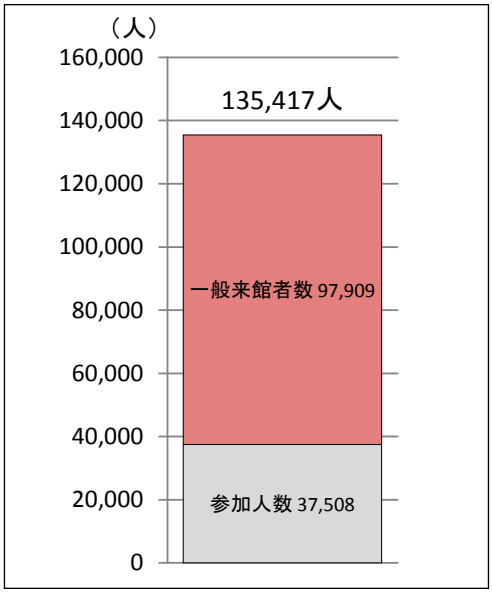
② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 26 年度の児童館の全体利用者数は 13 万 5,417 人です。

利用者の内訳をみると、事業の参加人数が３万 7,508 人（約 28%）、一般来館者数が９万 7,909 人（約 72%）となっています。

図表　年間利用者数（平成 26 年度）

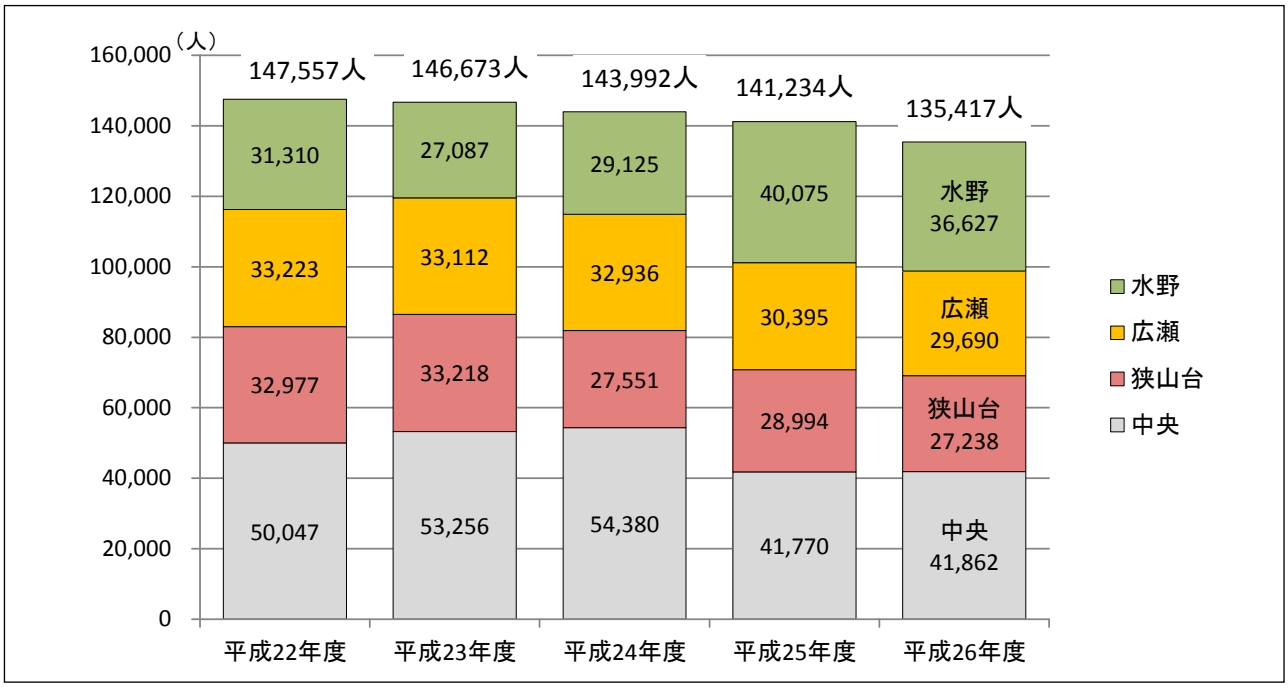


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 22 年度の 14 万 7,557 人から平成 26 年度の 13 万 5,417 人と減少の傾向になっています。

図表　利用者数の推移



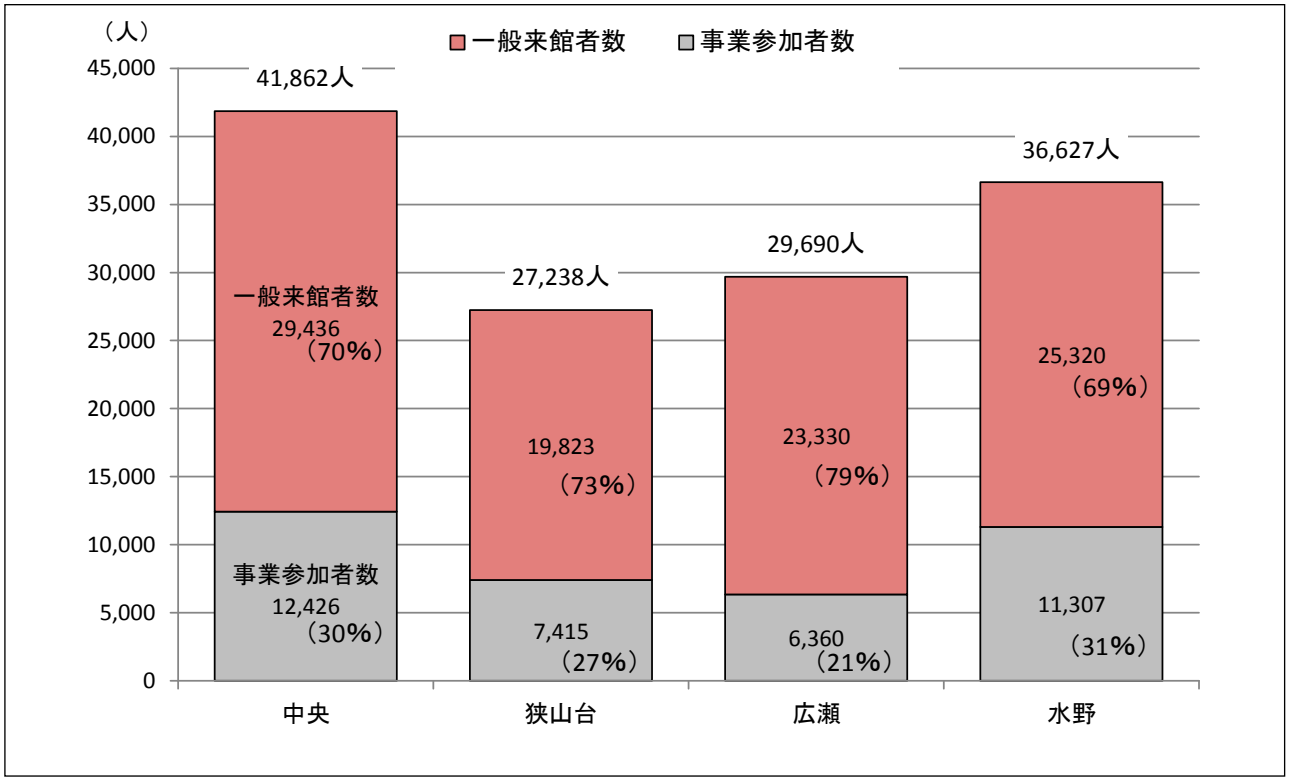
（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　施設別の利用状況

平成 26 年度の施設別利用者数をみると、中央児童館の利用が４万 1,862 人と最も多く、次いで水野児童館の利用が３万 6,627 人となっています。

利用者数の内訳の比率をみると、事業参加者数が 21%～31%、一般来館者数が 69%～79%の割合となっています。

図表　施設別　利用者数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　プラネタリウム利用状況

プラネタリウムの平成 26 年度の利用状況をみると、401 回/年、9,815 人/年となっています。

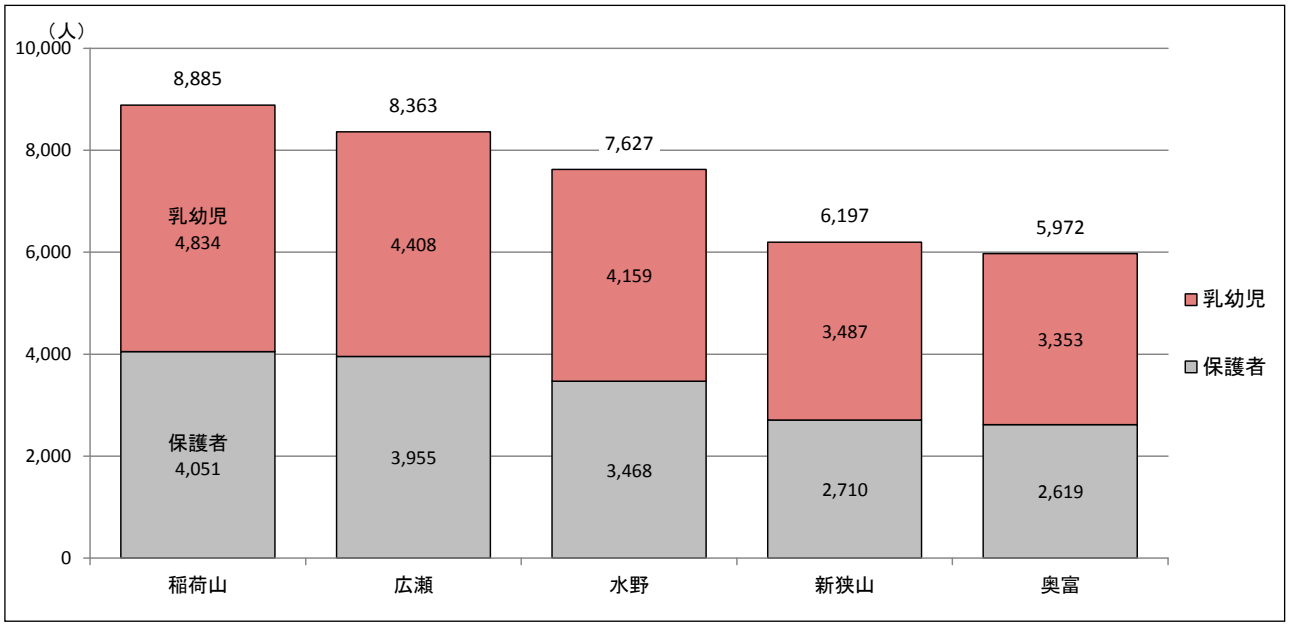
図表　プラネタリウム利用状況（平成 26 年度）

区分	一般投影	団体投影	合計
投　影　回　数	287 回	114 回	401 回
入　場　者　数	3,756 人	6,059 人	9,815 人

■ 子育てプレイス　施設別の利用状況

子育てプレイスの平成 26 年度の施設別利用者数をみると、子育てプレイス稲荷山の利用が 8,885 人と最も多く、次いで子育てプレイス広瀬の 8,363 人となってます。

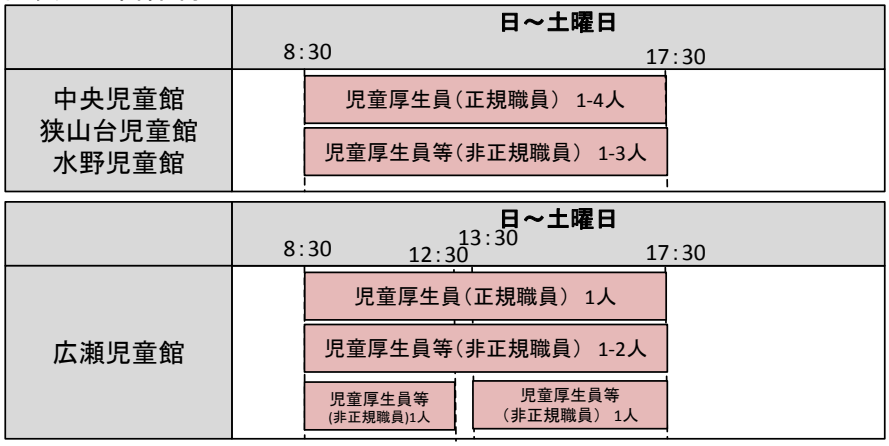
図表　施設別・利用団体別　利用者数（平成 26 年度）



③ 運営状況

児童館は指定管理者による運営となっており、全施設３人から４人体制で運営しています。

図表　運営体制



④ コスト状況

児童館の４施設の年間トータルコストは、１億 2,078 万円です。年間トータルコストのうち、指定管理委託料は１億 932 万円（約 91%）、その他施設にかかるコスト（委託費等）は 156 万円（約 1%）、減価償却相当額は 971 万円（約 8%）です。

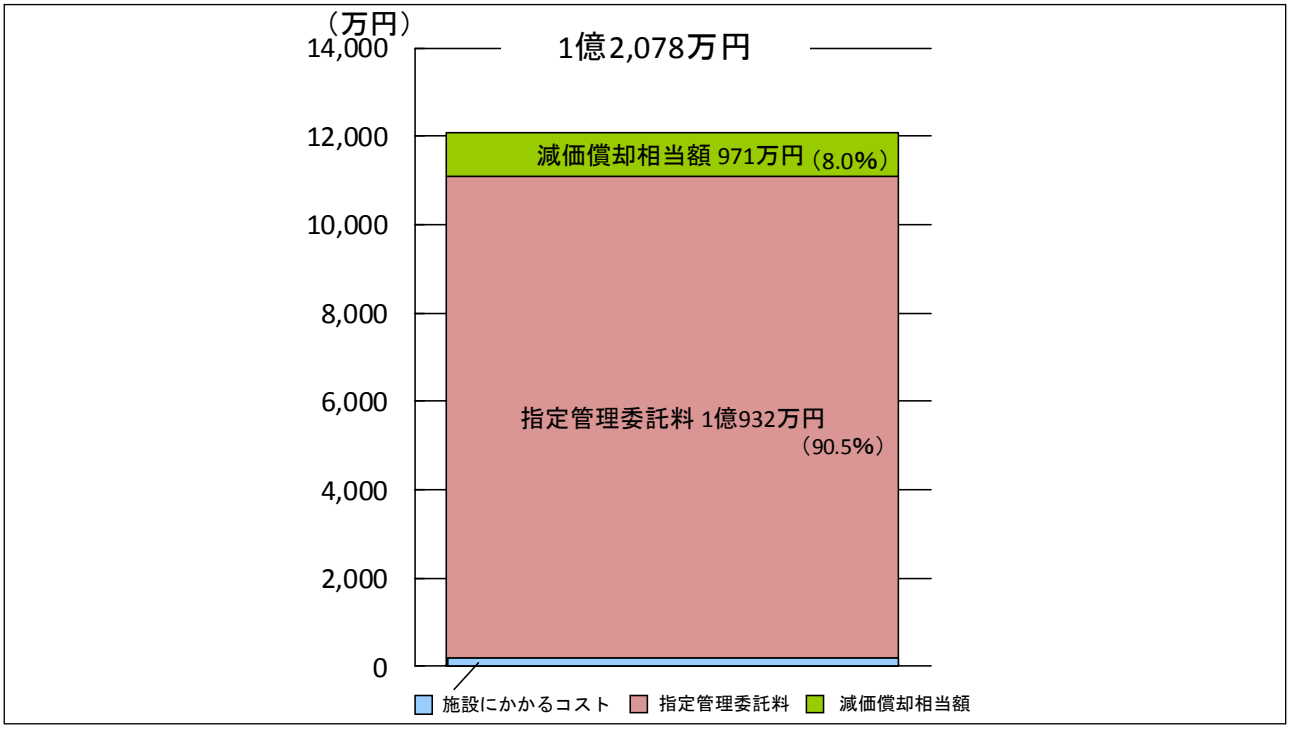
図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）　（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		中央	狭山台	広瀬	水野	合計
施設にかかるコスト	委託費	1,555,488	0	0	0	1,555,488
	施設にかかるコスト	1,555,488	0	0	0	1,555,488
事業運営にかかるコスト	負担金補助及び交付金	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
	事業運営にかかるコスト	50,000	50,000	50,000	50,000	200,000
指定管理委託料		46,645,714	19,419,603	22,730,309	20,520,000	109,315,626
現金収支を伴うコスト　計		48,251,202	19,469,603	22,780,309	20,570,000	111,071,114
Ⅱ.現金収支を伴わないもの						
コスト	減価償却相当額	5,684,247	1,418,400	1,494,776	1,112,783	9,710,206
Ⅲ.総括						
コストの部合計（トータルコスト）		53,935,449	20,888,003	24,275,085	21,682,783	120,781,320
収支差額（ネットコスト）		53,935,449	20,888,003	24,275,085	21,682,783	120,781,320

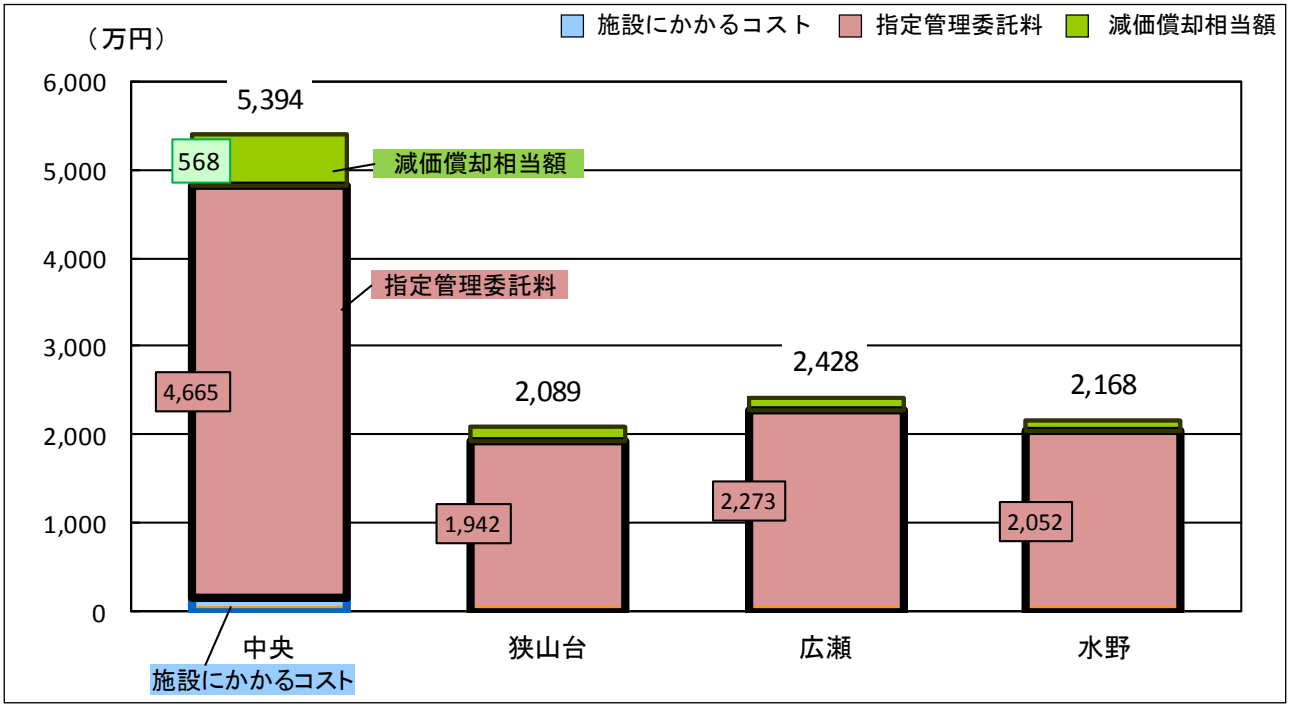
指定管理委託料は１億 932 万円で、トータルコストの約 91%を占めています。

施設別トータルコストでは、狭山台児童館の 2,089 万円から中央児童館の 5,394 万円で、４施設の平均は、3,020 万円となっています。

図表　児童館　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　児童館　施設別トータルコスト（平成 26 年度）



子育てプレイスの５施設の年間トータルコストは、1,959 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 345 万円（約 18%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 1,412 万円（約 72%）、減価償却相当額は 202 万円（約 10%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

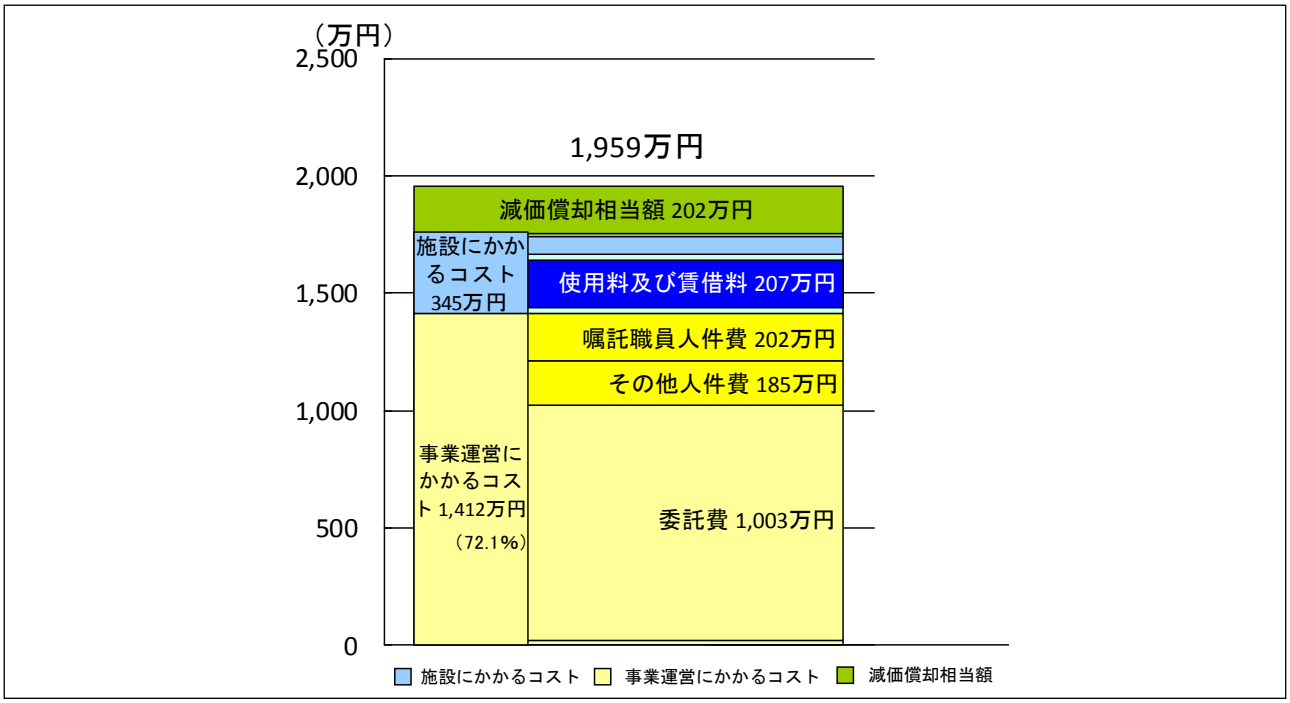
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		稲荷山	広瀬	水野	新狭山	奥富	合計
施設にかかるコスト	修繕費	0	0	0	0	123,450	123,450
	光熱水費	0	0	0	321,931	456,636	778,567
	委託費	0	0	0	129,600	102,468	232,068
	使用料及び賃借料	0	0	0	2,069,988	0	2,069,988
	その他物件費	0	0	0	243,920	0	243,920
	施設にかかるコスト	0	0	0	2,765,439	682,554	3,447,993
事業運営にかかるコスト	嘱託職員人件費	0	0	0	2,015,956	0	2,015,956
	その他人件費	0	0	0	1,852,204	0	1,852,204
	委託費	0	0	5,295,085	0	4,731,428	10,026,513
	その他物件費	0	0	0	228,356	0	228,356
	事業運営にかかるコスト	0	0	5,295,085	4,096,516	4,731,428	14,123,029
現金収支を伴うコスト　計		0	0	5,295,085	6,861,955	5,413,982	17,571,022
Ⅱ.現金収支を伴わないもの							
コスト	減価償却相当額	793,073	265,396	612,637	0	347,700	2,018,806
Ⅲ.総括							
コストの部合計（トータルコスト）		793,073	265,396	5,907,722	6,861,955	5,761,682	19,589,828
収支差額（ネットコスト）		793,073	265,396	5,907,722	6,861,955	5,761,682	19,589,828

※子育てプレイス稲荷山、広瀬に係る施設及び事業運営のコストは、児童館のコストに含まれています。子育てプレイス水野に係る施設コストは水野児童館のコストに含まれています。

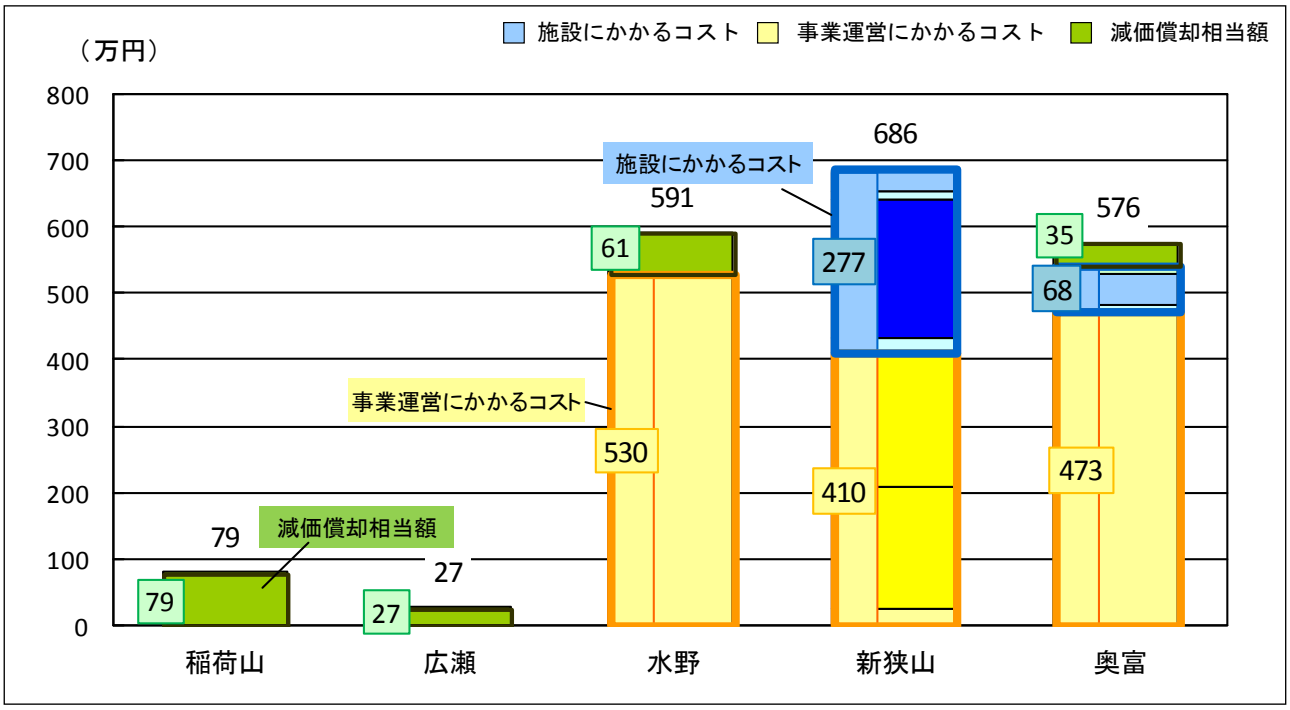
人件費の合計は 387 万円で、トータルコストの約 20%を占めています。

施設別トータルコストでは、子育てプレイス広瀬の 27 万円から新狭山は 686 万円で、５施設の平均は、392 万円となっています。

図表　子育てプレイス　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　子育てプレイス　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

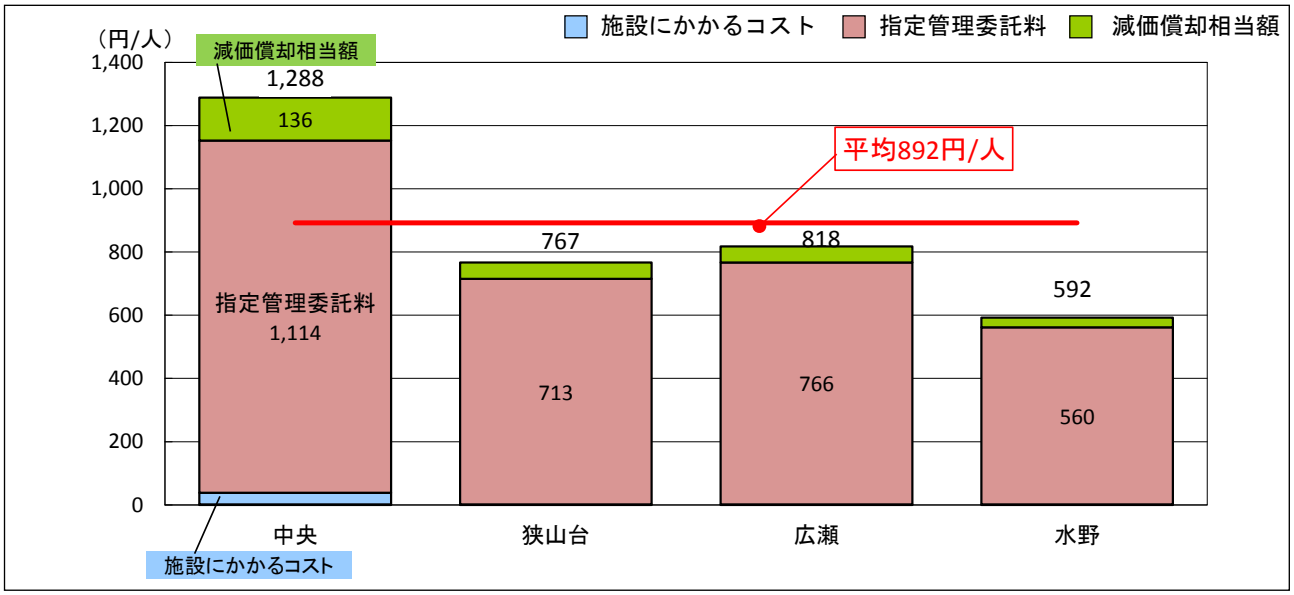


３）評価・分析

■　児童館　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、水野児童館の 592 円/人から中央児童館の 1,288 円/人となっています。なお、児童館の平均は 892 円/人です。

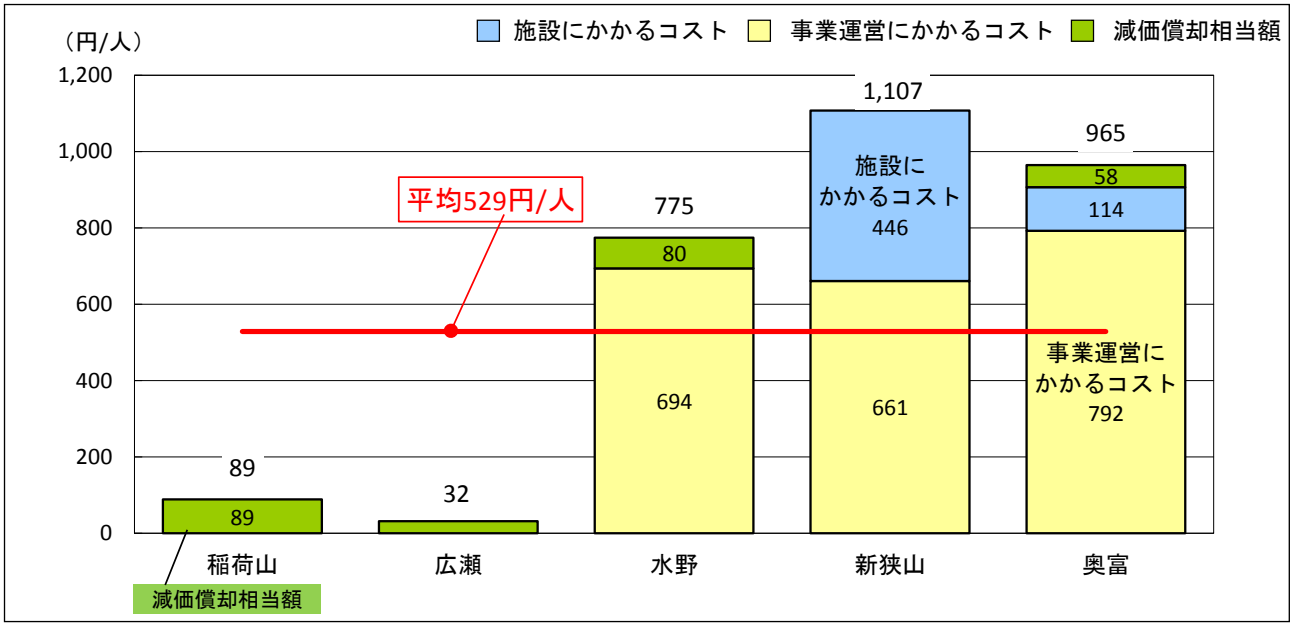
図表　施設別　利用者１人当たりコスト



■　子育てプレイス　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、子育てプレイス広瀬の 32 円/人から子育てプレイスの新狭山の 1,107 円/人となっています。なお、子育てプレイスの平均は 529 円/人です。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■ 建物面

・ 中央児童館の旧本館は、耐震補強が難しいことから利用を停止しており解体する予定となっていますが、解体にも難しさが伴うため、対応策を検討する必要があります。また、プラネタリウムの投影機は、古く使用不能となった場合は中央児童館のあり方から検討する必要があります。

■ 利用・運営面

・ 児童館の利用者数は、事業参加者数が 21%～31%、一般来館者数が 69%～79%の割合となっており、子育てプレイスを複合・併設している児童館も３館あるなど、乳幼児から小学生の居場所・活動場所となっています。

・ 児童館は、乳幼児から高校生までを対象とした施設であり、平日の午前中は乳幼児、午後は小学生以上の利用が中心となります。

（１６）学童保育室

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、児童の保護者が就労などにより昼間家庭にいない場合に、放課後や学校休業日に、家庭に代わる生活の場として適切な遊びや指導を行う施設として、学童保育室を 20 施設保有しています。

設置目的:児童の保護者が就労などにより常時家庭が留守等になっている児童の健全な育成を図るため。

図表　施設一覧

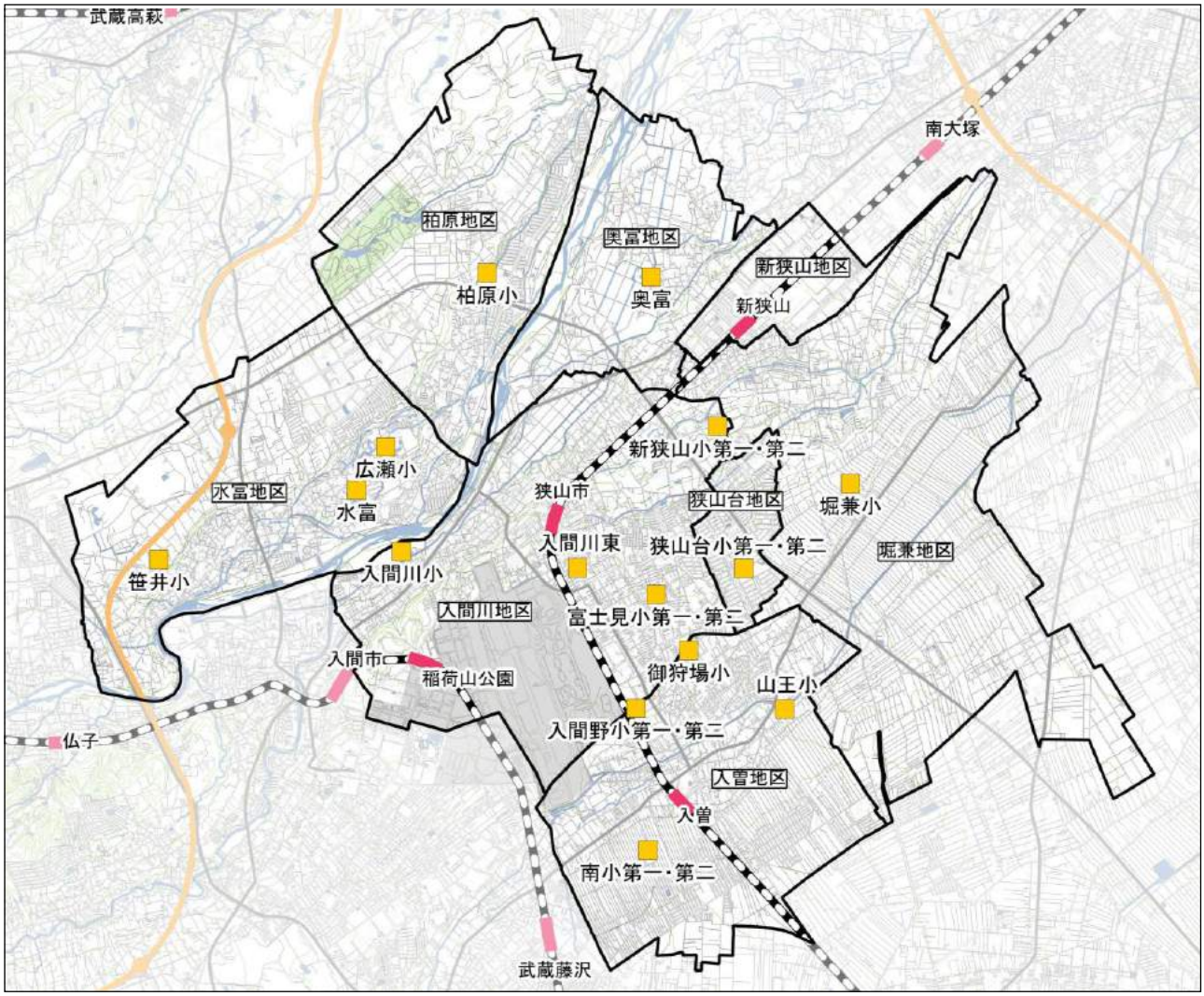
地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	併設施設	定員（人）	登録者数（人）H26.5.1	土地所有
入間川	1 入間川小学童保育室	鵜ノ木 5-9	100.40	平成11	鉄筋コンクリート	入間川小学校	30	48	市
入間川	2 入間川東学童保育室	富士見 1-13-33	185.50	昭和60	軽量鉄骨		50	50	市
入間川	3 富士見小第一学童保育室	中央 4-17-1	124.80	昭和48	鉄筋コンクリート	富士見小学校	50	52	市
入間川	4 富士見小第二学童保育室	中央 4-17-1	62.40	昭和48	鉄筋コンクリート	富士見小学校	30	32	市
入曽	5 南小第一学童保育室	水野 815-1	126.00	昭和45	鉄筋コンクリート	南小学校	50	59	市
入曽	6 南小第二学童保育室	水野 815-1	64.00	昭和56	鉄筋コンクリート	南小学校	30	33	市
入曽	7 山王小学童保育室	南入曽 55	132.00	昭和54	鉄筋コンクリート	山王小学校	50	61	市
入曽	8 入間野小第一学童保育室	北入曽 980	104.34	平成14	鉄骨		50	31	市
入曽	9 入間野小第二学童保育室	北入曽 980	134.06	平成23	鉄骨		50	29	市
入曽	10 御狩場小学童保育室	北入曽 755-4	157.30	平成17	木造		50	30	市
堀兼	11 堀兼小学童保育室	堀兼 1234	131.00	昭和54	鉄筋コンクリート	堀兼小学校	50	41	市
狭山台	12 狭山台小第一学童保育室	狭山台 4-25	125.60	昭和53	鉄筋コンクリート	狭山台小学校	50	37	市
狭山台	13 狭山台小第二学童保育室	狭山台 4-25	188.00	昭和53	鉄筋コンクリート	狭山台小学校	50	35	市
新狭山	14 新狭山小第一学童保育室	入間川 1108	112.60	平成4	軽量鉄骨		40	24	市
新狭山	15 新狭山小第二学童保育室	入間川 1108	109.30	平成25	軽量鉄骨		40	23	市
奥富	16 奥富学童保育室	下奥富 1100	269.97	昭和51	鉄筋コンクリート	奥富地区センター分室ほか	50	44	市
柏原	17 柏原小学童保育室	柏原 1141	149.00	平成15	木造		50	52	市
水富	18 水富学童保育室 ※2	広瀬 2-2-17	120.70	昭和58	鉄筋コンクリート	広瀬児童館	50	36	市
水富	19 広瀬小学童保育室	広瀬東 4-4-1	79.00	昭和59	鉄筋コンクリート	広瀬小学校	40	64	市
水富	20 笹井小学童保育室	笹井 1700	127.50	昭和59	鉄筋コンクリート	笹井小学校	50	38	市
合計			2,603.47						

※ ［　　］：築 30 年以上施設

※2　平成 27 年度より水富小学校内へ移転

②　配置状況

図表　学童保育室位置図



③　開館日・保育時間

保育時間
月曜日から金曜日 ・放課後から午後６時まで（午後６時から６時 30 分の延長保育を希望する場合は別途申請が必要） 土曜日 ・午前８時から午後６時まで（４月・８月を除く第２土曜日は、放課後から午後６時まで） 春・夏・冬休み等 ・午前８時から午後６時まで（午後６時から６時 30 分の延長保育を希望する場合は別途申請が必要）

④　事業内容

留守家庭児童に対する適切な遊びや指導その他健全な育成に必要な活動を行っています。

⑤　利用方法・使用料金等

入室は毎月１日から。入室を希望する場合は、入室希望月の前月の 15 日までに必要書類を学務課に提出。入室結果については、学童保育室の定員に対する入室状況、保育の必要性等を総合的に審査し、決定。入室を保留する場合あり。

申込みに必要な書類は、申込書のほか、放課後等に児童の保育ができない事情（就労・病気・出産・介護など）の証明書が必要。

■　保育料

世帯区分	月額保育料
生活保護法の規定による被保護世帯・前年度の市民税非課税世帯	０円
上記の世帯を除き、前年分所得税非課税世帯	3,000 円
その他の世帯	7,000 円

２）実態把握

①　　建物状況

■　学童保育室の建物総合評価結果

学童保育室 20 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

		基本情報		①耐震化	②老朽化			③劣化状況	④バリアフリー対応						⑤環境対応			⑥維持管理					
																		維持管理費（千円）			床面積当たり（円/㎡）		
No.	施設名	建築年度	延床面積（㎡）	耐震診断・耐震改修	築年数	直近の大規模改修	築年数または直近の大規模改修後経過年数	劣化問診票回答評価	段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	太陽光発電の導入	自然エネルギー・屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	入間川小学童保育室	平成11	100	－	16		16	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	2,316	301	0	23,066	2,994
2	入間川東学童保育室	昭和60	186	○	30		30	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	465	2,316	301	2,508	12,484	1,621
3	富士見小第一学童保育室	昭和48	125	○	42		42	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	156	301	0	833	1,606
4	富士見小第二学童保育室	昭和48	62	○	42		42	○	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
5	南小第一学童保育室	昭和45	126	○	45		45	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	156	301	0	820	1,582
6	南小第二学童保育室	昭和56	64	○	34		34	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
7	山王小学童保育室	昭和54	132	△	36		36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	39	156	301	293	1,181	2,278
8	入間野小第一学童保育室	平成14	104	－	13		13	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	371	156	301	1,557	654	1,261
9	入間野小第二学童保育室	平成23	134	－	4		4	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
10	御狩場小学童保育室	平成17	157	－	10		10	△	○	×	×	○	×	×	×	×	×	371	156	301	2,360	991	1,911
11	堀兼小学童保育室	昭和54	131	○	36		36	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	156	301	0	1,190	2,295
12	狭山台小第一学童保育室	昭和53	126	○	37		37	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×	56	156	301	179	497	959
13	狭山台小第二学童保育室	昭和53	188	○	37		37	×	×	×	×	○	×	×	×	×	×						
14	新狭山小第一学童保育室	平成4	113	－	23		23	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	465	156	301	2,097	702	1,355
15	新狭山小第二学童保育室	平成25	109	－	2		2	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×						
16	奥富学童保育室	昭和51	270	○	39		39	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	465	156	301	1,723	577	1,114
17	柏原小学童保育室	平成15	149	－	12		12	△	○	×	×	×	×	×	×	×	×	409	156	301	2,746	1,046	2,018
18	水富学童保育室	昭和58	121	－	32		32	×	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	5,316	301	0	44,039	2,491
19	広瀬小学童保育室	昭和59	79	－	31		31	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	156	301	0	1,973	3,806
20	笹井小学童保育室	昭和59	128	－	31		31	△	×	×	×	×	×	×	×	×	×	0	156	301	0	1,222	2,358
	合計・平均		2,603															2,642	11,817	4,510	1,015	4,539	1,732

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

：床面積当たり（円/㎡）の平均値
（床面積当たりの平均値＝それぞれの費用の合計/延床面積の合計）

：平均値の1.4倍以上

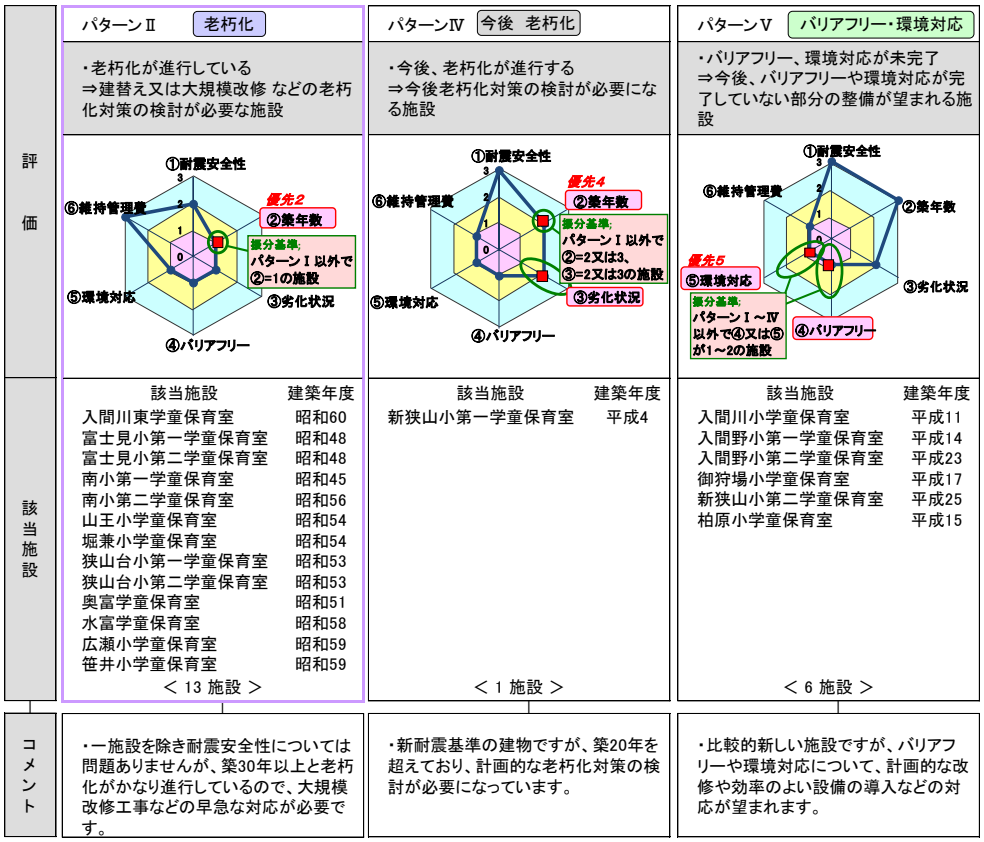
①④⑤の凡例

○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例

○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

入間川東学童保育室等の 13 施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。新狭山小第一学童保育室は、築 23 年経過しており、今後老朽化対策の検討が必要となります。入間川小学童保育室等の６施設は、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

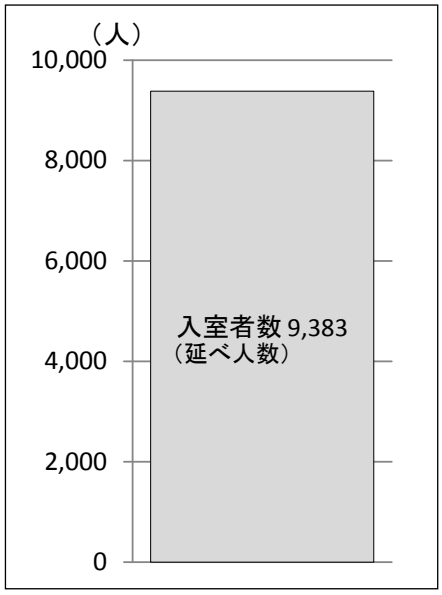


② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 26 年度の学童保育室の入室者数（延べ人数）は 9,383 人です。

図表　年間入室者数（平成 26 年度）

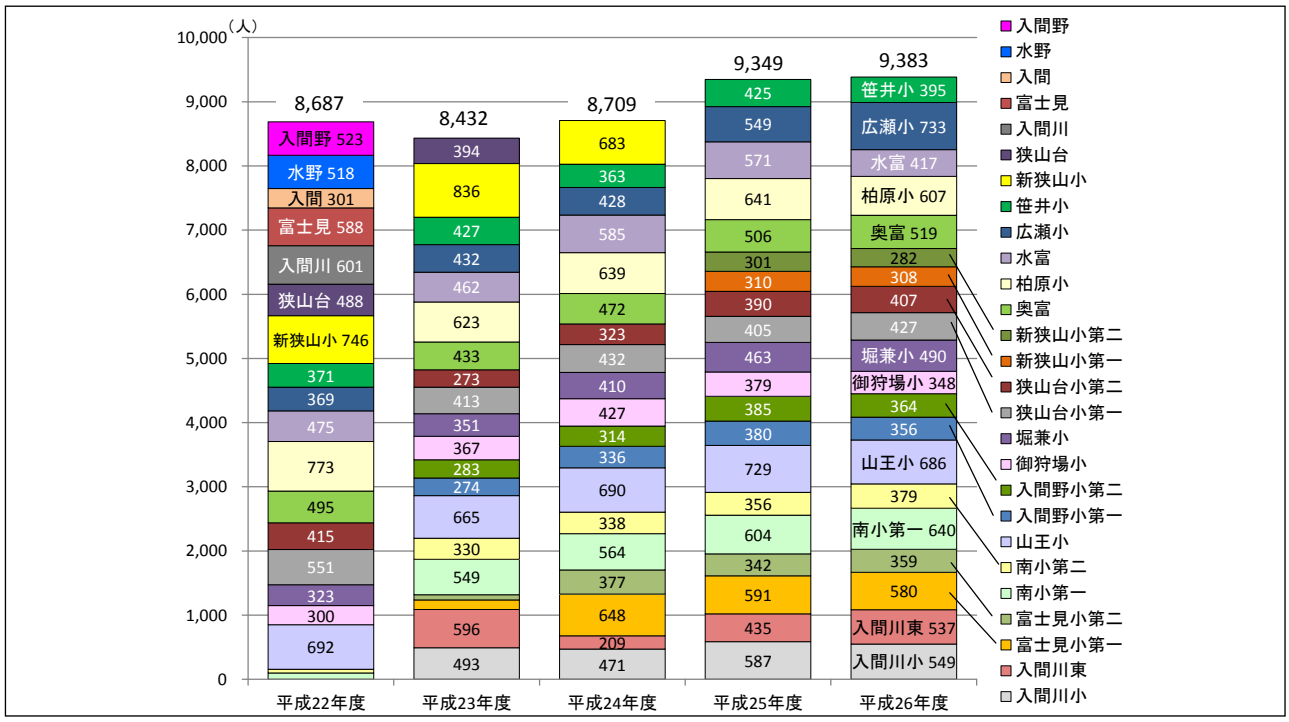


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　利用推移

入室者数(延べ人数)の推移は、平成22年度から平成26年度の５年間で8,432人から9,383人の間で推移しています。

図表　入室者数（延べ人数）の推移

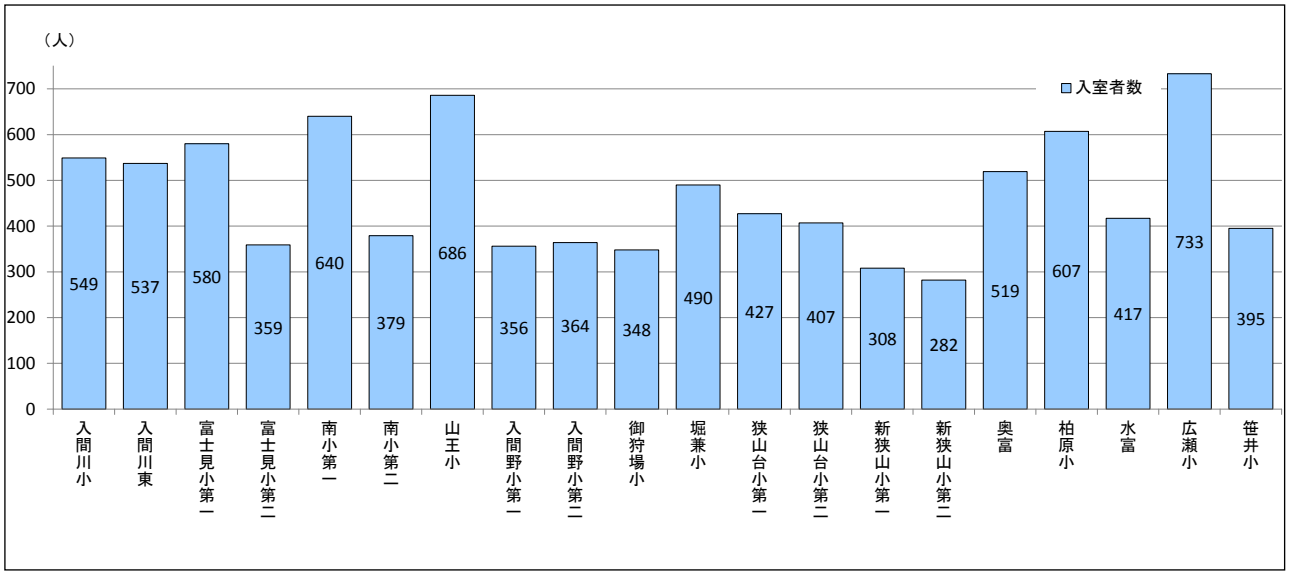


（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　施設別の利用状況

平成 26 年度の入室者数（延べ人数）をみると、広瀬小学童保育室の入室者数（延べ人数）が733 人と最も多く、次いで山王小学童保育室、南小第一学童保育室となっています。

図表　施設別　入室者数（延べ人数）（平成 26 年度）

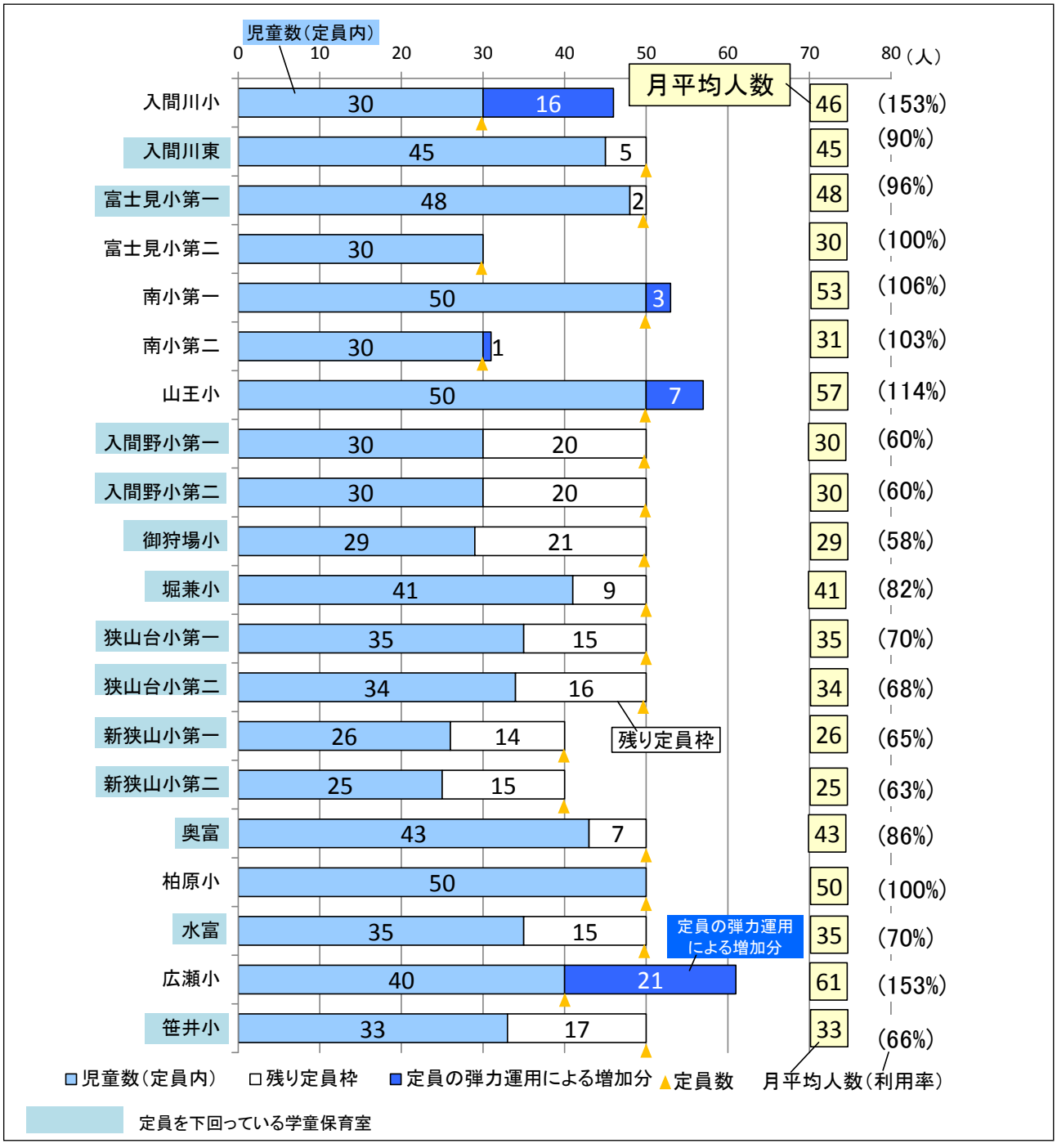


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　施設別の入室状況

定員数と児童数は、20 施設中 13 施設で定員を下回っています。一方、定員を超えている５施設は、定員の弾力的運用により運営を行っています。

図表　学童保育室の定員及び児童数（平成 26 年度）

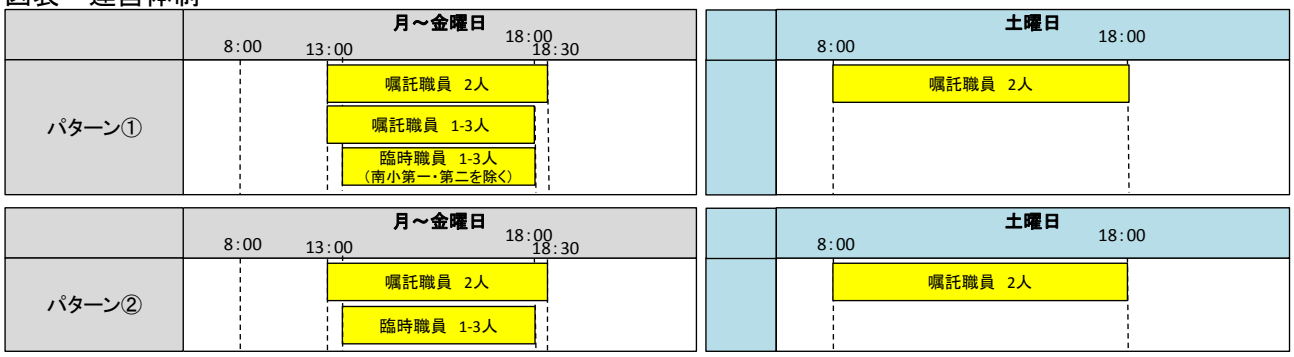


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

③ 運営状況

学童保育室は、市の直営となっています。パターン①の施設の月曜から金曜日は嘱託職員と臨時職員の４人から８人体制、パターン②の施設は嘱託職員と臨時職員の３人から５人体制で運営しています。パターン①、パターン②とも、土曜日の運営体制は全施設で２人が従事しています。

図表　運営体制



パターン①：入間川小、入間川東、富士見小第一・第二、南小第一・第二、山王小、入間野小第一・第二、狭山台小第一・第二、新狭山小第一・第二、広瀬小学童保育室

パターン②：御狩場小、堀兼小、奥富、柏原小、水富、笹井小学童保育室

④ コスト状況

学童保育室の 20 施設の年間トータルコストは、1 億 6,223 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 2,169 万円（約 13%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 1 億 2,934 万円（約 80%）、減価償却相当額は 1,119 万円（約 7%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

（円）

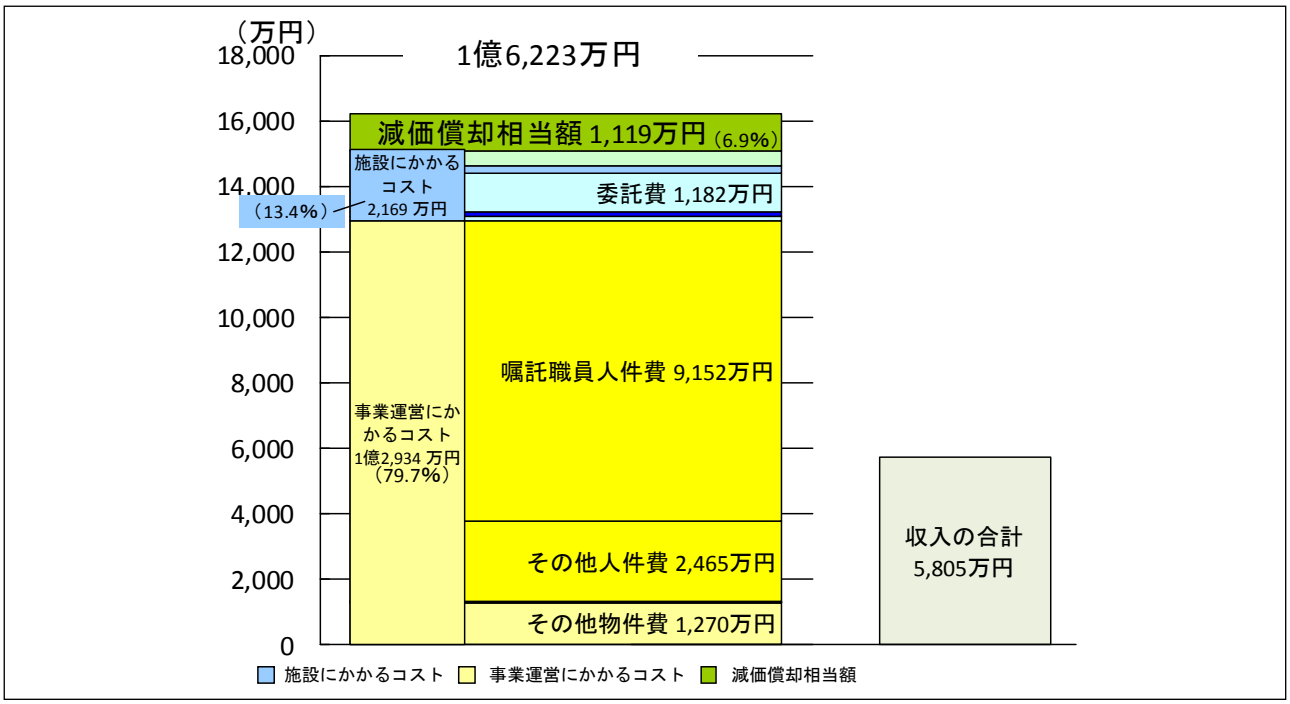
Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		入間川小	入間川東	富士見小 第一・第二	南小 第一・第二	山王小	入間野小 第一・第二	御狩場小	堀兼小
施設にかかるコスト	修繕費	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	0	465,229	0	0	38,699	371,295	371,295	0
	委託費	2,315,847	2,315,847	155,847	155,847	155,847	155,847	155,847	155,847
	使用料及び賃借料	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979
	その他物件費	69,350	69,350	69,350	69,350	69,350	69,350	69,350	69,350
	施設にかかるコスト	2,768,819	3,234,048	608,819	608,819	647,518	980,114	980,114	608,819
事業運営にかかるコスト	嘱託職員人件費	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105
	その他人件費	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411
	委託費	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564
	負担金補助及び交付金	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393
	その他物件費	673,305	673,305	989,878	989,878	673,305	989,878	673,305	673,305
	事業運営にかかるコスト	8,449,778	8,449,778	8,766,352	8,766,352	8,449,778	8,766,352	8,449,778	8,449,778
現金収支を伴うコスト　計		11,218,597	11,683,827	9,375,171	9,375,171	9,097,296	9,746,466	9,429,893	9,058,597
【収入の部】									
収入	使用料収入等	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280
収入の合計		3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280
Ⅱ.現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	577,587	1,100,000	410,502	474,591	340,386	1,275,441	1,438,500	410,160
Ⅲ.総括									
コストの部合計（トータルコスト）		11,796,184	12,783,827	9,785,673	9,849,762	9,437,682	11,021,907	10,868,393	9,468,757
収支差額（ネットコスト）		7,925,904	8,913,547	5,915,393	5,979,482	5,567,402	7,151,627	6,998,113	5,598,477

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		狭山台小 第一・第二	新狭山小 第一・第二	奥富	柏原小	水富	広瀬小	笹井小	合計
施設にかかるコスト	修繕費	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	300,643	4,509,651
	改修費	0	0	0	0	0	0	0	0
	光熱水費	56,001	465,229	465,229	409,228	0	0	0	2,642,207
	委託費	155,847	155,847	155,847	155,847	5,315,544	155,847	155,847	11,817,408
	使用料及び賃借料	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	82,979	1,244,680
	その他物件費	69,350	69,350	69,350	69,350	509,253	69,350	69,350	1,480,146
	施設にかかるコスト	664,820	1,074,048	1,074,048	1,018,047	6,208,419	608,819	608,819	21,694,092
事業運営にかかるコスト	嘱託職員人件費	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	6,101,105	91,516,573
	その他人件費	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	1,643,411	24,651,170
	委託費	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	29,564	443,460
	負担金補助及び交付金	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	2,393	35,900
	その他物件費	989,878	989,878	673,305	673,305	1,688,357	673,305	673,305	12,697,491
	事業運営にかかるコスト	8,766,352	8,766,352	8,449,778	8,449,778	9,464,831	8,449,778	8,449,778	129,344,594
現金収支を伴うコスト　計		9,431,172	9,840,400	9,523,827	9,467,825	15,673,250	9,058,597	9,058,597	151,038,686
【収入の部】									
収入	使用料収入等	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	58,054,200
収入の合計		3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	3,870,280	58,054,200
Ⅱ.現金収支を伴わないもの									
コスト	減価償却相当額	736,411	1,621,483	569,003	1,198,398	435,827	228,517	375,349	11,192,155
Ⅲ.総括									
コストの部合計（トータルコスト）		10,167,583	11,461,883	10,092,830	10,666,223	16,109,077	9,287,114	9,433,946	162,230,841
収支差額（ネットコスト）		6,297,303	7,591,603	6,222,550	6,795,943	12,238,797	5,416,834	5,563,666	104,176,641

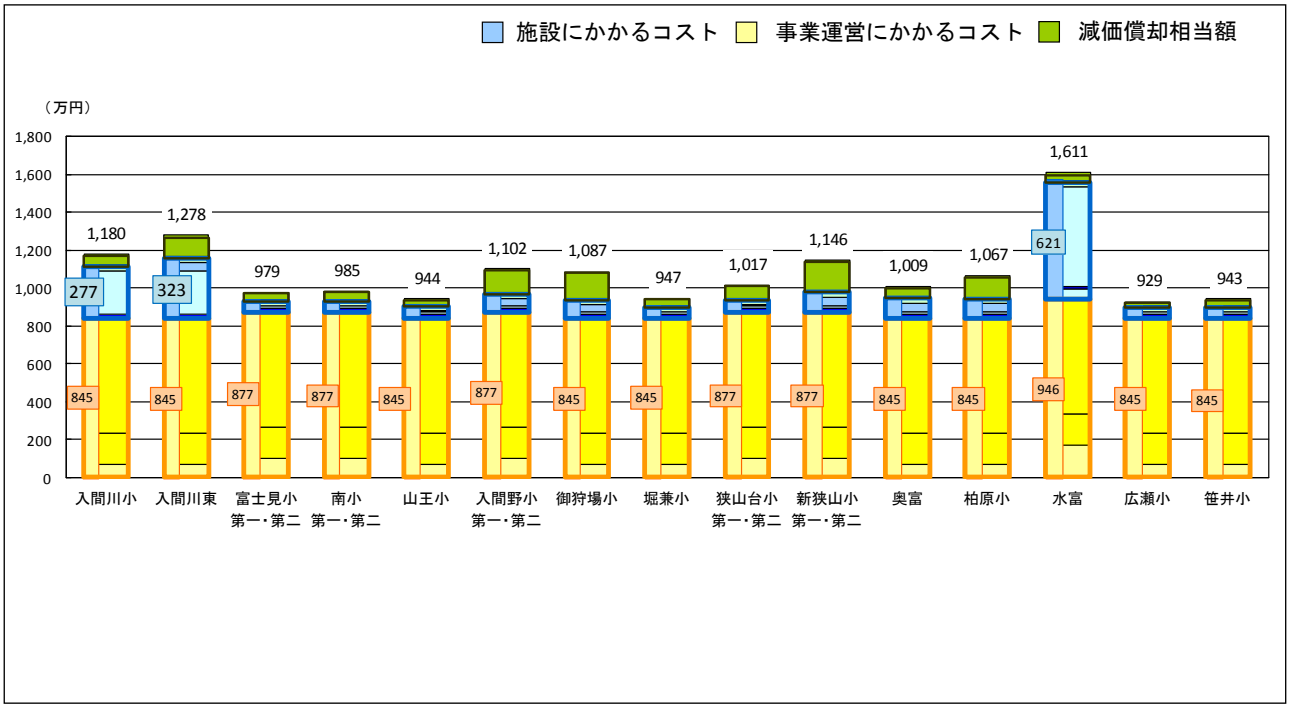
人件費（嘱託職員・その他）は合計１億 1,617 万円で、トータルコストの約 72%を占めています。

施設別トータルコストでは、広瀬小学童保育室の 929 万円から水富学童保育室の 1,611 万円で、20 施設の平均は、811 万円となっています。

図表　学童保育室　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　学童保育室　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

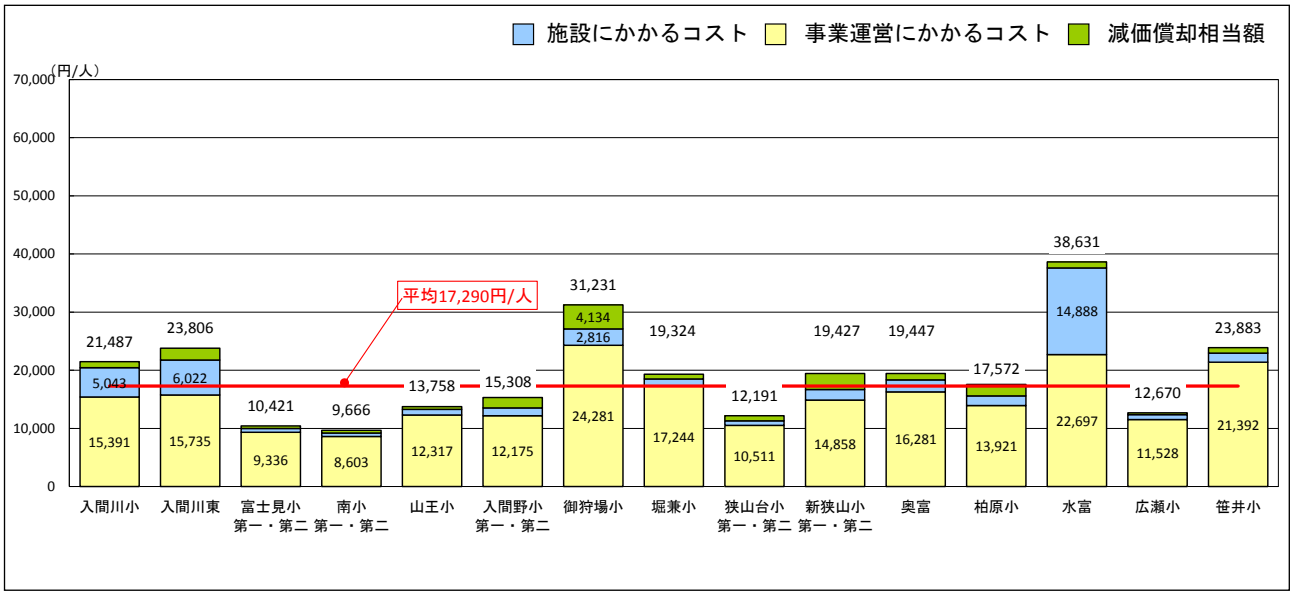


３）評価・分析

■　学童保育室　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数（延べ人数）とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、南小第一学童保育室・南小第二学童保育室の 9,666 円/人から水富学童保育室の３万 8,631 円/人となっています。なお、学童保育室の平均は１万 7,290 円/人です。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　20 施設中 13 施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。

■　利用・運営面

・　利用者数（延人数）は、直近５年間で増加傾向にあり、さらに、平成 27 年度より小学校６年生まで対象が拡大となったことで、さらなる施設不足が予測されます。新たな施設整備だけでなく、既存施設の余剰スペースの活用等も含めた対応を検討する必要があります。

（１７）老人福祉センター

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、老人の福祉増進の施設として、老人福祉センターを３施設保有しています。

設置目的：老人に関する各種の相談に応じ、また、老人に対し、健康の増進、教養の向上及びレクリエーションのための便宜を総合的に供与することを目的とする。

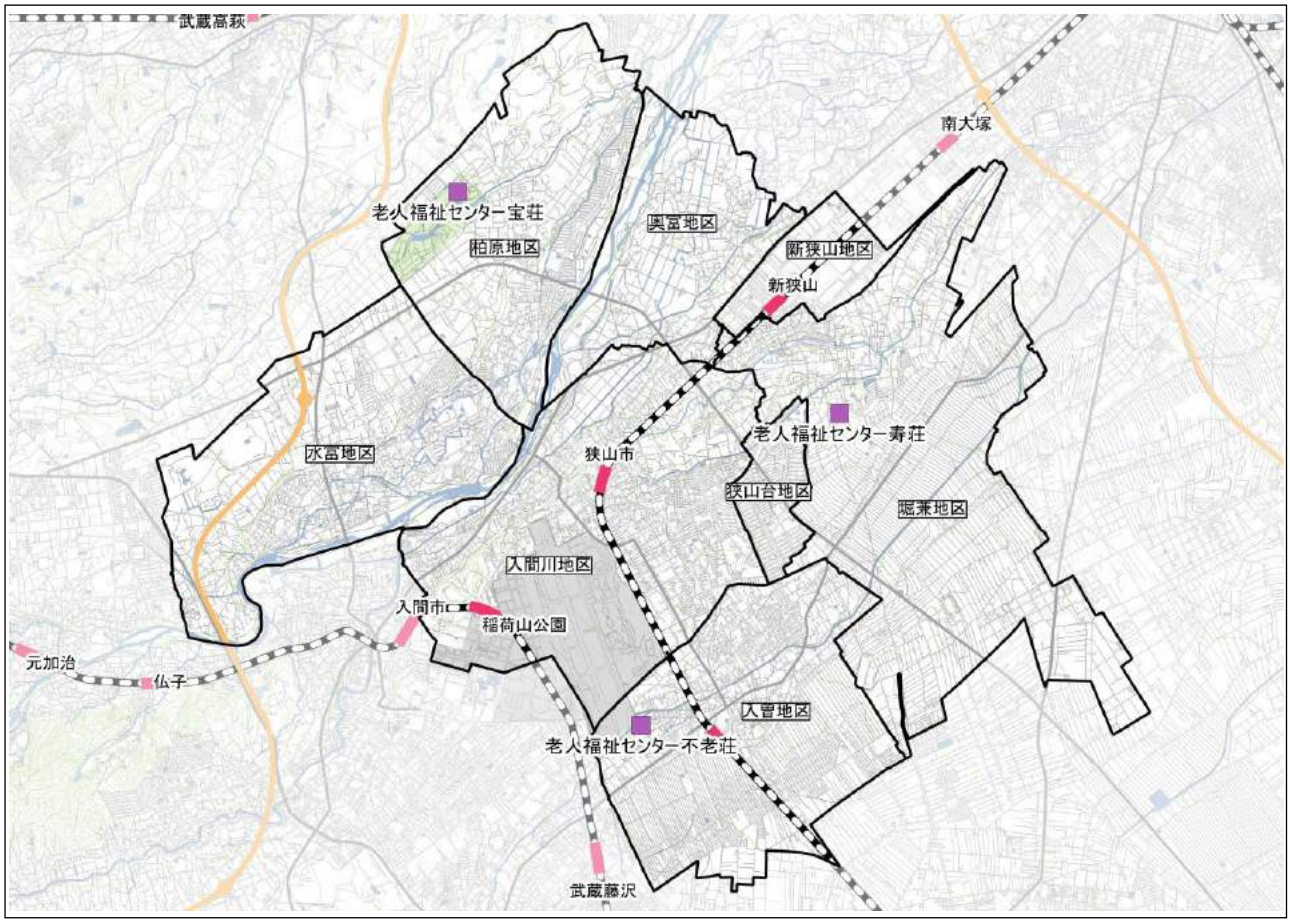
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	土地所有	備考
柏原	1 老人福祉センター宝荘	柏原 612	699.90	昭和44	鉄筋コンクリート	市	都市公園内
堀兼	2 老人福祉センター寿荘	加佐志 513-2	1,000.00	昭和56	鉄筋コンクリート	市	
入曽	3 老人福祉センター不老荘	南入曽 737-1	1,004.00	平成11	鉄筋コンクリート	借地	
合計			2,703.90				

※ ［　　］：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　老人福祉センター位置図



③　開館日・開館時間

名称	休館日	開館時間
宝荘、寿荘	月曜日 （月曜日が祝日の場合は原則として翌日が休館） 年末年始 （12月28日～1月４日）	午前９時～午後５時 30 分 ただし、お風呂は午前 11 時～午後４時
不老荘	金曜日 （金曜日が祝日の場合は原則として翌日が休館） 年末年始 （12月28日～1月４日）	

④　事業内容

高齢者の生きがいを増進させる事業を実施しています。

⑤　利用方法・使用料金等

＜60 歳以上の方＞

狭山市、入間市、所沢市、飯能市在住の方は無料

＜60 歳以上の方を介助する 60 歳未満の方＞

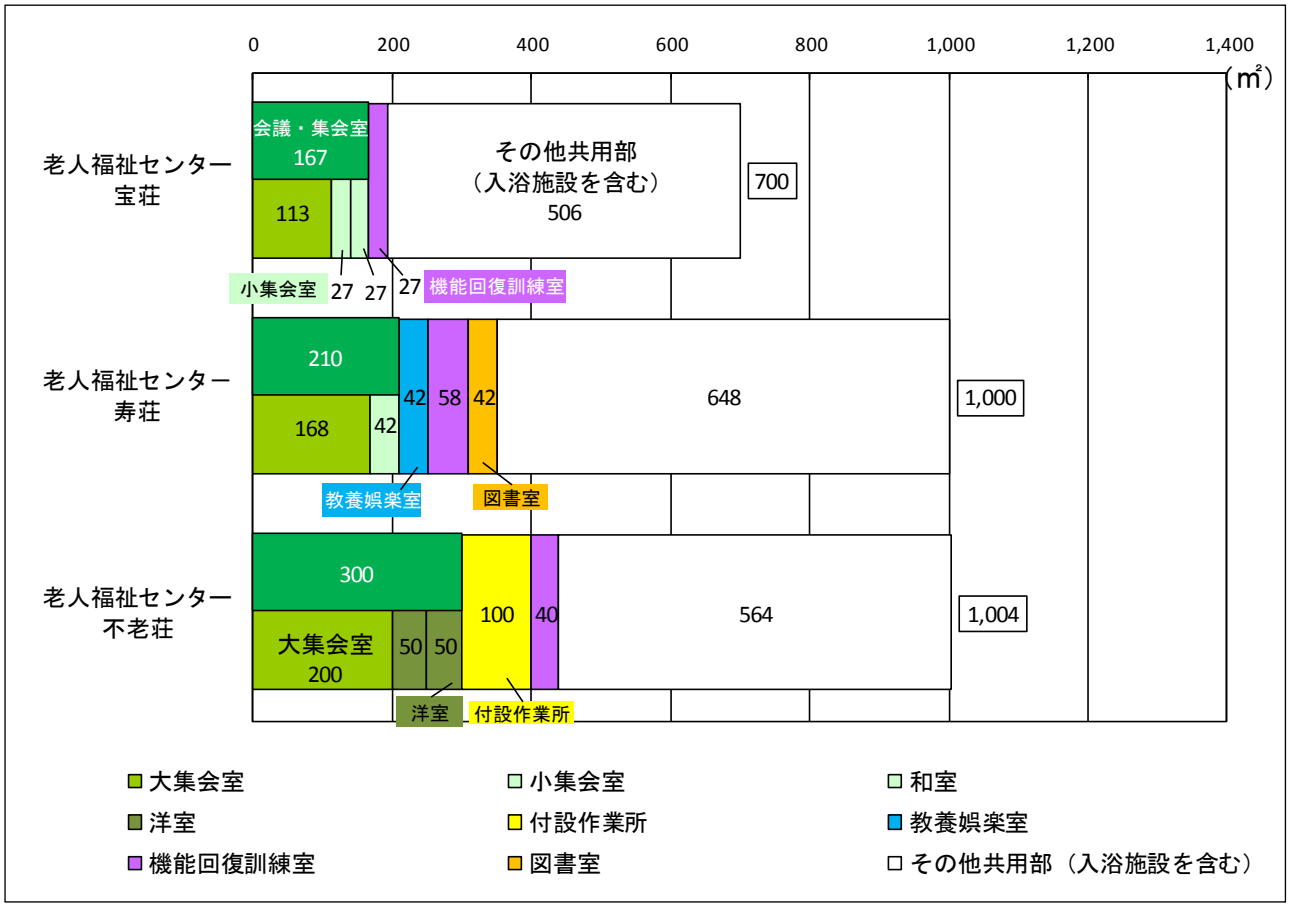
狭山市、入間市、所沢市、飯能市在住の方は無料

※上記 4 市以外の方は 300 円

⑥　スペース構成

老人福祉センターの規模は、宝荘の 700 ㎡から不老荘の 1,004 ㎡となっています。それぞれ機能回復訓練室を保有しています。その他の主な保有スペースは、会議・集会機能として会議室・洋室、その他に付設作業所・教育娯楽室・図書室となっています。

図表　スペース構成



（出典）平成 26 年度公共施設現況調査

２）実態把握

①　建物状況

■ 老人福祉センターの建物総合評価結果

老人福祉センター3 施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

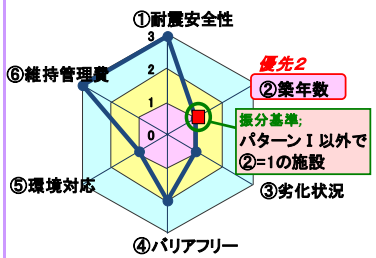
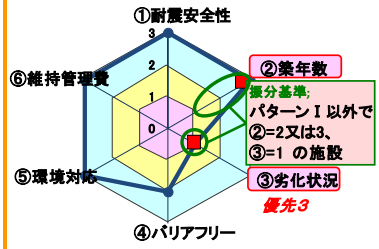
No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	④バリアフリー対応 案内設備・案内所	④バリアフリー対応 エレベーター	④バリアフリー対応 ※1 車椅子対応トイレ	④バリアフリー対応 障がい者用駐車場	④バリアフリー対応 授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	⑤環境対応 屋上・壁面緑化等	⑤環境対応 環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 建物管理委託費	⑥維持管理 維持管理費（千円） 各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 建物管理委託費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 各所修繕費
1	老人福祉センター宝荘	昭和44	700	○	46		46	×	×	×	×	○	○	×	×	×	×	指定管理委託料に含まれているので対象外とする						
2	老人福祉センター寿荘	昭和56	1,000	－	34		34	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×							
3	老人福祉センター不老荘	平成11	1,004	－	16		16	×	○	○	×	○	○	×	－	－	－							
	合計・平均		2,704																					

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○ ： 実施済み
△ ： 対策中
× ： 未実施
― ： 不要

③の凡例
○ ： 劣化がみられないもの
△ ： 一部に劣化がみられるもの・不明
× ： 屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

老人福祉センター宝荘、寿荘は築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。老人福祉センター不老荘は、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。

評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅢ 劣化対策
	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・重要部位に修繕の必要な劣化 ⇒早期に劣化部位の修繕・改修が必要な施設
		
該当施設	該当施設 建築年度 老人福祉センター宝荘 昭和44 老人福祉センター寿荘 昭和56 ＜ 2 施設 ＞	該当施設 建築年度 老人福祉センター不老荘 平成11 ＜ 1 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・耐震性や老朽化の面では緊急な状況にはないが、外壁・屋根などの重要な部位に修繕の必要な劣化がみられ、早期の対策が必要です。

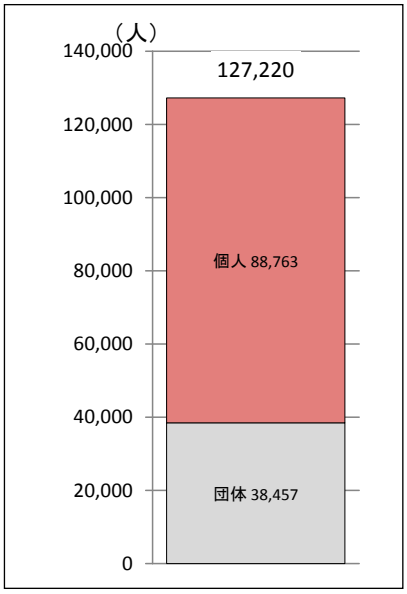
② 利用状況

■ 全体の利用状況

平成 26 年度の老人福祉センターの全体利用者数は 12 万 7,220 人です。

利用者の内訳をみると、団体利用が３万 8,457 人（約 30%）、個人利用が８万 8,763 人（約 70%）となっています。

図表　年間利用者数（平成 26 年度）

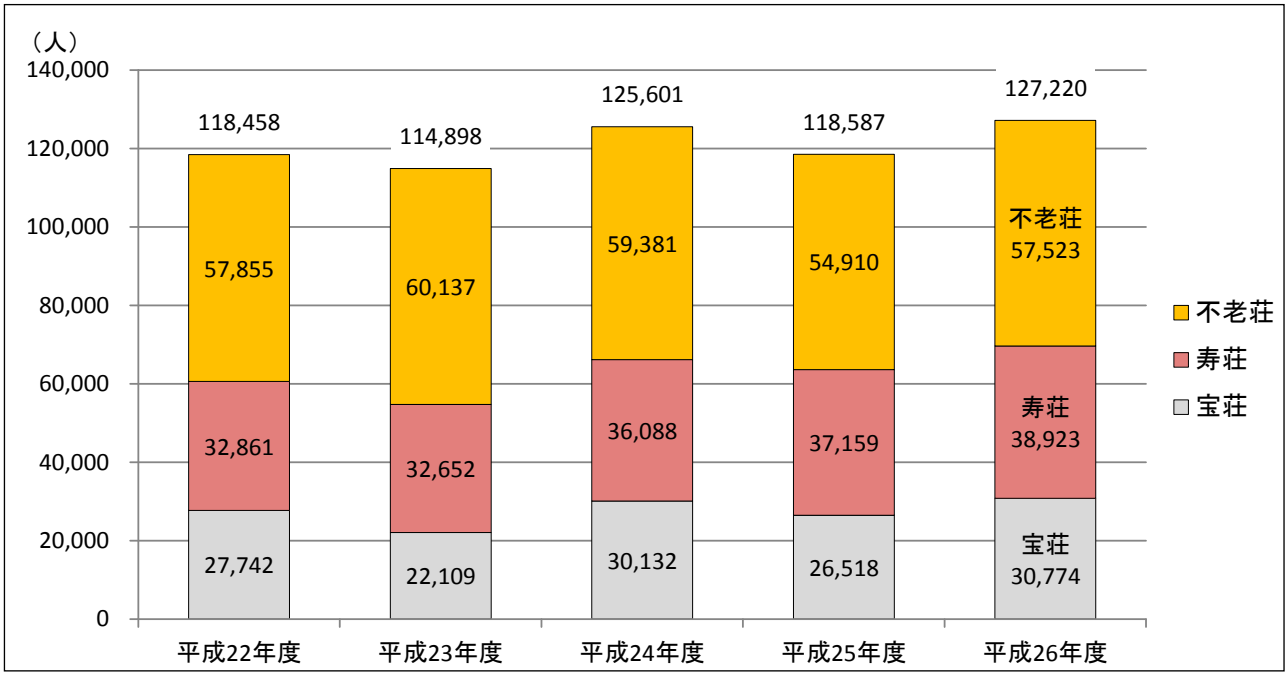


（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■ 利用推移

利用者数の推移は、平成 22 年度の 11 万 8,458 人から平成 26 年度の 12 万 7,220 人にかけて微増の傾向になっています。

図表　利用者数の推移

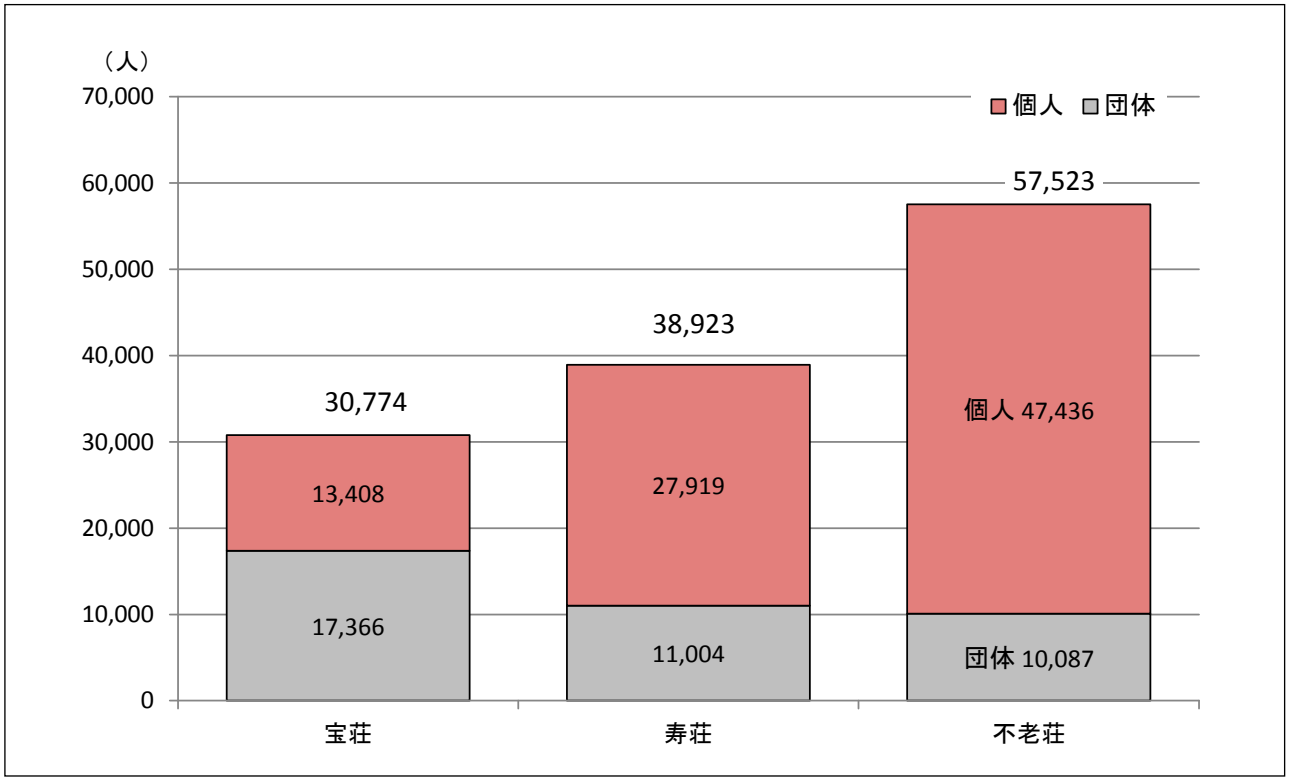


（出典）行政報告書（平成 22 年度～26 年度）

■　施設別の利用状況

平成 26 年度の施設別利用者数をみると、老人福祉センター不老荘の利用が５万 7,523 人と最も多く、次いで老人福祉センター寿荘となっています。

図表　施設別　利用者数（平成 26 年度）



（出典）行政報告書（平成 26 年度）

■　実施事業の利用状況

平成 26 年度の実施事業とその参加人数をみると、健康相談が 6,044 人で最も多く、次に、ラジオ体操が 4,101 人、たまり場事業 3,963 人となっています。

図表　実施事業の参加人数（平成 26 年度）　（人）

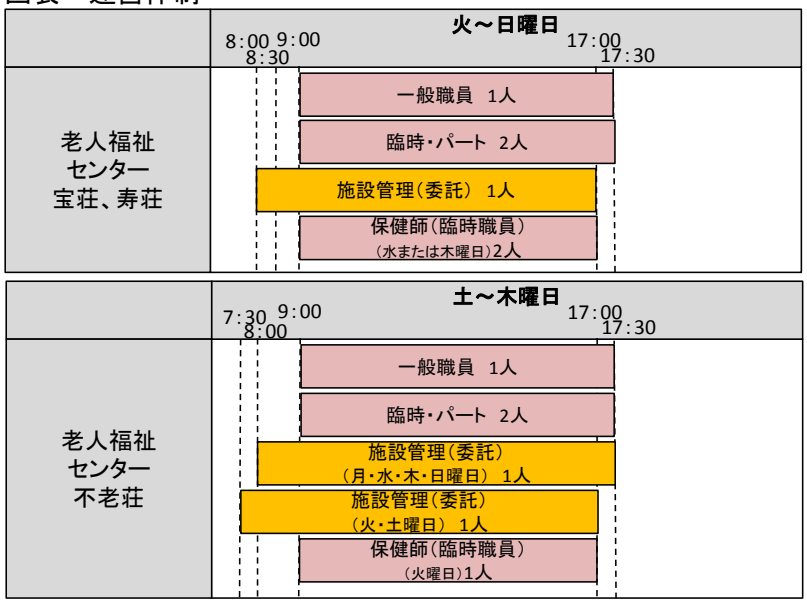
事業名（会場）	参加人数	事業名（会場）	参加人数
健康相談（宝荘・寿荘・不老荘）	6,044	福祉講座（寿荘）	179
教養講座（寿荘・不老荘）	197	ストレッチ体操（寿荘・不老荘）	2,087
作品展示会（宝荘・寿荘・不老荘）	402	ラジオ体操（寿荘・不老荘）	4,101
七夕飾り事業（宝荘・寿荘・不老荘）	297	体操教室（不老荘）	87
たまり場事業（宝荘・寿荘・不老荘）	3,963	作品づくり（宝荘・不老荘）	334
グラウンドゴルフ大会（宝荘）	1,140	健康講座（宝荘）	170
映社会（宝荘）	269	夏祭り（寿荘）	215
健康体操（寿荘）	3,651	体力測定（宝荘）	280
ライフアップ講座（寿荘）	751	その他 24 事業	2,515
		合計	26,682

（出典）行政報告書（平成 26 年度）

③ 運営状況

老人福祉センターは、指定管理者により運営されており、一般職員、臨時・パート職員、施設管理の委託業者、保健師の臨時職員が従事しています。老人福祉センター宝荘、寿荘は保健師の臨時職員が水か木曜日のどちらかで従事しており、老人福祉センター不老荘は施設管理の委託職員と保健師（臨時職員）が曜日によって従事しています。

図表　運営体制



④ コスト状況

老人福祉センターの３施設の年間トータルコストは、9,945 万円です。年間トータルコストのうち指定管理委託料 8,399 万円（約 85%）のほか、施設にかかるコスト（委託費等）は 338 万円（約３%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 118 万円（約 1%）、減価償却相当額は 1,090 万円（約 11%）です。

図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）

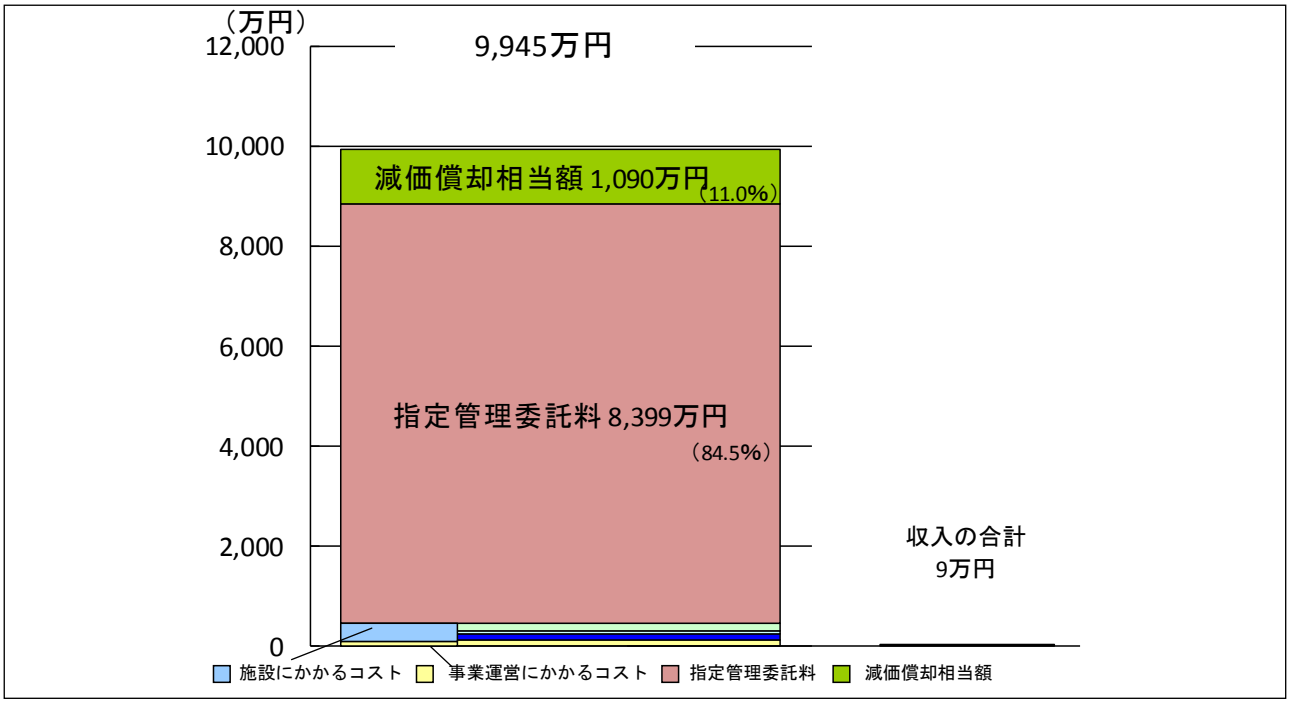
（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		宝荘	寿荘	不老荘	合計
施設にかかるコスト	修繕費	0	787,320	669,600	1,456,920
	委託費	0	496,800	0	496,800
	使用料及び賃借料	0	20,000	1,407,795	1,427,795
	施設にかかるコスト	0	1,304,120	2,077,395	3,381,515
事業運営にかかるコスト	負担金補助及び交付金	393,527	393,527	393,527	1,180,580
	事業運営にかかるコスト	393,527	393,527	393,527	1,180,580
指定管理委託料		27,998,047	27,998,047	27,998,047	83,994,142
現金収支を伴うコスト　計		28,391,574	29,695,694	30,468,969	88,556,237
【収入の部】					
収入	諸収入	30,000	30,000	30,000	90,000
収入の合計		30,000	30,000	30,000	90,000
Ⅱ.現金収支を伴わないもの					
コスト	減価償却相当額	880,946	1,370,340	8,645,847	10,897,133
Ⅲ.総括					
コストの部合計（トータルコスト）		29,272,520	31,066,034	39,114,816	99,453,370
収支差額（ネットコスト）		29,242,520	31,036,034	39,084,816	99,363,370

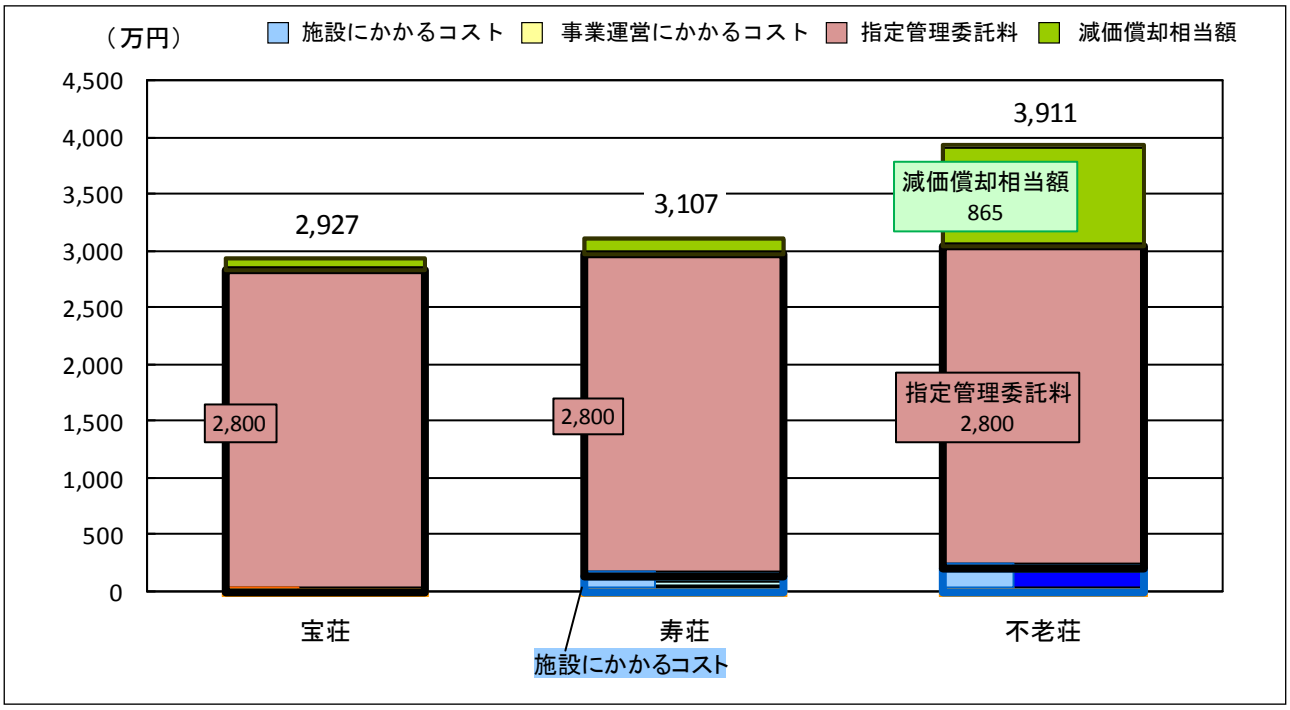
指定管理委託料は合計 8,399 万円で、トータルコストの約 85%を占めています。

施設別トータルコストでは、宝荘の 2,927 万円から不老荘の 3,911 万円で、３施設の平均は、3,315 万円となっています。

図表　老人福祉センター　全施設トータルコスト（平成 26 年度）



図表　老人福祉センター　施設別トータルコスト（平成 26 年度）

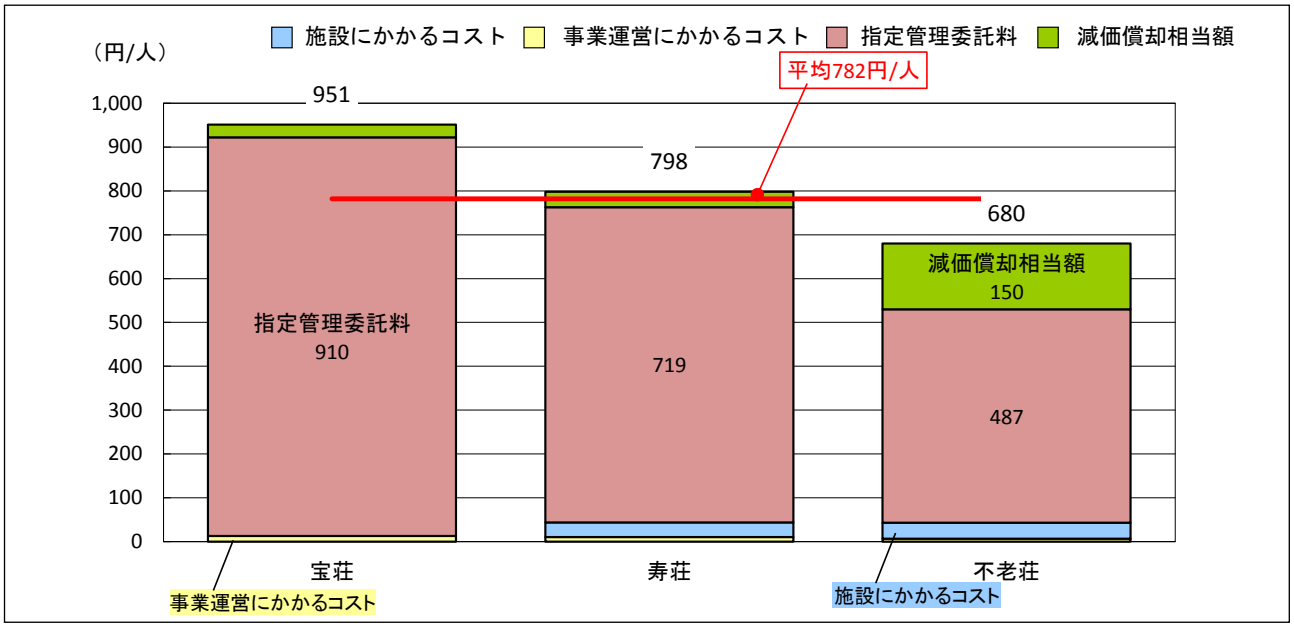


３）　評価・分析

■　利用者１人当たりのコスト

年間利用者数とトータルコストから、利用者１人当たりにかかるコストを算出すると、不老荘の 680 円/人から宝荘の 951 円/人となっています。なお、老人福祉センターの平均は 782 円/人です。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　老人福祉センターは、３施設とも単独施設です。宝荘は、46 年経過しており施設更新時期を迎えますが、都市公園内に位置することから施設の現地建替えは難しい状況です。また、不老荘は、敷地が全て借地であることなども踏まえると、老人福祉センターの今後のあり方について検討する必要があります。

■　利用・運営面

・　老人福祉センターは、団体利用日と個人開放日を設けた運営を行っていますが、無料で入浴できる浴室などの個人利用が多くなっています。

■　コスト面

・　老人福祉センターの全ての施設において、現在、原則無料となっており、カラオケのみが有料となっています。利用実態を検証し、事業によっては有料化の検討も必要と考えられます。

（１８）障害者福祉施設

１）施設概要

①　施設一覧

本市では、身体・知的・精神（発達障害を含む）の障害者・障害児の福祉増進の施設として、障害者福祉施設を４施設保有しています。

障害者基幹相談支援センターは社会福祉協議会東口事務所との、工房夢来夢来は狭山元気プラザ（さやま市民大学）との複合施設となっています。

設置目的

青い実学園	心身障害児及び配慮の必要な子とその保護者が共に通園し、こどもへの発達支援と家族支援を行い、もって心身障害児等とその家族の福祉の増進を図ることを目的とする。
障害者基幹相談支援センター	障害者（児）の自立と地域生活及び社会生活を支援するため、福祉サービスの利用援助、社会資源の活用、情報提供等、障害種別に関わらず総合的な相談支援を行うことを目的とする。
地域活動支援センターコパン	創作的活動、生産活動の機会の提供、社会との交流の促進等の便宜を供与し、もって障害者等の地域生活支援の促進を図ることを目的とする。
工房夢来夢来	障害者の在宅デイサービススポットとして、自分の持っている技術、能力に応じた作業をボランティアと共に行うことを目的とする。

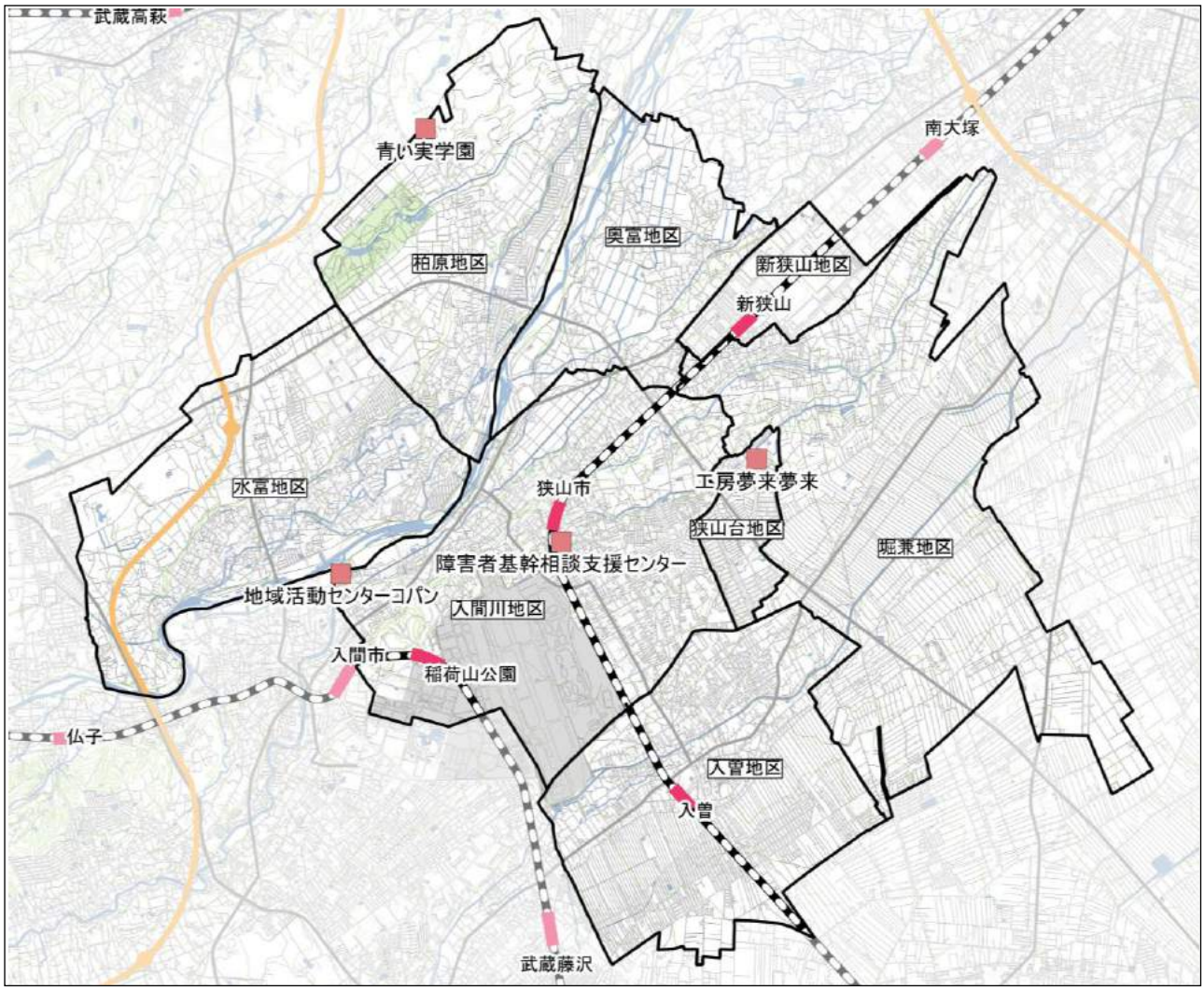
図表　施設一覧

地区	名称	所在地	延床面積（㎡）	建築年度（年度）	構造（主たる建物）	複合・併設施設	土地所有
柏原	1 青い実学園	柏原 758-1	610.00	平成8	鉄筋コンクリート		市
入間川	2 障害者基幹相談支援センター	富士見 1-1-11	180.53	平成18	鉄骨	社会福祉協議会東口事務所	市
入間川	3 地域活動支援センターコパン	鵜ノ木 29-17	218.00	昭和44	鉄筋コンクリート		市
狭山台	4 工房夢来夢来	狭山台 1-21	203.58	昭和49	鉄筋コンクリート	狭山元気プラザ（さやま市民大学）	市
合計			1,212.11				

※　　：築 30 年以上施設

②　配置状況

図表　障害者福祉施設位置図



③　開館日・開館時間

施設名	開館日	開館時間
青い実学園	月曜日～金曜日、第１・３・５土曜日	午前９時 30 分～午後３時（土曜日は午後０時）
障害者基幹相談センター	月曜日～金曜日	午前９時～午後５時
地域活動支援センターコパン	月曜日～金曜日	午前９時～午後３時
工房夢来夢来	毎週月曜日・水曜日・金曜日	午前 10 時～午後３時

④　事業内容

青い実学園は、心や身体、言葉の育ちにつまずきのある就学前の子を対象にした親子で通う施設です。在籍児以外の子を対象とした外来療育相談も随時受け付けています。

障害者基幹相談支援センターでは障害者の困りごと、悩みごとなどの相談を障害者相談支援専門員が受けます。

地域活動支援センターコパンでは、精神障害者等を対象に創作的活動・生産活動の機会の提供を行い、社会との交流を促進しています。

工房夢来夢来（むくむく）は障害者とボランティアがともに編み物・椅子作り・洋裁など自身の能力に応じた作業をする施設です。

⑤　利用方法・使用料金等

青い実学園	入園手続き後、学園バス及び自家用車により、保護者同伴で通園 一日当たりの定員は 30 人 外来療育相談希望の場合は電話で事前申し込み
障害者基幹相談支援センター	無料（事前に電話等による連絡をお願いしている。）
地域活動支援センターコパン	利用にあたっては施設へ申込み
工房夢来夢来	社会福祉協議会または工房夢来夢来へ利用申込み 交通費及び昼食代は各自負担

２）実態把握

①　建物状況

■　障害者福祉施設の建物総合評価結果

障害者福祉施設４施設の建物状況について、「第３章 ２公共施設の建物総合評価」に基づき評価を行いました。

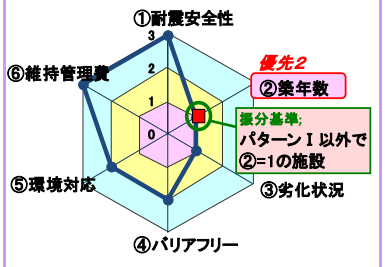
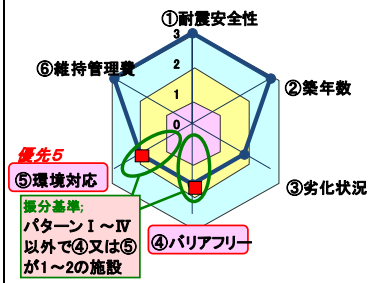
No.	施設名	基本情報 建築年度	基本情報 延床面積（㎡）	①耐震化 耐震診断・耐震改修	②老朽化 築年数	②老朽化 直近の大規模改修	②老朽化 築年数または直近の大規模改修後経過年数	③劣化状況 劣化問診票回答評価	④バリアフリー対応 段差なし	案内設備・案内所	エレベーター	※1 車椅子対応トイレ	障がい者用駐車場	授乳室・ベビーシート	⑤環境対応 自然エネルギー・太陽光発電の導入	屋上・壁面緑化等	環境対応設備※2	⑥維持管理 維持管理費（千円） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費	⑥維持管理 床面積当たり（円/㎡） 光熱水費	建物管理委託費	各所修繕費
1	青い実学園	平成8	610	－	19		19	△	○	×	－	×	×	○	×	×	○	2,276	623	282	3,731	1,021	463
2	障害者基幹相談支援センター	平成18	181	－	9		9	△	○	○	－	○	○	○	×	×	×	508	57	0	2,814	313	0
3	地域活動支援センターコパン	昭和44	218	－	46		46	対象外	×	×	×	×	×	×	×	×	×	業務委託費に含まれているので対象外とする					
4	工房夢来夢来	昭和49	204	○	41		41	×	○	○	○	○	○	×	○	×	×	狭山元気プラザの一室のため対象外とする					
	合計・平均		1,212															2,784	679	282	3,522	859	357

※1 オストメイト対応トイレ含む
※2 節水型便器、高効率照明器具・LED照明、雨水・中水設備

①④⑤の凡例
○：実施済み
△：対策中
×：未実施
―：不要

③の凡例
○：劣化がみられないもの
△：一部に劣化がみられるもの・不明
×：屋根・外壁等の重要部位に重大な劣化がみられるもの

地域活動支援センターコパン等の２施設は、築 30 年以上と老朽化がかなり進行しており、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。青い実学園等 2 施設は、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

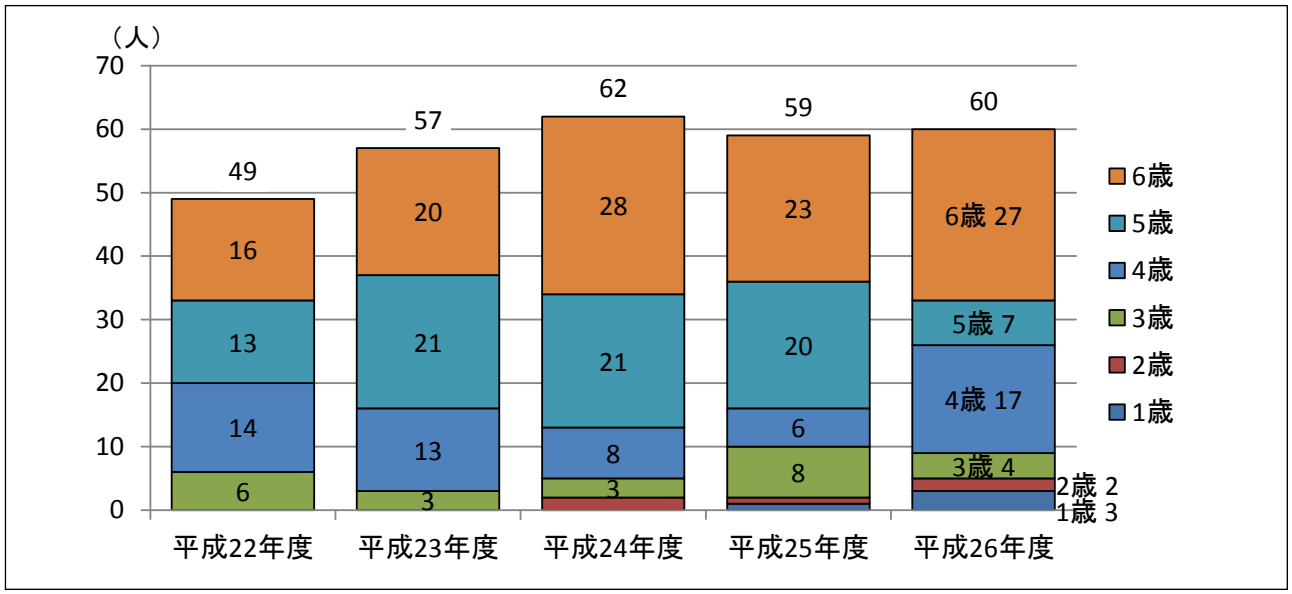
評価	パターンⅡ 老朽化	パターンⅤ バリアフリー・環境対応
	・老朽化が進行している ⇒建替え又は大規模改修 などの老朽化対策の検討が必要な施設	・バリアフリー、環境対応が未完了 ⇒今後、バリアフリーや環境対応が完了していない部分の整備が望まれる施設
		
該当施設	該当施設 / 建築年度 地域活動支援センターコパン 昭和44 工房夢来夢来 昭和49 ＜ 2 施設 ＞	該当施設 / 建築年度 青い実学園 平成8 障害者基幹相談支援センター 平成18 ＜ 2 施設 ＞
コメント	・耐震安全性については問題ありませんが、築30年以上と老朽化がかなり進行しているので、大規模改修工事などの早急な対応が必要です。	・比較的新しい施設ですが、バリアフリーや環境対応について、計画的な改修や効率のよい設備の導入などの対応が望まれます。

② 利用状況

■ 青い実学園　園児数の推移

園児数の推移は、平成 22 年度の 49 人から平成 24 年度の 62 人の間で推移しています。
年齢別の内訳をみると、6 歳と 5 歳でどの年度でも 60%程度を占めています。

図表　園児数の推移

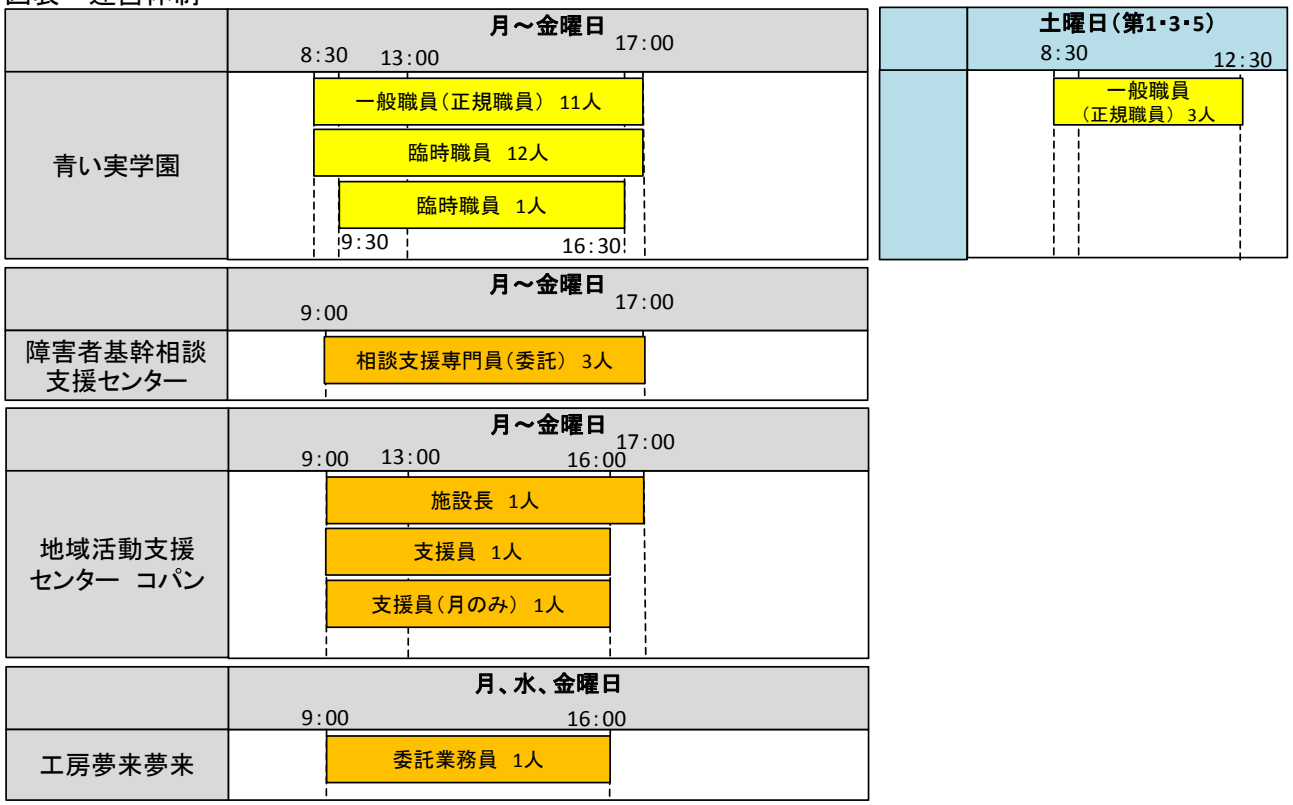


（出典）統計さやま（平成 24 年版・26 年版）・平成 26 年度公共施設現況調査

③ 運営状況

市内の障害者福祉施設の管理運営は、市の直営となっています。青い実学園は一般職員と臨時職員が従事しています。障害者基幹相談支援センター、地域活動支援センターコパン、工房夢来夢来は委託職員の支援員等が従事しています。

図表　運営体制



④ コスト状況

障害者福祉施設の年間トータルコストは、１億 5,797 万円です。年間トータルコストのうち、施設にかかるコスト（委託費等）は 938 万円（約 6%）、事業運営にかかるコスト（人件費等）は 1 億 4,309 万円（約 91%）、減価償却相当額は 550 万円（約 3%）です。

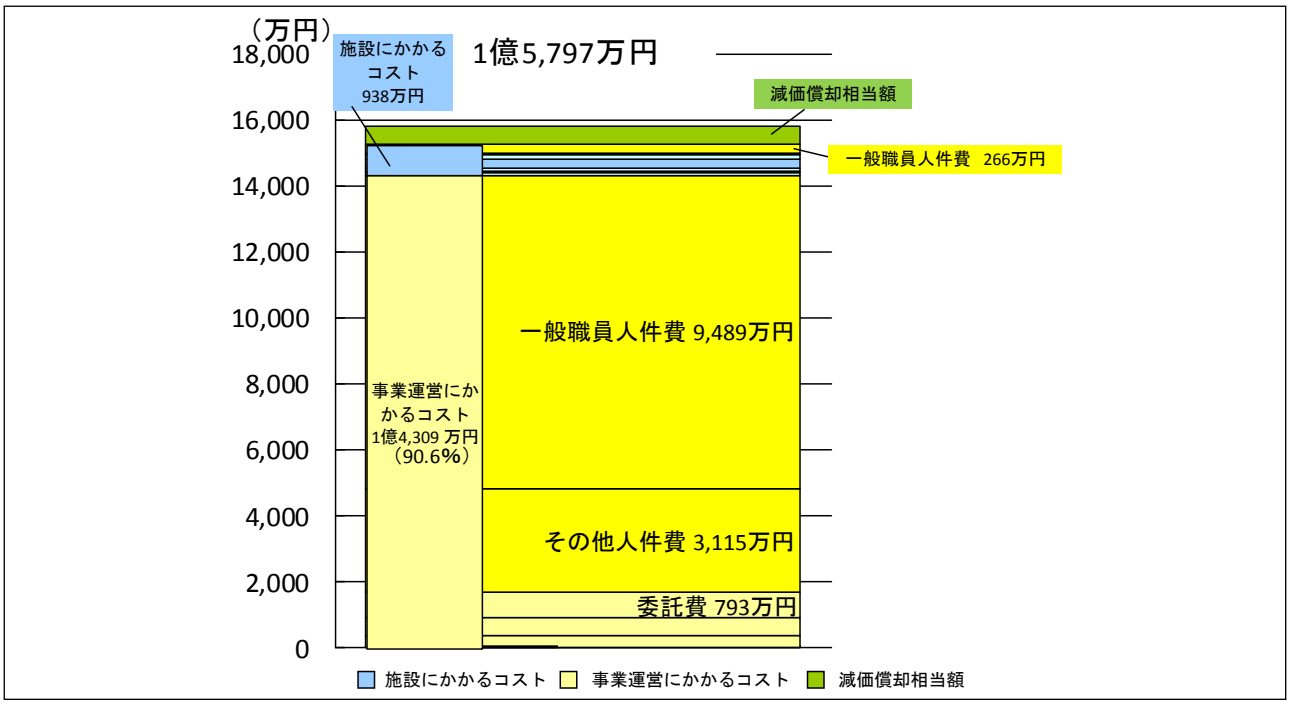
図表　施設別行政コスト計算書（平成 26 年度）　（円）

Ⅰ.現金収支を伴うもの 【コストの部】		青い実学園	障害者基幹相談支援センター	合計
施設にかかるコスト	一般職員人件費	2,660,364	0	2,660,364
	修繕費	282,208	0	282,208
	改修費	1,392,336	0	1,392,336
	光熱水費	2,276,140	507,957	2,784,097
	委託費	622,620	56,592	679,212
	使用料及び賃借料	138,900	461,964	600,864
	その他物件費	701,032	283,886	984,918
	施設にかかるコスト	8,073,600	1,310,399	9,383,999
事業運営にかかるコスト 事業運営	一般職員人件費	94,886,316	0	94,886,316
	その他人件費	31,146,704	0	31,146,704
	委託費	7,931,367	0	7,931,367
	負担金補助及び交付金	136,494	5,382,836	5,519,330
	その他物件費	3,424,883	0	3,424,883
	事業運営	137,525,764	5,382,836	142,908,600
事業運営にかかるコスト 事務・庶務	その他物件費	178,344	0	178,344
	事務・庶務	178,344	0	178,344
	事業運営にかかるコスト	137,704,108	5,382,836	143,086,944
現金収支を伴うコスト　計		145,777,708	6,693,235	152,470,943
Ⅱ.現金収支を伴わないもの				
コスト	減価償却相当額	4,902,362	600,721	5,503,083
Ⅲ.総括				
コストの部合計（トータルコスト）		150,680,070	7,293,956	157,974,026
収支差額（ネットコスト）		150,680,070	7,293,956	157,974,026

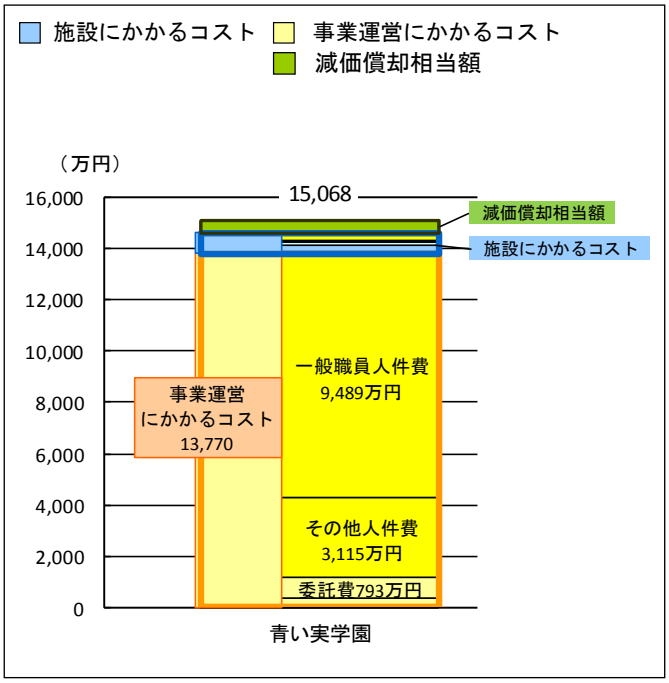
人件費（一般職員・その他）は合計１億 2,869 万円で、トータルコストの約 82%を占めています。

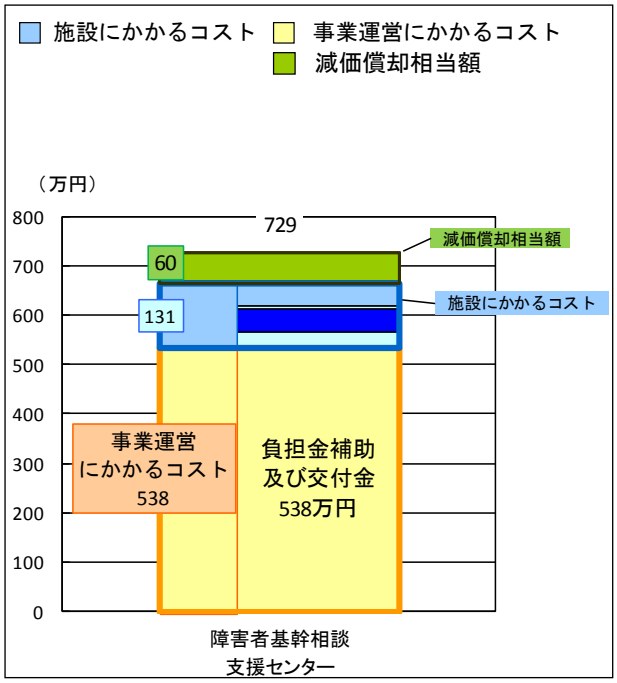
施設別トータルコストでは、青い実学園が１億 5,068 万円、障害者相談基幹支援センターが 729 万円となっています。

図表　青い実学園・障害者基幹相談支援センタートータルコスト（平成 26 年度）



図表　施設別トータルコスト（平成 26 年度）



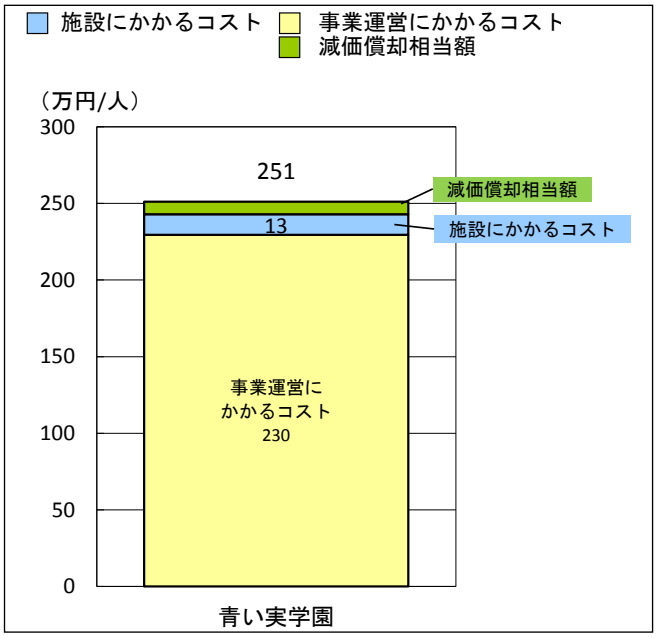


３）評価・分析

■　青い実学園　園児数１人当たりのコスト

園児数とトータルコストから、園児１人当たりにかかるコストを算出すると、251 万円/人となっています。

図表　施設別　利用者１人当たりコスト



４）実態のまとめ

■　建物面

・　地域活動支援センターコパンは、築 46 年と老朽化が進行しています。施設は現状のままを条件に貸付けているため、大規模な修繕が必要となる時期には事業継続の支援そのものが困難となる可能性があり、事業所との協議が必要と考えられます。

■　利用・運営面

・　青い実学園は、専用バスでの通園が基本ではあるが自家用車での通園も増え、公共交通の便が悪いため、駐車場の確保が課題となっています。

・　障害者基幹相談支援センターは、各社会福祉の法人本部で運営する相談関連事業との併用となり、稼働率に影響が出てくる可能性があります。駅からも近く好立地であることから、施設の有効活用等により稼働率向上に向けた検討が必要です。

・　工房夢来夢来の利用者は固定化しており、高齢者が多くなっているため、若い年代の利用者を増やすための対策が必要です。